

Pioneer

NAVIGATION & AUDIO BOOK

5.8V 型ワイド VGA ワンセグ TV/microSD ・ メモリー通信ナビゲーション

AVIC-T77

carrozzeria

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意



警告

自動車の運転中に地点登録・地点検索などの操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させ、パーキングブレーキをかけてから行ってください。



注意

ナビゲーションによるルート案内時は、実際の交通規則に従って走行してください。



安全走行のために

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



運転者は運転中に本機の操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作を行うときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

運転中に画像を注視しない



運転者は運転中に、画像を注視しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させて、サイドブレーキをかけてください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

[異常時の処置]

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

異常のまま使用しない



万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

注意

[使用方法]

カーエアコンの風が当たる場所に設置しない



本機に冷風が当たると、内部が結露し故障の原因となることがあります。また温風が当たると内部温度が上昇し、製品保護のために電源が切れることがあります。

走行中はナビゲーションの操作をしない

走行中に運転者が操作するのは、絶対におやめください。

■走行中に制限される機能の操作は

安全な場所に車を止めてパーキングブレーキをかけてから操作してください。

ルート探索の設定などの複雑な操作は、安全のため、走行中にはできないように設計されています。(操作しようとする、「走行中は操作できません。」とメッセージが表示されます。)

交通規則に従って走行する

ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制などの交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると、設定されたルートが通れないなど交通規制に反する場合があります。運転の際は必ず実際の交通標識に従ってください。

なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

画面に表示される情報は実際と異なる場合があります。

ナビゲーションの画面に表示される情報や建物や道路などの形状は実際と異なる場合があります。

目次

はじめに

安全にお使いいただくために	2
安全走行のために	3
走行中はナビゲーションの操作をしない	4
交通規則に従って走行する	4
お読みください	8
本書の見かた	12
本書の表記のしかた	12

準備

各部の名称とはたらき	14
電源のON/OFF/ スタンバイモードについて	17
電源をONにする	17
スタンバイモードにする	17
車で使用する場合	18
電源の接続のしかた	18
取り付けかた	19
取り外しかた	19
車から持ち出して使用する場合	20
家で使用する場合	20
屋外で使用する場合	21

はじめに設定しよう！

(通信サービスをご契約されたお客様のみ)	22
microSDカードの使いかた	24
microSDカードの入れかた	24
microSDカードの取り出しかた	25
ワンセグ用アンテナの使いかた	26

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	28
メニューの表示	28
リスト操作	31
ワイプ操作	33
地図画面の見かた	34
現在地画面	34
スクロール画面	35
走行中に表示される画面	35
走行中の音声案内	36
eスタート案内について	37

サイドマップ表示	37
地図の操作	38
現在地画面を表示させる	38
地図を動かす	38
地図のスケールを変える	39
地図画面の表示方法を変える	39
ハイウェイモードの情報をみる	41

検索

場所を探す	46
地図で探す	46
名称で探す	46
住所で探す	47
周辺施設を探す	48
電話番号で探す	49
登録した場所から探す	50
最近探した場所から探す	50
ジャンルで探す	51
マップコードで探す	52
緯度経度で探す	52
通信で探す	53
駐車場満空情報から探す	53
ガスタバ価格情報から探す	53
詳細情報を見る	55

ルート

目的地までのルートを探索させる	58
目的地までルート探索させる	58
自宅までルート探索させる	59
渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)	60
スマートICを考慮したルート探索	60
ルート探索時の機能	61
案内開始画面の見かた	62
ルートプロフィールで ルートを確認する	63
他のルートを選ぶ	63
ルート地図を表示する	64
詳細ルート設定をする	65
ルートを編集する	68
ルートプロフィールでルートを確認する	68
条件を変えてルートを再探索させる	68
立寄地を先送りする	69

デモ走行でルート確認する	69	調整	101
ルートを消去する	69	ナビゲーションの案内音量を調整する ...	101
ルート誘導・案内	70	画面の明るさを調整する	101
ルート案内中の現在地画面	70	タッチ位置を調整する	102
エコステータスレベル案内について ...	73	自転車位置のずれを修正する	102
音声による誘導・案内	73	一般道路または有料道路へ 自転車位置を修正する	103
ルート案内中の操作と機能	75		
ルートから外れたときに 自動的にルートを再探索させる ...	75		
状況に応じて新しいルートを提案させる ...	75		
次の案内地を確認する (リクエスト案内)	76		
ルート上の渋滞情報を案内させる ...	77		
ルート案内を中止する	78		
登録・編集操作		渋滞情報・情報操作	
地点の登録	80	渋滞情報	106
自宅を登録する	80	渋滞情報を取得する	108
探した場所を登録する	80	FM-VICS 情報	109
現在地を登録する	82	VICS 情報とは	109
ナビフォルダからダウンロードする ...	82	地図上で VICS 情報を見る	110
登録した場所の編集	83	VICS の文字・図形情報を見る	111
登録した場所の登録内容を変更する ...	83	放送局を選ぶ	112
登録した場所を消去する	84	情報の表示	114
その他の編集	86	エコステータス情報を表示する ...	114
最近探した場所を消去する	86	GPS 受信状態を表示する	115
走行軌跡を消去する	87	デバイスナンバーと使用データの バージョン情報を表示する	116
		接続状態を表示する	116
		ウィジェットから情報を表示する ...	117
		マップチャージ	
		マップチャージを行う	120
		ナビスタジオの動作環境について ...	120
		ナビスタジオをパソコンに インストールする	120
		ランチャーについて	122
		ナビスタジオを使用して マップチャージを行う	124
		通信モジュールを使用して マップチャージを行う	124
		オーディオ基本操作	
		オーディオの基本操作	126
		AV ソース画面を表示する	126
		AV ソースを切り換える	127
		AV ソースを OFF にする	127
		音量を調整する	127
		オーディオのワイプ操作について ...	128
設定操作			
ロゴマーク表示設定	90		
機能設定	91		
設定を変更する	91		
設定内容の詳細	92		
ウィジェット表示設定	96		
通信設定	97		
通信モジュールの使用設定を行う ...	97		
スマートループ渋滞情報の 利用設定を行う	97		
車両情報設定	99		
設定初期化	100		

ワンセグ

ワンセグ放送を見る	130
ワンセグ放送を見る	130
プリセットの種類を切り換える	131
受信可能な中継局を探す	132
チャンネルを手動で登録する	132
サービスを切り換える	133
番組表を表示する	133
番組内容を表示する	133
チャンネルを自動で登録する (チャンネルスキャン)	134
字幕を切り換える	134
音声を切り換える	134
視聴設定を消去する	134

SD

microSDカードを使う	136
音楽ファイルを再生する	136
映像ファイルを再生する	137
音楽ファイルと映像ファイルを切り換える ...	138
聴きたい曲や見たい映像を探す ...	139
ダイレクトサーチ	139
リピート再生	140
ランダム再生	140

その他の操作

オーディオのシステムを設定する ...	142
VIDEOなどの映像を見る	144
バックカメラの映像を見る	145
バックカメラの表示方法	145

文字の入力

文字の入力操作	148
文字入力の方法を切り換える	148
文字の入力操作の流れ	148
文字の種類を切り換える	149
全角・半角を切り換える	149
大文字・小文字を切り換える	150
濁点、半濁点、句読点や 記号類を追加する	150
文字を入力する	151
無変換、変換を行う	153
文字入力を完了する	153
かな漢字変換できる記号	154

付 録

再生できる音楽ファイル および映像ファイルについて ...	156
フォルダー・ファイルの 表示と再生順について	156
再生できる音楽ファイルについて ...	156
再生できる映像ファイルについて ...	158
ナビゲーションのしくみ	159
現在地がわかるしくみ	159
測位の精度を高めるためのしくみ ...	160
誤差について	160
取り扱い上のご注意	163
液晶画面の正しい使いかた	163
内蔵バッテリーの正しい使いかた ...	164
microSDカードの正しい使いかた ...	164
故障かな?と思ったら	165
電源	165
ナビゲーション	165
オーディオ	166
その他	167
エラーメッセージと対処方法	168
共通項目	168
ナビゲーション	168
オーディオ	169
その他の情報	170
検索におけるデータベースについて ...	170
ルートに関する注意事項	170
VICS情報に関する注意事項	172
シティマップ(詳細市街地図)収録エリア ...	172
阪神高速道路株式会社からのご連絡 ...	175
収録データベースについて	176
VICS情報有料放送サービス契約約款 ...	179
商標・著作権など	181
仕様	193
保証書とアフターサービス	194
充電式電池リサイクルご協力をお願い ...	195
索引	197
メニュー索引	197
用語索引	198
記号・マーク一覧	203

お読みください

■ 取扱上のお願

- 長時間連続動作させた場合、本体の一部が温かくなります。長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 無理な力がかかると液晶画面や内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、持ち運びにはご注意ください。特にカバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくて保証の対象外となります。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃を液晶画面や本体に与えないでください。傷の発生は破損の原因となります。特に液晶画面へのタッチ操作に対して、先のとがった鋭い棒などのご使用はおやめください。
- 極端な高温・低温・多湿になるような環境に放置しないでください。特に車内でこのようなことが想定される場合は、製品を車内に放置しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 動作中や充電中など温かくなることがありますが異常ではありません。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本体内部に水滴がつくことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は故障の原因になりますので、ご注意ください。
- ご使用にならないときは、シガーライター電源ケーブルやACアダプターのプラグをシガーライターソケットまたはコンセントから外してください。
- シガーライター電源ケーブルのコードをプラグやクレイドルなどに巻きつけしないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- 通信モジュールは、ダッシュボードの上に放置しないでください。故障の原因となります。

- 本機は二輪車での使用環境を想定しておりません。二輪車でのご使用はおやめください。

■ 安全走行のために

- 走行中に運転者がナビゲーションの操作をすると画面に気を取られて、思わぬ重大な事故を招く恐れがあり大変危険です。運転者がナビゲーションの操作をする場合は、必ず車を安全な場所に停車してから行ってください。
- 運転中の本機の音声は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 公共の場でワンセグや音楽再生、デモ走行など音を発生させるような機能をご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 本機には交通規制データが収録されていますが、交通規制の変更などにより、実際の標識や交通規制と異なる場合があります。ナビゲーションによるルート案内や右左折などの音声案内時でも、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。交通事故や道路交通法違反となることがあります。また、この地図に使用している交通規制データは、普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。当該車両をご使用の際は、必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- 緊急施設（病院、消防署、警察署など）の検索やルート案内については、本機に依存せず、各施設に直接ご確認ください。
- 市販のヘッドフォンは自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。

- 市販のヘッドフォンを使用するときは音量にご注意ください。長時間使用して難聴になったり突然大きな音が出て耳を傷める原因となります。また周囲の音が聞こえにくいと事故の原因となります。

■ 初期設定について

本機をご購入後、通信モジュールを取り付け、はじめて電源を入れた場合、「初期登録画面」が表示されます。この設定は必ず行ってください。設定をしないとナビポータルの通信サービスが使いません。詳しくは、「はじめに設定しよう！(通信サービスをご契約されたお客様のみ)」(→P22)をご覧ください。

■ 電源投入直後の測位について

本機では、現在位置をGPS測位(→P159)により表示します。電源投入直後は、正確な現在位置を表示するまで(GPS測位が完了するまで)約5分程度時間がかかることがあります。

■ 車のバッテリー上がりを防ぐために

本機をクレイドルに接続してお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。本機をクレイドルに接続した状態で、エンジンをかけないで使用すると、車のバッテリーが消耗します。

Advice

- ・ 環境保護のため、必要以上の停車中のアイドリングは避けましょう。

■ microSDカードについて

- 本書では、microSDメモリーカードおよびmicroSDHCメモリーカードを、便宜上「microSDカード」と表記しています。
- 本機は、microSDカードおよびmicroSDHCカード(最大32 GB)に対応しています。

- すべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードへのアクセス中は、microSDカードを抜かないでください。また、車のキースイッチ位置を変更しないでください。データが破損する恐れがあります。そのような行為において破損した場合、補償できません。

- microSDカードは寿命があります。普通に使用していても正常に書き込みや消去などの動作をしなくなる場合があります。

- お持ちのパソコンで認識しているmicroSDカードが、まれに本機で認識しない場合があります。この場合、microSDカードの不具合によっては、専用のフォーマットツールでフォーマットする事により認識する場合があります。また、パソコンの標準機能でフォーマットをするとSD非準拠のフォーマットになるため、データの書き込み、あるいは読み出しが出来ないなどの不具合が発生することがありますので、専用フォーマットソフトでフォーマット作業を実行することが推奨されています。

ただし、フォーマットした場合は、microSDカードに記録されたデータが全て消失します。フォーマットの際は、必ずmicroSDカードデータのバックアップを作成してから行ってください。

microSDカードのフォーマットソフトウェアは、SDアソシエーションの以下ホームページより入手できます。

<http://www.sdcard.org/jp/consumers/formatter/>

(2011年2月時点転載)

- マップチャージ(→P120)のご利用には、16 GB以上のmicroSDHCカードが必要です。また、お使いいただいているパソコンがmicroSDHCカードに対応していない場合には、市販のUSBアダプタなどをご使用ください。

■ 液晶画面について

- 液晶画面は、構造上きれいに見える角度が限られています。初めてお使いになるときは、画面がきれいに見えるように、液晶画面の明るさをお好みに応じて調整してください。→「画面の明るさを調整する」(P101)
- この製品で使用している液晶画面は、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■ 地図データについて

地図データは、本機内蔵のメモリーに収録されています。

■ PCリンクソフトのご案内

PCリンクソフト「ナビスタジオ(エアナビ用)」(以降ナビスタジオ)をパソコンにインストールしてお使いいただくと、最新の地図データがパソコン経由でmicroSDカードへ保存されます。保存された地図データは、microSDカードを本機に挿入するだけで自動的に反映させることができます。(マップチャージ)ナビスタジオの利用に関して、詳しくは「マップチャージを行う」(→P120)をご覧ください。

■ お客様の登録されたデータについて

ナビゲーションに登録された機能設定・ID・パスワードなどの内容は、事故や故障・修理その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害及び逸失利益につきましては、一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 著作権

本機に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムのご全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。

■ お客様登録について

製品に関する情報をお知らせするために、お客様登録をお願いします。登録は弊社ホームページにて可能です。なお、マップチャージをご利用のお客様はご使用にあたり登録手続きを行ないますので、改めて登録していただく必要はございません。また、通信契約をしていただいたお客様も自動的に登録されますので改めて登録していただく必要はございません。

■ バージョンアップ(マップチャージ)について

- 本機は、マップチャージ3年分付(2011年5月～2014年4月)です。この期間内であれば何度チャージしても更新料金はかかりません。2014年5月以降のバージョンアップは有償となります。
- 地点データや道路データは毎月更新予定です。全データの更新は年2回を予定しています。整備スケジュールの都合上、更新対象が無い月もあります。
- 通信モジュールをお使いのお客様は毎月の更新を通信で行えます。年2回の全データ更新はお客様でmicroSDカードをご用意いただく必要があります。
- インターネット接続環境をご利用にならないお客様へは、年1回、microSDカードによるバージョンアップソフトの販売を予定しています。詳細は弊社ホームページにてご案内する予定です。バージョンアップのお知らせについては登録時に「バージョンアップご案内の送付」に同意いただいた方のみご案内させていただきます。

■ アフターサービス

- 弊社からの本製品の安全に関する重要なお知らせは、コンテンツサービス契約をお申し込みいただいたお客様にいたしますので、必ずお申し込みをしていただきますようお願いいたします。
- 本製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

■ その他

- 通信モジュールに貼ってある製造番号や記号の印刷されたシールは、お客様の通信モジュールが電波法及び電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、剥がさないでください。
- 製品本体背面などにシールなどを貼らないでください。故障・破損の原因となります。
- この製品はあらかじめ個別の識別番号が記録されております。ご利用になる方が変更になる場合には、パイオニア販売(株)モバイルネットワークスグループにご連絡ください。なお、本製品で通信サービスをご契約されたことが無い場合やお客様登録を行ったことが無い場合は、ご連絡の必要はありません。
- 弊社は、本機がおお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。その場合における変更前の本製品の改造、または、お取り換えのご要望には応じかねます。
- 取扱説明書で使っている画面例は、実際の画面と異なる場合があります。

■ ナビ遠隔ロック機能について

ナビ盗難・紛失時、お客様からエアーナビコンタクトセンターに依頼されることで、カーナビ本体の機能ロックを遠隔で制御することが可能になります。

※ナビ遠隔ロック機能は、ナビポータル株式会社のサービスです。詳しくはナビポータル株式会社の「ナビポータルPCサイト」(<http://naviportal.jp>)をご覧ください。

Advice

・通信環境やカーナビ本体の電源が入っていないなどにより、通信ができず、ナビポータルサービスと接続されない場合は、ロック機能またはロック解除設定はできません。

■ 内蔵センサーの学習について

- 本製品では測位の精度を高めるために、ジャイロセンサーと加速度センサーを内蔵しております。この機能を有効にするためには、これらのセンサーの学習が必要です。学習はGPSを受信し、走行開始してから5分～15分程度かかります。(走行条件によって異なります。)
- 学習が完了していないとトンネルなどでGPSが受信できない場合に、地図画面上の自車位置マークが停止します。(GPSが受信可能になると自車位置が更新されます。)
- 内蔵センサーは、クレイドルからの脱着時には、学習が必要となります。さらに学習が完了していても、地図画面上の自車位置マークにずれが生じることがあります。

Advice


・学習状況は、接続状態画面(→P116)で確認することができます。

・以下の場合には、正しい自車位置が表示されない場合がありますので、センサー学習を初期化してください。→「設定初期化」(P100)

- タイヤ交換時
- 取付角度の変更時
- 本機を他の車に乗せ換えた場合

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
<i>Caution</i>	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
<i>Advice</i>	アドバイス 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
戻る	タッチキーを表します。 例： 戻る にタッチする
←ワイプ	ワイプ操作を表します。例えば左へのワイプ操作を「←ワイプ」と表記します。
	この項目の機能やサービスの利用には、通信機能が必要であることを表します。
『 現在地 』ボタン	ナビゲーション本体についているボタンまたはスイッチを表します。 例：『 現在地 』ボタンを押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「場所を探す」(P46)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す／ 長くタッチする	“ピッ”と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押ししている(タッチしている)間だけ動作していることを示します。

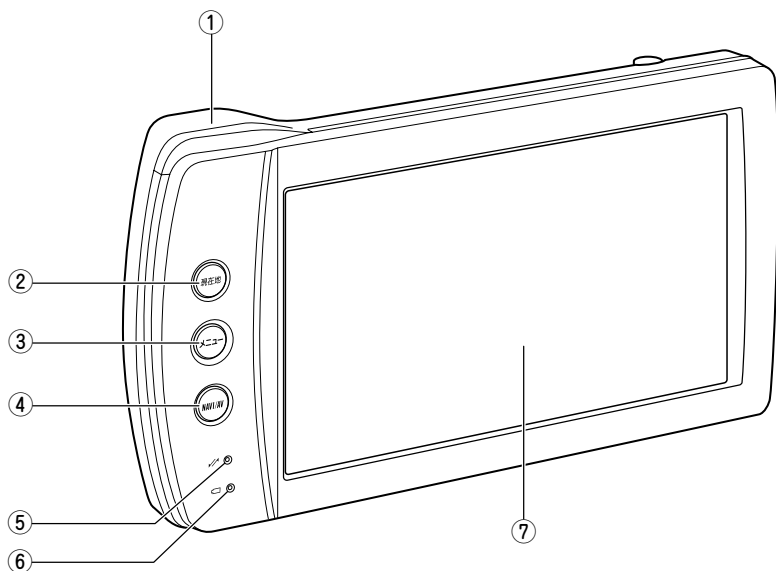
Advice

- ・本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- ・実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載している製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

各部の名称とはたらき	14
本体	14
クレイドル	16
電源のON/OFF/ スタンバイモードについて	17
電源をONにする	17
スタンバイモードにする	17
車で使用する場合	18
電源の接続のしかた	18
取り付けかた	19
取り外しかた	19
車から持ち出して使用する場合	20
家で使用する場合	20
屋外で使用する場合	21
はじめに設定しよう！ （通信サービスをご契約されたお客様のみ）	22
microSDカードの使いかた	24
microSDカードの入れかた	24
microSDカードの取り出しかた	25
ワンセグ用アンテナの使いかた	26

各部の名称とはたらき

■本体



① GPSアンテナ(内蔵)

GPS衛星からの電波を受信します。

② 『現在地』ボタン

地図上に自分の車の位置を表示します。
2秒以上押すと自車位置を一般道路または有料道路へ切り換えられます。

③ 『メニュー』ボタン

本機の色々な機能を使うためのメインメニューを表示します。

④ 『NAVI/AV』ボタン

ナビゲーション画面とAVソース画面を切り換えます。バックカメラ接続時は、2秒以上押すとバックカメラに切り換えられます。

⑤ 通信インジケータ

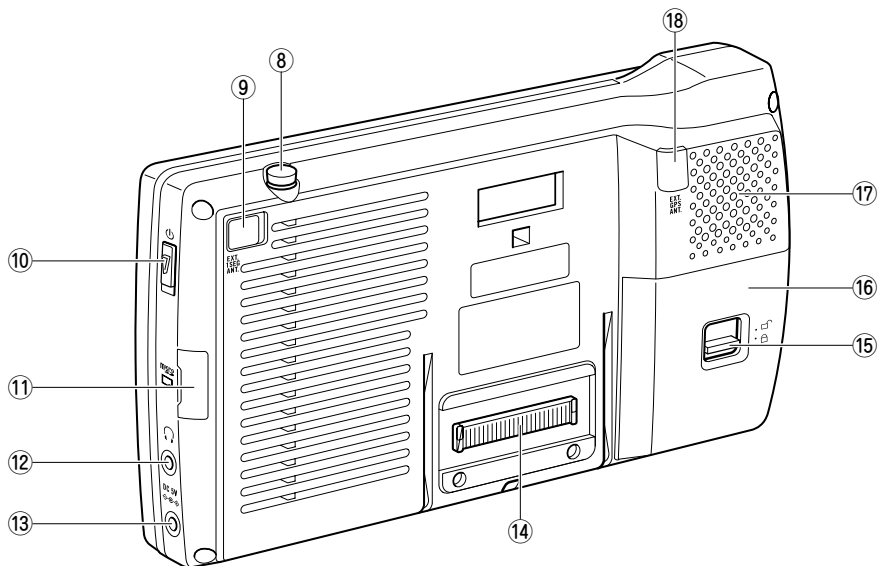
通信モジュールの通信状態を表示します。本機に通信モジュールを取り付け、サーバーに接続すると青色で点灯します。サーバーとの通信中は青色が点滅します。

⑥ 充電インジケータ

内蔵バッテリーの充電中は赤色に点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。

⑦ 液晶画面

液晶画面に直接タッチして操作することができます。

**⑧ ワンセグ用アンテナ**

ワンセグ放送をご覧になるときに伸ばします。

⑨ ワンセグ用アンテナ接続端子

別売の地上デジタルTV用フィルムアンテナ「AN-FL10」が接続できます。

⑩ 電源スイッチ

本機の電源をON/OFFします。
スイッチを下方へスライドし、そのまま2秒以上保持すると電源をON/OFFします。

電源ONの状態ですwitchを下方へスライドし、すぐに離すとスタンバイモードになります

⑪ microSDカードスロット

市販のmicroSDカードを挿入します。

⑫ ヘッドフォンコネクタ(φ3.5 mm)

市販のステレオヘッドフォンを接続します。

⑬ DC IN 5Vコネクタ

別売のACアダプター「RD-T150」が接続できます。

⑭ クレイドル接続端子

クレイドルを接続します。

Caution

- ・クレイドル接続端子には触らないでください。
- ・濡れた手や金属部などで触れたりしないでください。故障の原因になります。

⑮ カバーロックスイッチ

通信モジュール取付部カバーをロック(☰)またはアンロック(☏)します。

⑯ 通信モジュール取付部カバー

通信モジュールをご使用になる場合は、このカバーを外し、アタッチメントカバーを取り付けます。(→P22)

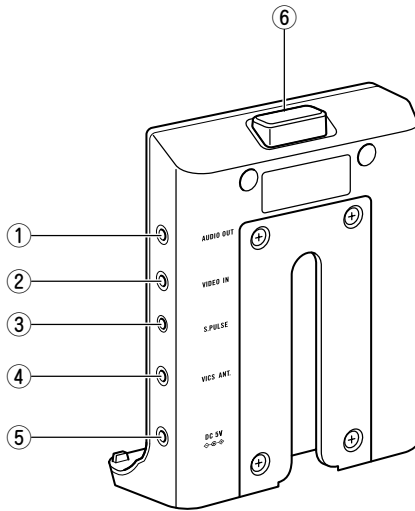
⑰ 内蔵スピーカー

ナビの音声案内、操作音、AVソースの音声などが出力されます。

⑱ GPSアンテナ接続端子

別売のGPSアンテナ「AN-G031」が接続できます。

■クレイドル



① 音声出力端子

別売のミニジャックケーブル「CD-150M」を使用して、別売のメインユニットのAUX入力端子(φ3.5 mmミニジャック)に接続できます。

② 映像入力端子

別売の映像入力用変換ケーブル「CD-VRM150」を使用して、別売のDVD-VIDEO対応メインユニット(DVH-P530/P520を除く)やバックカメラの映像を入力できます。

※本機はインターレース信号のみ対応しています。

③ 車速信号入力端子

別売の電源ケーブル「RD-032」付属の車速信号入力ケーブルが接続できます。

④ VICSアンテナ接続端子

付属のVICS用アンテナを接続します。

⑤ 車載用DC IN 5Vコネクタ

付属のシガーライター電源ケーブルを接続します。

⑥ アンロックボタン

クレイドルから本体を取り外すときに押します。

Advice

・別の車に載せ変えて使用する場合は、別売の載換キット「AD-T07 II」をご使用ください。

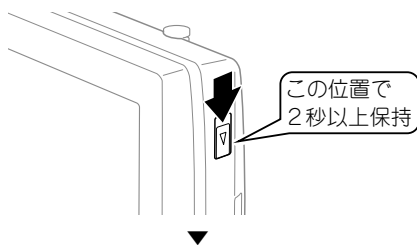
電源のON/OFF/スタンバイモードについて

本機の電源スイッチを下方へスライドすることで、電源のON/OFFやスタンバイモードの操作が行えます。

電源をONにする

はじめて使用するときは、電源がOFFになっています。次の操作で電源をONにしてください。

1 『電源』スイッチを下方へスライドし、そのまま2秒以上保持する



しばらくすると、オープニング画面が表示されます。

Advice

- ・もう一度『電源』スイッチを下方へスライドし、2秒以上保持すると電源がOFFになります。
- ・異常時など、2秒以上保持しても電源がOFFにならない場合は『電源』スイッチを下方へスライドし、10秒以上保持すると強制的に電源がOFFになります。
- ・普段本機を使用しないときは、電源OFFではなく、スタンバイモードにしてください。電源をOFFにすると、直近の軌跡(最大6.4 km)が消えたり、立ち上がりに時間がかかります。
- ・本機では、現在位置をGPS測位(→P159)により表示します。電源投入直後は、現在位置と異なる場所が表示される場合があります。詳しくは、「地図画面の見かた」(→P34)をご覧ください。

Caution

- ・ご購入直後の本機では、内蔵バッテリーが十分に充電されていない場合があり、起動できない場合があります。その場合は画面にメッセージが表示されますので、付属のシガーライター電源ケーブル(→P18)や別売のACアダプター(→P20)を使用して、充電してください。

準備

スタンバイモードにする

普段本機を使用しないときは、スタンバイモードにします。

1 『電源』スイッチを下方へスライドし、すぐに離す

スタンバイモードになります。

Advice

- ・スタンバイモードから電源をONにするには、再度手順1の操作をします。
- ・クレイドル装着時は、車のキーポジションの「ON」⇔「OFF」に連動して、本機の電源が「ON」⇔「スタンバイモード」に自動的に切り換わります。
- ・スタンバイモードの保持日数は、満充電時でおよそ30日間です(周囲の温度やバッテリーの状態で異なります)。バッテリーの残量が少なくなると、自動的に電源がOFFになります。

車で使用する場合

車内でお使いになる場合は、付属のクレイドルとシガーライター電源ケーブルを使います。

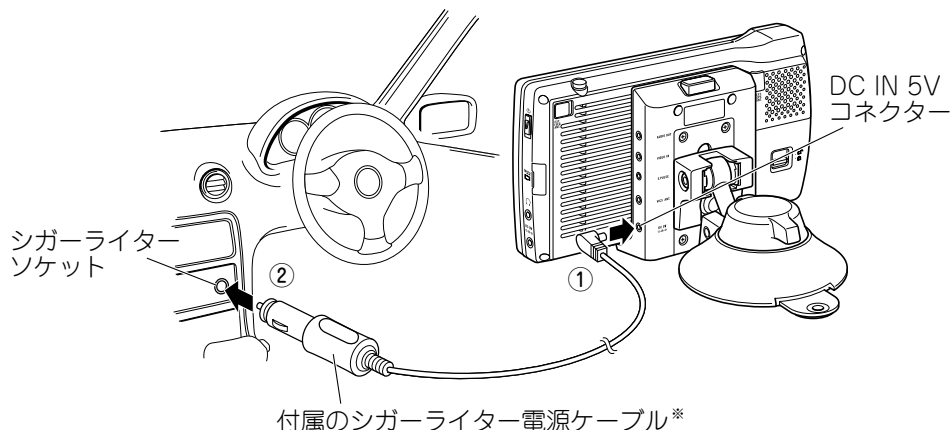
Advice

- ・クレイドル装着時は、車のキーポジションの「ON」⇔「OFF」に連動して、本機の電源が「ON」⇔「スタンバイモード」に切り換わります。
- ・はじめて使用する場合や長期間車を使用していなかった場合などは、本機の電源がOFFになっている場合があります。その場合は手動で電源をONにしてください。(→P17)
- ・充電インジケータは、充電中は赤色に点灯します。満充電時および充電していないとき(温度が0～40℃の範囲外時)は緑色に点灯します。
- ・内蔵バッテリーの充電には約240分程度かかります。

Caution

- ・付属のシガーライター電源ケーブルは、この製品のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。
- ・車のキーポジションをOFFにしても、本機の電源がOFFにならない車種でご使用の場合、本機を使用しないときは必ずシガーライター電源ケーブルをシガーライターソケットから抜いてください。抜き忘れると車のバッテリーが上がる原因になります。なお、上記のような車種でお使いの場合は、別売の電源ケーブル「RD-032」を使用して、車のACC電源に接続することをお勧めします。
- ・エンジンがかかっている状態で本機の電源がONにならない場合は、ヒューズが切れている場合があります。シガーライター電源ケーブル本体内部のヒューズを確認してください。切れているときは指定サイズと容量の新しいヒューズ(3 A/250 V)に交換してください。→「取付説明書」
- ・シガーライター電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷する恐れがあります。
- ・異臭などがした場合は直ちに充電をやめ、弊社修理窓口にご相談ください。そのまま使い続けると、内蔵バッテリーの液もれにより火災やケガの原因となることがあります。

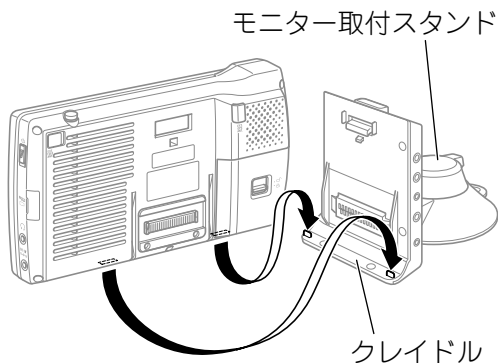
電源の接続のしかた



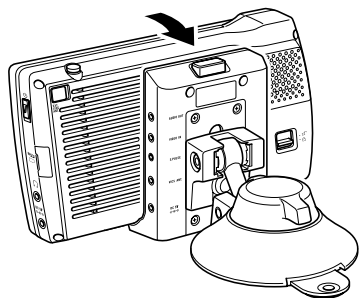
※ 付属のシガーライター電源ケーブルは、必ずクレイドルのDC IN 5Vコネクタに接続してください。本体のDC IN 5Vコネクタに接続すると、ACC連動しません。

取り付けかた

- 1 本機底面の凹みとクレイドル下部の凸を合わせる



- 2 本機を“カチッ”と音がするまでクレイドルに押し込む

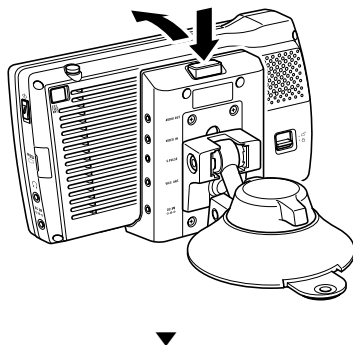


Advice

- ・モニター取付スタンドの取付方法については、『取付説明書』をご覧ください。

取り外しかた

- 1 クレイドル上部のボタンを押して本機を手前に引く



取り外したあとは、液晶画面などに傷をつけないようご注意ください。

Advice

- ・取り外しの際は、必ず本機に両手を添えるなどして、本機を落としたりしないよう十分注意してください。
- ・クレイドルから取り外すと、受信したFM-VICSの情報は非表示になります。

車から持ち出して使用する場合

本機は、車から持ち出して使用することもできます。

Advice

- ・本機をクレイドルから取り外して使用する場合は、以下の機能が制限されます。
 - 受信したFM-VICS情報は非表示になります。
 - FM-VICS情報の受信はできません。
 - 軌跡は記録されません。
 - eスタートの表示は、行われません。
 - 駐車場案内自動取得は、行われません。
 - エコステータスの燃費計算は、行われません。

家で使用する場合

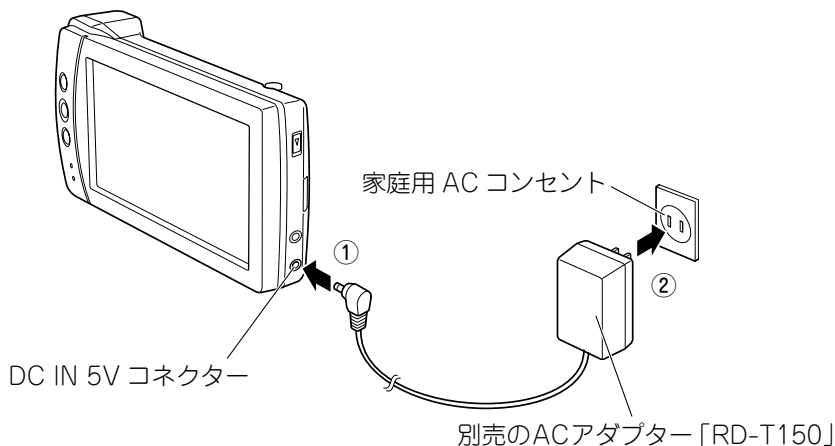
本機をご自宅など家庭用ACコンセントのある場所でご使用になる場合は、別売のACアダプター「RD-T150」を使用します。

Advice

- ・ACアダプターから電気が給電されているときは、充電インジケーターが緑色または赤色に点灯します。内蔵バッテリーの充電中は赤色に点灯します。
- ・内蔵バッテリーの充電には約240分程度かかります。

Caution

- ・ACアダプターは、濡れた手で触らないでください。感電の恐れがあります。
- ・本製品には別売のACアダプター「RD-T150」以外は絶対に使用しないでください。火災や感電および製品の故障の原因になります。また、性能を満足できない恐れがあります。
- ・ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷する恐れがあります。
- ・長期間使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。
- ・異臭などがした場合は直ちに充電をやめ、弊社修理窓口にご相談ください。そのまま使い続けると、内蔵バッテリーの液もれにより火災やケガの原因となることがあります。



屋外で使用する場合

屋外で使用する場合は、内蔵バッテリーで動作します。あらかじめ付属のシガーライター電源ケーブルまたは別売のACアダプターで充電を行ってください。

Caution

- ・本機を持ち歩きながら使用する際は、周囲の安全や状況に十分配慮してください。

Advice

- ・スタンバイモード(→P17)で使用していた場合は、内蔵バッテリーの残量が少なくなっている場合がありますので、充電を行ってからお使いください。
- ・内蔵バッテリー動作中のボタン照明は、電源ON後およびボタン操作後、数秒間のみ点灯します。
- ・内蔵バッテリーの残量が少なくなり、動作できなくなったときは、以下のメッセージが表示されます。このような場合は、すぐに充電を行ってください。
 - 「電池残量がありません。データ保護のため電源OFFします。」
- ・内蔵バッテリーは消耗品です。充電を繰り返すと、少しずつ使用時間が短くなります。使用時間が短いと感じた場合は、弊社修理窓口にご相談ください。
- ・画面の明るさや内蔵スピーカーの音量によって、使用時間が変わります。特に内蔵バッテリーだけで使用している場合、画面を明るくしたときは、使用時間が短くなります。内蔵バッテリー利用時の画面の明るさのレベルを『3』以下に設定することをお勧めします。→「画面の明るさを調整する」(P101)
- ・本製品は、内蔵バッテリーだけで長時間使用することはできません。長時間使用するときは、付属のシガーライター電源ケーブルや別売のACアダプターを使用してください。

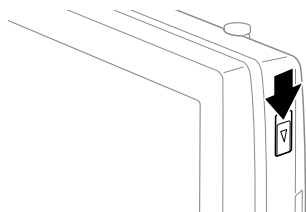
はじめに設定しよう！ (通信サービスをご契約されたお客様のみ)

本機はパイオニア販売株式会社が提供するパイオニア コンテンツサービスとナビポータル株式会社が提供するナビポータルサービスに対応しています。お客様がパイオニア販売株式会社とエアーナビ通信サービス契約を結んだあと、通信モジュールとアタッチメントカバーが送付されます。通信モジュールを本機に装着し、初期設定を行うことで上記2社が提供するコンテンツサービスをご利用いただけます。通信サービスをご利用の際は、ご利用実績に応じた通信サービス利用料とユニバーサルサービス料がかかります。詳しくは弊社ホームページや、商品に同梱のエアーナビ通信サービス申込書をご覧ください。あらかじめユーザー ID、パスワードをご準備の上、以下の手順で設定を行ってください。

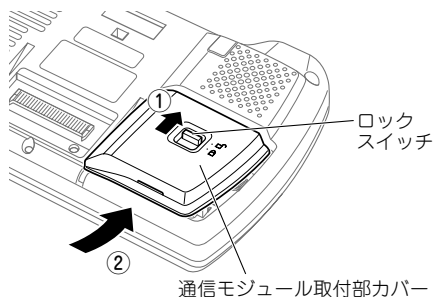
Advice

- ・通信サービスをご契約されない場合は、設定は不要です。
- ・ナビゲーション本体を車に取り付けている場合は、必ず外してから設定を行ってください。
- ・通信モジュールの取り付け作業は、安全のため、必ず平らな台(机など)の上で行ってください。
- ・ユーザー ID、パスワードは、通信モジュール送付時に同封の書類でお知らせします。
- ・通信モジュールとアタッチメントカバーがお手元に届きましたら、14日以内に初期設定を行ってください。14日以内に初期設定が完了しない場合は、ユーザー IDが無効になる場合がありますので、その場合はエアーナビコンタクトセンターまでご連絡ください。

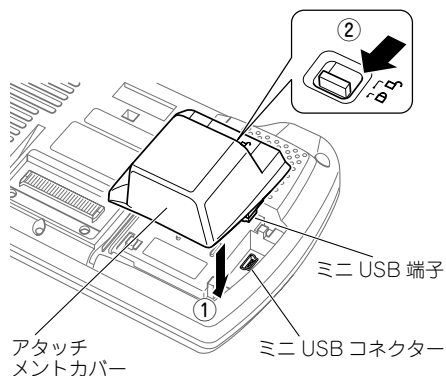
1 本機の電源をOFFにする (→P17)



2 ロックスイッチを「」の位置にして、本機から通信モジュール取付部カバーを外す



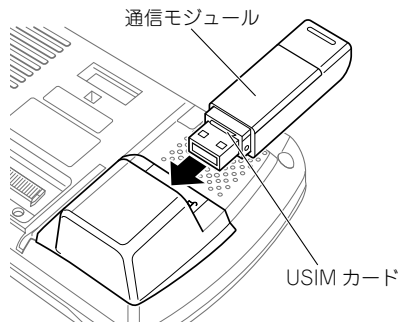
3 アタッチメントカバーを本機に取り付け、ロックスイッチを「」の位置にする



Advice

- ・ミニUSB端子をミニUSBコネクタの奥まで確実に差し込んでください。

4 通信モジュールをアタッチメントカバーに差し込む



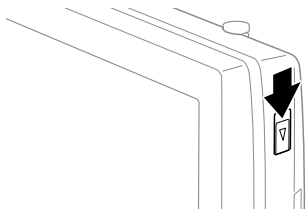
Advice

- ・USIMカードが取り付けられていることを確認してください。
- ・通信モジュールは、確実に奥まで差し込んでください。

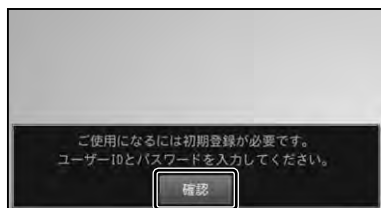
Caution

- ・通信モジュールの挿入口に、通信モジュール以外を挿入しないでください。故障・発火・発熱の原因となります。

5 本機の電源をONにする (→P17)



6 確認にタッチする



7 ユーザーIDを入力して**入力完了**にタッチする



Advice

- ・ユーザーIDは、通信モジュール同封の書類に記載されています。

8 パスワードを入力して**入力完了**にタッチする



ナビポータルの画面が表示されます。

※これ以降は通信サービス利用料が発生します。

Advice

- ・パスワードは、通信モジュール同封の書類に記載されています。
- ・本機は、入力されたパスワードの大文字、小文字、半角、数字を判別しますので、送付書類記載の文字種に合わせて入力してください。→「文字の入力操作」(P148)

microSDカードの使いかた

本機は、microSDカードの再生に対応しています。対応フォーマットなど、詳しくは「microSDカードを使う」(→P136)をご覧ください。

Advice

- ・本機はすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
- ・本機をご購入後はじめてmicroSDカードを挿入すると、microSDカード登録確認メッセージが表示されます。パソコンリンクソフト用としてお使いになるmicroSDカードの場合は**はい**にタッチしてください。それ以外の用途(例えば知人から一時的に借りた場合など)でお使いになるmicroSDカードの場合は**いいえ**にタッチしてください。詳しくは、「マップチャージを行う」(→P120)をご覧ください。

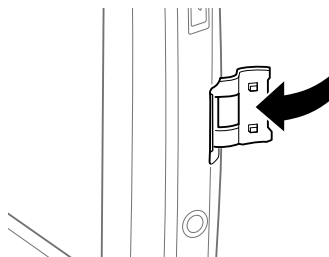
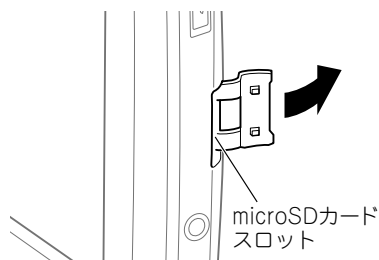
Caution

- ・microSDカードを無理に入れると、本機やmicroSDカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- ・microSDカードの挿入口には、microSDカード以外のものを挿入しないでください。コインなどの金属物を挿入した場合、内部回路が破損し故障の原因となります。

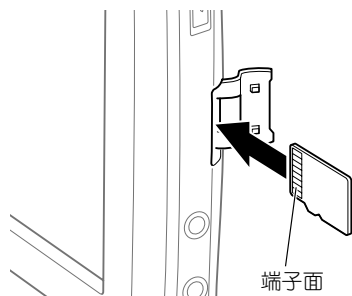
microSDカードの入れかた

3 microSDカードスロットの カバーを閉じる

1 microSDカードスロットの カバーを開く



2 microSDカードを“カチッ”と音が するまで差し込む



microSDカードの取り出し

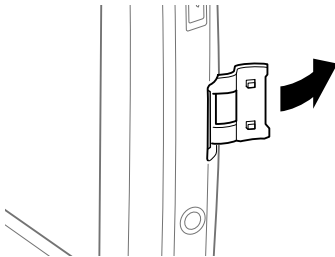
- 1 AVソースアイコン(→P127)を表示して、**OFF**にタッチする



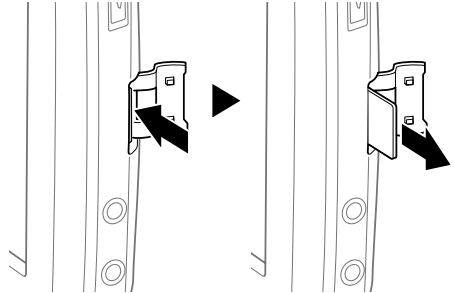
Caution

- ・ microSDカードの取り出しは、必ずAVソースをOFFにしてから行ってください。microSDカードに保存したデータが損傷することがあります。

- 2 microSDカードスロットのカバーを開く



- 3 “カチッ”と音がするまで押し込んでゆっくり離す

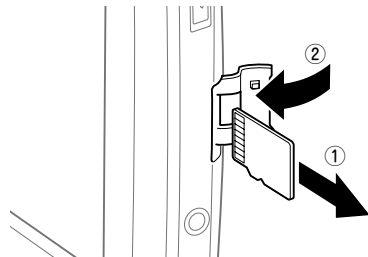


準備

Caution

- ・ 押し込んで離れた際に、スロット内のバネの力でmicroSDカードが飛び出す場合がありますので、ご注意ください。

- 4 microSDカードをまっすぐ引き抜いてカバーを閉める



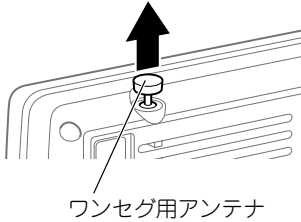
Advice

- ・ 取り出したmicroSDカードは、専用ケースに入れるなどして、保管してください。また、誤ってお子様が進んで飲み込むなどのことが無いように、保管場所にもご配慮ください。

ワンセグ用アンテナの使いかた

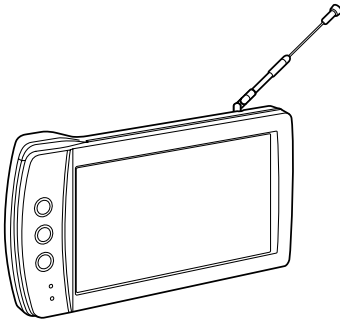
本機は、ワンセグを見ることができます。ワンセグを見るときは、ワンセグ用アンテナを伸ばしてください。

1 ワンセグ用アンテナを伸ばす



ワンセグ用アンテナ

2 受信状態の良い方向に向ける



Caution

- ・本機のアンテナは、垂直/45度/水平状態でのみ固定されます。最後まで引き出してご使用ください。
- ・本機をご購入後はじめてワンセグをご覧になる場合は、チャンネルスキャン(→P134)が必要です。はじめてご覧になるときや受信地域が変わったときは、チャンネルスキャンを行ってください。

Advice

- ・ワンセグの詳しい操作に関しては、「ワンセグ放送を見る」(→P130)をご覧ください。
- ・別売のワンセグ用アンテナを接続することもできます。(→P15)

ナビゲーション基本操作

ナビゲーションの基本操作	28
メニューの表示	28
メインメニューを表示させる	28
設定メニューを表示させる	28
行き先・場所メニューを表示させる	29
ナビポータルメニューを表示させる	29
通信メニューを表示させる	30
ショートカットメニューを表示させる	30
リスト操作	31
基本的なリストの操作	31
50音タブの操作	31
サイドメニューの操作	31
ポップアップメニューの操作	31
チェックリストの操作	32
インジケーター付きリストの操作	32
サイドマップ画面の操作	32
ワイプ操作	33
地図画面の見かた	34
現在地画面	34
スクロール画面	35
走行中に表示される画面	35
交差点に近づくと	35
有料道路を走行すると	36
有料道路の料金所に近づくと	36
走行中の音声案内	36
eスタート案内について	37
サイドマップ表示	37
地図の操作	38
現在地画面を表示させる	38
地図を動かす	38
地図のスケールを変える	39
地図画面の表示方法を変える	39
表示方法の種類	39
ハイウェイモードの情報を見る	41
有料道路の施設情報を見る	41
ハイウェイモードの現在地画面	41
料金表示について	42
先の施設情報を見る	42
ジャンクションの分岐先の情報を見るには	42
サービスエリアや	
パーキングエリアで表示される情報	43
施設のイラスト表示について	43
渋滞情報表示について	44
ETCレーン表示について	44

ナビゲーションの基本操作

本機は、タッチパネルや本体のボタンで操作します。
タッチパネルで操作するときは、画面上のタッチキー（マークや項目など）にタッチします。

メニューの表示

■メインメニューを表示させる

各種メニュー画面を表示するには、はじめにメインメニューを表示させます。

1 『メニュー』ボタンを押す

メインメニューが表示されます。



- 設定 (→ P28)
- 行き先・場所 (→ P29)
- ナビポータル (→ P29)
- 通信 (→ P30)

■設定メニューを表示させる

地図や情報の表示などナビの機能設定や通信設定、データの編集、音量や画面表示などの調整・補正を行うことができます。

1 『メニュー』ボタンを押す

2 設定 にタッチする

設定メニューが表示されます。



- 情報 (→ P28)
- 設定 (→ P28)
- 編集 (→ P28)
- 調整 (→ P29)

情報トップメニュー



- エコステータス (→ P114)
- GPS 情報 (→ P115)
- データバージョン表示 (→ P116)
- 接続状態 (→ P116)
- 渋滞情報 (→ P111)

設定トップメニュー



- ロゴマーク表示設定 (→ P90)
- 機能設定 (→ P91)
- ウィジェット表示設定 (→ P96)
- 通信設定 (→ P97)
- AV 設定 (→ P142)
- 車両情報設定 (→ P99)
- 設定初期化 (→ P100)

編集トップメニュー



- ルート編集 (→ P68)
- 登録した場所編集 (→ P83, 84)
- 最近探した場所消去 (→ P86)
- 走行軌跡消去 (→ P87)

調整トップメニュー



- ナビ音量調整 (→ P101)
- 明るさ調整 (→ P101)
- タッチパネル調整 (→ P102)
- 自車位置修正 (→ P102)
- 別道路切換 (→ P103)

行き先・場所メニューを表示させる

行き先を決めてルートを探したり、場所を探して詳細情報の表示や登録などを行うことができます。

- 1 『メニュー』ボタンを押す
- 2 行き先・場所にタッチする

行き先・場所メニューが表示されます。



- 名称 (→ P46)
- 住所 (→ P47)
- 周辺施設 (→ P48)
- 電話番号 (→ P49)
- 登録した場所 (→ P50)
- 最近探した場所 (→ P50)

- 自宅 (→ P59, 80)
- ジャンル (→ P51)
- MAPCODE (→ P52)
- ルート消去 (→ P78)

ナビポータルメニューを表示させる

おすすめ情報の利用をはじめ、さまざまなコンテンツサービスを利用できます。

Advice

- 本機の通信機能が利用可能なときに、操作することができます。
- 走行中は安全のため、操作できません。

- 1 『メニュー』ボタンを押す
- 2 ナビポータルにタッチする

ナビポータル株式会社のカーナビサイトに接続され、専用画面が表示されます。



お出かけに役立つおすすめ情報やリアルタイムな情報が提供されます。

詳しくは、ナビポータル株式会社の「ナビポータルPCサイト」(<http://naviportal.jp>)をご覧ください。

■通信メニューを表示させる

通信機能を利用して、さまざまな情報を取得することができます。

1 『メニュー』ボタンを押す

2 通信にタッチする

通信メニューが表示されます。



- ・スマートループ情報取得 (→ P108)
- ・駐車場満空情報 (→ P53)
- ・ガスタ価格情報 (→ P53)

Advice

- ・本機の通信機能が利用可能なときに、操作することができます。

■ショートカットメニューを表示させる

スクロール画面や場所を探したあとに操作するメニューです。ルート探索や地点登録、詳細情報の表示などを行うことができます。

スクロール画面のとき

1 スクロール画面 (→ P35) で ▼ または円部分にタッチする



ショートカットメニューが表示されます。



- ・ここへ行く (→ P58)
- ・周辺施設を探す (→ P48)
- ・ここを登録する (→ P80)
- ・ナビフォルダを開く (→ P82)

Advice

- ・▼ (円部分) にタッチすると、ショートカットメニューを閉じることができます。

検索結果画面のとき

1 場所を探す (→ P46)

ショートカットメニューが表示されます。



- ・ここへ行く (→ P58)
- ・周辺施設を探す (→ P48)
- ・ここを登録する (→ P80)
- ・詳細情報を見る (→ P55)

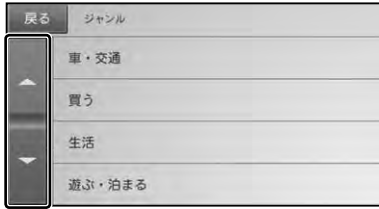
Advice

- ・戻るまたは▼ (円部分) にタッチすると、ショートカットメニューを閉じることができます。

リスト操作

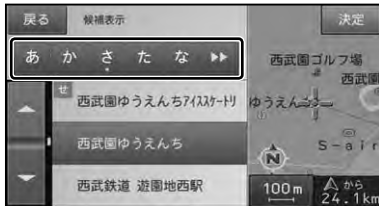
メニュー操作中に表示されるリスト画面の共通操作について説明します。

■基本的なリストの操作



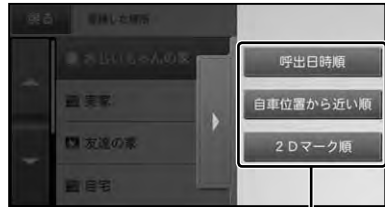
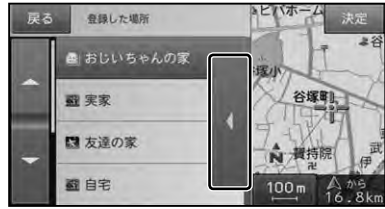
ページ送り
一画面ずつ移動します。
▲▼にタッチする
(タッチし続けると、
連続で移動します。)

■50音タブの操作



行送り リストを行送りすることができます。 (例:あ→か→さ→た→な)	タブ(あ~わ)にタッチする
音送り リストを音送りすることができます。 (例:あ→い→う→え→お)	タブ(例:あ)に繰り返しタッチする
ページ送り サイドマップ画面(→P32)では、リストを次ページまたは前ページに送ることができます。 (例:あかさたな⇄はまやらわ)	▶または◀にタッチする

■サイドメニューの操作



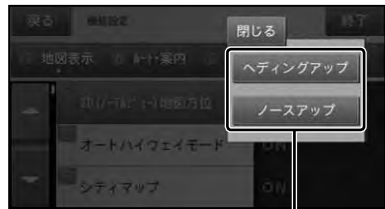
サイドメニュー

◀ ◀が表示されているときは、サイドメニューを表示することができます。サイドメニューに表示される項目は、リストによって異なります。

Advice

・サイドメニューを閉じるには、▶にタッチします。

■ポップアップメニューの操作

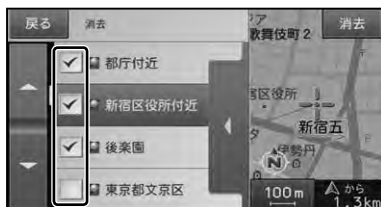


ポップアップメニュー

選んだ項目に選択肢がある場合に表示されます。

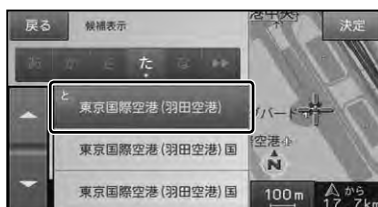
閉じる ポップアップメニューを閉じます。

■チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチするとサイドマップに該当する地図が表示されます。チェックボックスにタッチすると✓(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度タッチすると、✓が消え、選択が解除されます。

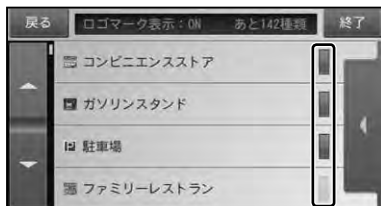
■サイドマップ画面の操作



サイドマップ付きリスト画面では、リスト項目にタッチすると、サイドマップにその位置を表示します。

決定 選んだ項目を決定します。リストによっては、選んだ項目の地図を全画面で表示します。

■インジケータ付きリストの操作



インジケータ付きリストでは、項目を選ぶとリスト右側のインジケータが点灯し、選択中であることを示します。もう一度項目を選ぶとインジケータが消灯し、選択が解除されます。

ワイプ操作

画面をタッチしたまま指を上下左右にスライドするだけでナビゲーションやオーディオの一部機能を操作することができます。

1 ワイプ反応エリアにタッチする

例：交差点案内図



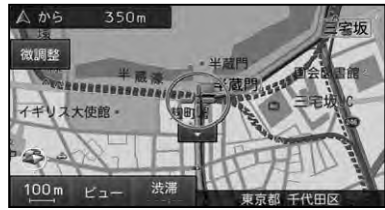
ワイプ反応エリア

操作ガイドが表示されます。



操作ガイド

2 画面をタッチしたまま、実行したい機能の方向へ指をスライドして離す



選んだ操作が拡大表示され、機能が動作します。

ワイプ操作が可能な機能と画面は以下の通りです。操作内容について、詳しくは各ページをご覧ください。

ナビゲーション機能

- 駐車場満空情報自動取得 (→ P61)
- ルートインフォメーション、レーン表示、方面看板表示 (ハイウェイモードでの分岐方面看板は除く) の表示画面時 (→ P35)
- 交差点案内図 (→ P71)
- 渋滞考慮オートリルート (→ P75)
- 通行止め考慮オートリルート (→ P77)

オーディオ機能

- 消音 ON/OFF (→ P128)
- ワンセグ (TV) (→ P130)
- SD (→ P136)

Advice

- ワイプ操作で行える機能は、表示された画面によって異なります。

地図画面の見かた

ナビゲーションの地図表示には、自分の車(自車)の現在地を表示する「現在地画面」と見たい場所を表示する「スクロール画面」があります。

現在地画面

ノーマルビュー



Advice

- ・本機では、現在位置をGPS測位(→P159)により表示します。電源投入直後は、現在位置と異なる場所が表示される場合があります。正確な現在位置を表示するまで(GPS測位が完了するまで)約5分程度時間がかかることがあります。
- ・本機は、GPSの受信感度が高く、室内でも受信することがありますが、GPS衛星が不安定な状態で測位すると自車位置が大きくずれる場合があります。
- ・現在位置と異なる場所が表示されたままの場合は、GPSを正常に受信できる場所に移動してください。GPS受信状況確認方法は「GPS受信状態を表示する」(→P115)をご覧ください。
- ・本機では昼画面と夜画面とで画面の配色を変えて、それぞれ見やすい画面を表示します。画面表示の設定は変更することができます。→「設定を変更する」(P91)
- ・自車マークは、実際の現在地からずれる場合があります。
- ・方位マークの色は、GPSの測位状態により以下のように変化します。
 - 赤：3次元測位
 - 黄：2次元測位
 - 灰：未測位
- ・走行軌跡は、車載時(クレイドル装着時)にのみ記録され、過去最大約250 km分の走行軌跡が表示できます。通常は白、車の速度が5 km/h未満のときは赤、5 km/h以上20 km/h未満のときは橙の点で表示されます。
- ・現在地情報表示は、地図スケール表示が50 m以下のときは市区町村名、100 m～1 kmのときは都道府県名と市区町村名が表示されます。場所によっては表示されないところもあります。
- ・ウィジェットの表示は変更することができます。詳しくは、「ウィジェット表示設定」(→P96)をご覧ください。また、通信機能を利用して、ナビポータル株式会社とパイオニア販売株式会社から提供されているサービスについて、簡易表示することができます。
- ・走行中は、安全のため、ウィジェットを操作することができません。

スクロール画面

ノーマルビュー



スクロール画面は、地図を移動させたときに表示されます。→「地図を動かす」(P38)

走行中に表示される画面

■交差点に近づく

交差点の手前約500mに近づく、交差点案内表示が表示されます。また、案内地の手前約700mに近づく、レーン情報や一般道方面看板が表示されます。情報が取得できていない場合は、表示されない場合があります。



Advice

- ・レーン情報や方面案内看板は、ルート案内中のみ表示されます。

ワイプ操作：

交差点案内、ルートインフォメーション、レーン表示、方面看板表示(ハイウェイモードの分岐方面看板は除く)の表示画面では、以下のワイプ操作が可能です。ワイプ操作については、「ワイプ操作」(→P33)をご覧ください。



- ↓ワイプ 次の案内地を表示します。(ルート案内中のみ)
- ワイプ 表示されている案内を消します。

Advice

- ・ワイプ操作を行う場合は、ワイプ画面が表示されるまで(0.5秒以上)ワイプ反応エリアにタッチし続けてください。ワイプ画面が表示される前に指を離すとスクロール画面が表示されます。

■有料道路を走行すると

自動的にハイウェイモードに切り換わりま
す(オートハイウェイモード)。



Advice

- ・オートハイウェイモードの設定は変更できます。
→「設定を変更する」(P91)

■有料道路の料金所に近づく

有料道路を走行中に、ETCレーンがある本
線上の料金所、または出口料金所に近づく
とETCレーン案内が表示されます。



Advice

- ・ETCレーン案内表示は、実際の看板と異なる
場合があります。
- ・ETCレーン案内表示は、車にETC車載器を取
り付けていない場合でも表示されます。
- ・ETCレーン案内表示はON/OFFできます。→
「設定を変更する」(P91)
- ・地点によりイラストデータが収録されていな
い場合は、表示されません。

走行中の音声案内

運転の状況に応じて音声で案内を行います
(セーフティインフォメーション)。

有料道路注意地点	ここからおよそ5キロ先 までは、十分運転に注意 してください。 この先、左からの合流が あります(右からの合流が あります)(合流があり ます)、ご注意ください。
有料道路県境案内	〇〇県に入ります。
踏切案内	この先踏切です。ご注意 ください。
リフレッシュ案内	そろそろ2時間になりま す。休憩しませんか?
ライト点灯案内	まもなく日が暮れます。ラ イトを確認してください。
eスタート案内	急発進です。安全運転を 心がけましょう。

Advice

- ・有料道路注意地点は、有料道路を走行中のみ行
われます。
- ・踏切案内は、走行中の道路の先に踏切がない
場合でも近くに踏切があれば案内されること
があります。また、全ての踏切で案内されるわ
けではありません。
- ・それぞれの案内についてはON/OFFできま
す。→「設定を変更する」(P91)

eスタート案内について

発進開始から約5秒後までに速度が41 km/h以上を検知すると、急発進の警告メッセージと音声で案内されます。



Advice

- ・eスタート案内はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)

サイドマップ表示

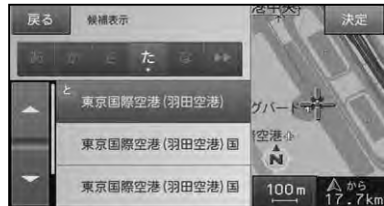
場所を探すリスト画面、情報画面などを表示している場合は、画面右側に地図画面が表示されます(サイドマップ)。

Advice

- ・リストの基本的な操作については、「基本的なリストの操作」(→P31)をご覧ください。
- ・サイドマップ画面の操作については、「サイドマップ画面の操作」(→P32)をご覧ください。
- ・サイドマップのスケールは変更できます。→「地図のスケールを変える」(P39)

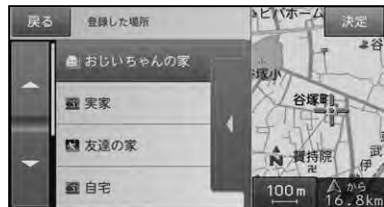
リスト画面

場所を探す場合などのリスト画面では、選択されている施設の周辺の地図がサイドマップに表示されます。サイドマップには、現在地や選んだ場所からの距離が表示されます。



情報画面

行き先や登録した場所、最近探した場所などの情報画面では、選んだ地点がサイドマップに表示されます。



地図の操作

基本的な地図の操作方法を説明します。

現在地画面を表示させる

1 『現在地』 ボタンを押す

現在地の地図が表示されます。

地図には、自分の車の現在地と進行方向を示す自車マークが表示されます。登録スケール以外で現在地画面を表示しているときに『現在地』ボタンを押すと登録スケールで表示します。



Advice

- 登録スケール(→P39)をした場合は、登録したスケールの現在地画面が表示されます。

地図を動かす

地図上の見たい場所に地図を動かします(スクロール)。

1 地図上の見たい方向にタッチする

タッチした場所が中心となるように地図が動きます。



Advice

- 画面中央のカーソルから離れた場所にタッチするほど、スクロールする速度が速くなります。
- 画面にタッチしたまま指を動かし、スクロールすることもできます。ただし、走行中はタッチした場所までしかスクロールできません。またシティマップで走行中は、スクロールできません。

2 位置を微調整したい場合は、**微調整**にタッチしてから、微調整したい方向の矢印(8方向)にタッチする



矢印にタッチするごとに、地図が少しずつ動きます。

もう一度**微調整**にタッチすると、8方向の矢印が消えます。

Advice

- 微調整の操作は、停車中のみ行うことができます。

地図のスケールを変える

10 m ~ 500 km の範囲で地図のスケールを変えることができます。

1 スケール表示タッチキーにタッチする



2 広域または詳細にタッチする



広域	より広域な地図が表示され、広い範囲を見ることができます。
詳細	より詳細な地図が表示され、詳しく見ることができます。
閉じる	広域 詳細 を消すことができます。

Advice

- ・ **広域** または **詳細** にタッチするごとに、10 m、25 m、50 m、100 m、200 m、500 m、1 km、2 km、5 km、10 km、20 km、50 km、100 km、200 km、500 km とスケール表示が変わります。
- ・ **広域** または **詳細** にタッチし続けると、上記スケール順に表示が切り換わり、離れたときのスケールで地図が表示されます。

地図画面の表示方法を変える

さまざまな状況に応じて地図の表示方法を変えることができます。

1 ビューにタッチする



2 表示方法を選んでタッチする



Advice

- ・ ハイウェイモード ON/OFF は、有料道路走行中のみ操作できます。
- ・ **ビュー** に2秒以上タッチすると、現在の表示スケールを登録することができます（登録スケール）。

表示方法の種類

ノースアップ

北が常に上になるように表示されます。



ヘディングアップ

進行方向が常に上になるように地図が自動的に回転します。



ノーマルビュー

通常の地図(2D)で表示されます。



シティマップ(詳細市街地図)収録エリア(→P172)では、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます(シティマップ)。



スカイビュー

上空から見ているような地図(3D)で表示されます。



Advice

- ・スカイビューでは、ヘディングアップに固定されます。
- ・地図のスケールを100m以内に設定している場合、立体ランドマーク(3Dマーク)が表示されます。立体ランドマークの表示はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)

ハイウェイモード

有料道路走行時の専用画面です。タッチすることにより、ON/OFFに切り換わりします。ハイウェイモードについては、「ハイウェイモードの情報をみる」(→P41)をご覧ください。工場出荷時は「ON」に設定されています。

例：ノーマルビュー(ヘディングアップ)



Advice

- ・シティマップ表示はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)
- ・シティマップの境界線付近では、自動的に通常地図に表示が切り換わりします。シティマップの境界を表示させることもできます。その場合、境界付近ではシティマップのみ表示され、境界の外側は何も表示されません。

100m スケール一方通行表示

シティマップで表示される一方通行表示を、100 mスケールでも表示させることができます。タッチすることにより、ON/OFFに切り換わります。

工場出荷時は「OFF」に設定されています。



Advice

- ・地図のスケールを100 m以外に設定している場合、自動的に100 mスケールに切り換わります。

文字拡大モード

地図画面上に表示される地名や施設名の文字を拡大表示することができます。タッチすることにより、ON/OFFに切り換わります。工場出荷時は「OFF」に設定されています。



ハイウェイモードの情報を見る

■有料道路の施設情報を見る

ハイウェイモードでは、現在向かっているインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。また、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。本線上や分岐先の施設情報も、見ることができます。

Advice

- ・都市間高速または都市高速を走行すると、自動でハイウェイモードに切り換わります（オートハイウェイモード）。
- ・一部表示対象外の有料道路もあります。
- ・手動でハイウェイモードに切り換えるには、「地図画面の表示方法を変える」(→P39)で**ハイウェイモードON/OFF**をONにしてください。ハイウェイモードの地図画面は前に表示していたビューを引き継ぎます。
- ・オートハイウェイモードの設定は、変更できません。→「設定を変更する」(P91)

■ハイウェイモードの現在地画面



次の施設
その次の施設

Advice

- ・ハイウェイモードでは、それぞれの施設の種類（IC/PA/SA/JCT/ランプ/料金所/スマートIC）と施設名および現在地からの距離と到着（通過）予想時間が画面右側に表示され、画面左側には引き続き現在地が表示されます。

つづ<

- ・画面左側の地図画面にタッチすると、スクロール画面(→P35)を表示することができます。『現在地』ボタンを押すと、ハイウェイモード画面に戻ります。
- ・次の施設には、施設のサービス情報(→P43)と料金(IC/PA/SA/JCT/料金所/スマートICの場合)が表示されます。
- ・次の施設にタッチすると、次の施設周辺の地図を表示させることができます。
- ・ルート案内中は、有料道路出口のおよそ1 km手前になると有料道路出口の案内が表示され、出口を通過すると自動的にハイウェイモードは解除されます。
- ・渋滞情報を取得している場合は、渋滞情報(→P44)が表示されます。
- ・有料道路施設が近接しているときは、施設表示の自動切り換えが間に合わないことがあります。

Advice

- ・先の施設にタッチして、その施設を選択することもできます。
- ・左画面には選択中の施設周辺の地図が表示されます。
- ・ルート案内中は、ルートに沿って施設が表示されます。
- ・選択中の施設にタッチすると、選択中の施設周辺の地図を表示させることができます。
- ・100施設先まで見ることができます。
- ・▲にタッチすると、インターチェンジやサービスエリアなどを順に送ることができます。
- ・選んだ施設にジャンクションとSA/PAが併設されている場合は、どちらかを選択する画面が表示されます。
- ・『現在地』ボタンを押すと、ハイウェイモードの現在地画面が表示されます。

■料金表示について

- ・有料道路上でルート設定をした場合は、料金が表示されない場合があります。
- ・料金表示が可能なのは、都市高速、都市間高速、一部の有料道路です。→「有料道路料金データについて」(P178)
- ・料金表示は、車両設定により中型車、普通車、軽自動車に切り換えられます。→「車両情報設定」(P99)
- ・各種 ETC 割引料金については、対応していません。

■先の施設情報を見る

ハイウェイモード表示中は、施設を先送りさせて先の施設情報を見ることができます。

1 ▲、▼にタッチして、表示させたい施設を選ぶ



選択中の施設

■ジャンクションの分岐先の情報を見るには

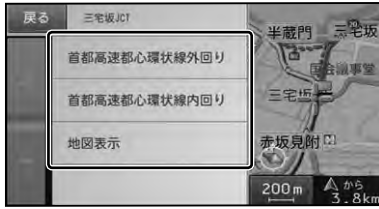
ルートが設定されていない場合は、走行中の路線に沿った施設情報を見ることができます。

ルートの有無に関係なく途中にジャンクションがある場合は、分岐先を選んで先の情報を見ることができます。

1 ジャンクションを選んで施設名にタッチする



2 見たい分岐先にタッチする



Advice

- ・**地図表示** にタッチすると、ジャンクションがある地点の地図を表示します。確認後、**戻る** にタッチすると分岐先を選ぶメニュー画面に戻ります。

分岐先の路線が表示されます。



■ サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報

	店舗情報
	身障者用トイレ
	レストラン
	ショッピングコーナー
	ハイウェイオアシス
	ドッグラン
	仮眠休憩所
	スナックコーナー
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	風呂
	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス
	トイレ

Advice

- ・店舗情報は、施設への到着予想時刻と営業時間が考慮され、利用できる施設(例：)と利用できない施設(例：)が区別されて表示されます。(営業時間考慮表示)
- ・同時に表示される情報は8個までです。9個以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9個目以降は表示されません。

■ 施設のイラスト表示について

SAやPAなどの施設にタッチした時に、施設のイラスト情報が収録されている場合に表示されます。





Advice

- ・「地図表示」にタッチすると、SAやPAがある地点の地図を表示します。

■渋滞情報表示について

渋滞情報を取得している場合は、自車位置に最も近い混雑状況（渋滞または混雑）および規制情報がそれぞれ1つずつ画面表示されます。



Advice

- ・施設間で交通規制がある場合は、渋滞情報のVICISマーク(→裏表紙)が表示されます。

■ETCレーン表示について

ETCレーンがある本線上の料金所、または出口料金所に近づくと、ETCレーン案内が表示されます。(→P36)

検索

場所を探す	46
地図で探す	46
名称で探す	46
住所で探す	47
周辺施設を探す	48
ロゴマークの表示を解除するには	49
電話番号で探す	49
登録した場所から探す	50
最近探した場所から探す	50
ジャンルで探す	51
マップコードで探す	52
緯度経度で探す	52
通信で探す	53
駐車場満空情報から探す	53
ガススタ価格情報から探す	53
詳細情報を見る	55

場所を探す


ナビゲーションの操作は場所(行き先、立寄地などの目的地)を探すことから始まります。目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、詳細情報を見たりすることができます。

Advice

- ・検索した場所によっては、表示された地図が目的地を中心にしたピンポイントの地図ではない場合があります。その場合は、ピンポイントでない旨のメッセージが表示され、代表地点の地図が表示されます。
- ・施設を検索した場合、検索後はそのままスクロールせずに目的地に設定してください。例えば高速道路上の施設を検索後にスクロールさせて目的地に設定すると、一般道上が目的地になる場合があります。
- ・自然を対象とした検索では、周囲に道路がないポイントが表示されることがあります。このような場所では、地図をスクロールして近くの道路に目的地を設定してください。周囲の道路がない場所を目的地にすると、ルート探索できないことがあります。

地図で探す

地図上で探すことができます。

- 1 地図をスクロールさせて、目的の場所に十字カーソルを合わせる
- 2  または円部分にタッチする

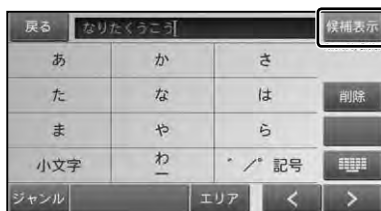


以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

名称で探す

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**行き先**
・場所 - **名称** にタッチする
- 2 施設の名称をひらがなで入力(→P148)し、**候補表示** にタッチする



ジャンル ジャンルによる絞り込みができます。

エリア 都道府県による絞り込みができます。

Advice

- ・名称はひらがな以外の入力できません。カタカナ、漢字、ローマ字、数字などを含む施設を探すときも、全てひらがなで入力します。
- ・ひらがなは10文字まで入力できます。
- ・名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。

- 濁音(゜)や半濁音(゜)の入力は省略できます。また、促音(ょ)などは(よ)などで代用できます。
- 目的の施設をうまく探せない場合は、以下の例を参考してください。

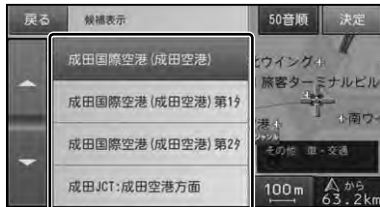
例)

- 検索する施設の名称をできるだけ正確に入力し、**候補表示**にタッチする。
- 目的の施設がある都道府県や市区町村、またはジャンルがわかっている場合は、**エリア**、**ジャンル**にタッチして絞り込み、**候補表示**にタッチする。

- 入力された内容や絞り込み条件によっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。

3 目的の施設にタッチする

選んだ施設の地図がサイドマップに表示されます。



50音順

入力された名称を含む施設を50音順で再検索します。

4 決定にタッチする

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

住所で探す

住所や地名で探すことができます。

- 『メニュー』ボタンを押し、**行き先**・**場所** - **住所**にタッチする
- 都道府県にタッチする



- 市区町村名、地名の順にタッチする



Advice

- 主要部**にタッチすると、選んだ地域の代表地点の地図が表示されます。

- 番地、号を入力し、**入力完了**にタッチする



Advice

- 番地を入力しないで**入力完了**にタッチすると、丁目または住所名の代表地点が検索されます。
- 住所に大字・小字を含む場合は、それぞれを入力します。

▼
入力した住所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

周辺施設を探す

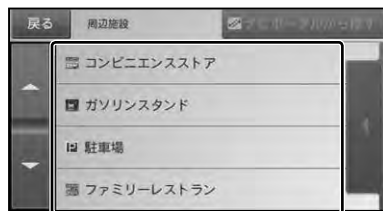
ガソリンスタンド、駐車場、その他の各ジャンルなど、現在地やルート周辺、スクロール先の周辺の施設を、最大100件まで探すことができます。

Advice

・ショートカットメニュー(→P30)の**周辺施設**を探すにタッチして操作することもできます。

1 『メニュー』ボタンを押し、行き先・場所ー周辺施設にタッチする

2 ジャンルにタッチする



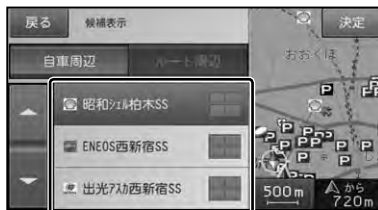
ナビポータルから探す ナビポータル株式会社のナビポータルに接続され、専用画面が表示されます。(→P29)

Advice

- ・選んだジャンルによっては、自動的に近い順にリストを表示します。手順⑤に進みます。
- ・**ナビポータルから探す**は通信モジュールが接続され通信可能な状態になっていないと操作できません。
- ・**追加データ**は、マップチャージ(→P120)で新規ジャンルの追加があれば表示されます。

3 詳細ジャンルがある場合は、ジャンルを絞り込む

4 目的の施設にタッチする






自車周辺	自車周辺の施設を探します。
ルート周辺	案内中のルート周辺の施設を探します。(ルート案内中のみ)

▼
選んだ施設の地図がサイドマップに表示されます。

5 決定にタッチする

▼
選んだ施設を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。
以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

Advice

- ・スクロール画面で検索した場合は、**自車周辺**、**ルート周辺**は操作できません。
- ・駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファストフードを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設(例：)と利用できない施設(例：)が区別されて表示されます。(営業時間考慮検索)
- ・隔週定休日、不定期な休日および不定期な営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- ・コンビニでは、酒(酒)・タバコ(外口)・ATM(ATM)を取り扱う店がわかるように表示されます。
- ・ファストフードでは、ドライブスルー()対応の店がわかるように表示されます。

- ・駐車場は、「車両情報設定」(→ P99)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(■)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります。)
- ・酒、外口、☔ は一部表示されない施設もあります。
- ・ルート案内中で自車がルート上にあるときは、ルート周辺を優先して検索します。自車の周辺で探す場合は「**自車周辺**」にタッチします。
- ・ルート案内中に検索したときは、前方両側約200 m以内、前方約30 km以内の範囲から検索されます。ルート案内中でないとき、またはスクロール位置で検索したときは、自車位置または十字カーソル位置の半径約10 kmまたは約30 kmの範囲から検索されます。

■ロゴマークの表示を解除するには

検索後はロゴマークが表示されます。ロゴマークの表示を解除するには、以下のよう
に操作します。

- 1 P48「周辺施設を探す」の手順
- 2 または 3 で **結果消去**にタッチする



▼
ロゴマークが消去されます。

Advice

- ・本機の電源をOFFにしても、ロゴマークを消去
できます。

電話番号で探す

行き先の電話番号を入力して探すことが
できます。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**行き先**
・**場所** - **電話番号**にタッチする
- 2 電話番号を入力する



▼
電話番号を入力すると、自動的に検索を
始めます。自動的に検索を開始しない場
合は、「**入力完了**」にタッチします。

▼
該当する地図とショートカットメニュー
が表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニュー
の操作(→ P30)を参照してください。

Advice

- ・市外局番と市内局番は必ず入力してください。
- ・10桁まで入力できます(090、080、070、
050で始まる電話番号は11桁まで入力でき
ます)。
- ・ダイヤルQ2(0990-〇〇)、携帯電話、短縮
ダイヤルは、対象外です。ただし、該当する電
話番号が登録した場所に登録されている場合
は検索できます。
- ・該当する電話番号が2件以上ある場合は、手順
2の操作後、リストが表示されます。

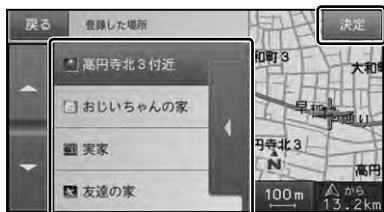
登録した場所から探す

すでに登録されている場所から探すことができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**行き先・場所** - **登録した場所**にタッチする

2 目的の場所にタッチする

選んだ場所の地図がサイドマップに表示されます。



◀にタッチするとサイドメニューが表示されます。

呼出日時順	リストを呼出日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	リストを2Dマーク順に並べ替えます。リスト表示されるマークの並び順は、2Dマーク選択リストの左上からの順番となります。

3 **決定**にタッチする

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

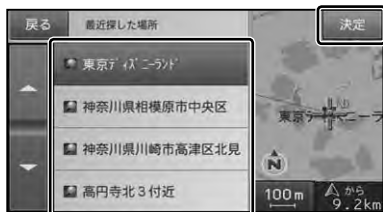
最近探した場所から探す

過去に検索した場所や行き先とした場所から探すことができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**行き先・場所** - **最近探した場所**にタッチする

2 目的の場所にタッチする

選んだ場所の地図がサイドマップに表示されます。



3 **決定**にタッチする

選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

ジャンルで探す

ジャンルリストから各種施設を探すことができます。

検索できるジャンル

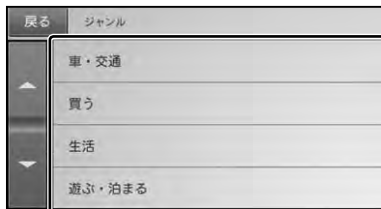
- ・車・交通
- ・買う
- ・生活
- ・遊ぶ・泊まる
- ・食べる
- ・新規スポット

Advice

- ・ジャンル検索では、必ず「ジャンル」→「都道府県・市区町村（または路線）」の順に指定しますが、選んだジャンルと都道府県・市区町村（または路線）の組み合わせによっては、検索の結果、該当するデータが無い旨のメッセージが表示される場合があります。
- ・新規スポット内の追加データは、マップチャージ(→P120)で追加になったスポットがあれば表示されます。

1 『メニュー』ボタンを押し、行き先・場所—ジャンルにタッチする

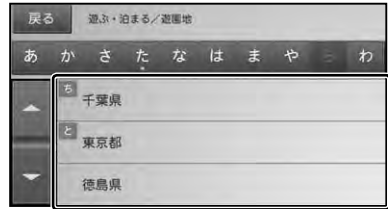
2 探している施設のジャンルを絞り込む



Advice

- ・選んだジャンル内すべての施設を検索したい場合は、詳細ジャンルの先頭に表示される **〇〇すべて** にタッチします。

3 都道府県、市区町村の順にタッチする

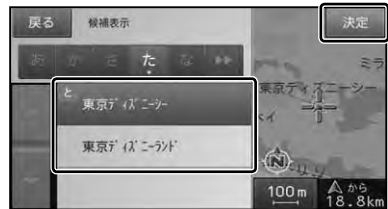


Advice

- ・車・交通機関のジャンルから「駅」または「高速道路施設」を選んだ場合は、路線別を選ぶリストが表示されます。
- ・選んだ都道府県内すべての施設を検索したい場合は、都道府県リストの先頭に表示される **〇〇県すべて** にタッチします。

4 目的の施設にタッチする

選んだ施設の地図がサイドマップに表示されます。



5 決定にタッチする

施設付近の地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

マップコードで探す

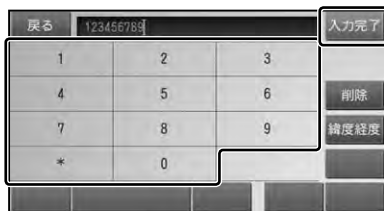
マップコードを入力することで、その地点をすばやく呼び出すことができます。

Advice

- ・マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大13桁（マップコードHRの場合）の数字や*マークで特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所も、マップコードでは特定することができます。
- ・本機は、標準マップコードおよび高精度マップコード（マップコードHR）に対応しています。

1 『メニュー』ボタンを押し、**行き先**
・**場所** - **MAPCODE** にタッチする

2 マップコードを入力(→P148)し、**入力完了**にタッチする



選んだ場所を中心とした地図とショートカットメニューが表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

緯度経度で探す

緯度経度を入力することで、その地点を素早く呼び出すことができます。

Advice

- ・緯度経度で検索できる範囲は、日本近辺です。
- ・本機は日本測地系に対応しています。

1 『メニュー』ボタンを押し、**行き先**
・**場所** - **MAPCODE** - **緯度経度** にタッチする



2 緯度と経度を入力する



すべての桁の数値を入力すると、自動的に検索を始めます。自動的に検索を開始しない場合は、**入力完了**にタッチします。

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

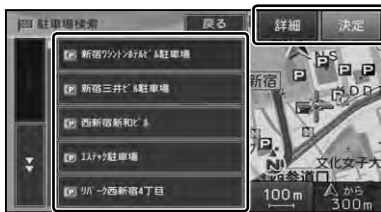
通信で探す

専用サーバーの情報を利用して、空いている駐車場を探したり、価格の安いガソリンスタンドを探することができます。

駐車場満空情報から探す

1 『メニュー』ボタンを押し、**通信** - **駐車場満空情報** にタッチする

2 目的の施設にタッチする



詳細	選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。
----	----------------------

3 **決定** にタッチする

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

Advice

- ・データが取得できていないときは、情報が表示されません。
- ・自車位置から半径約8 kmが検索対象となります。
- ・駐車場は、「車両情報設定」(→P99)の「駐車制限」を考慮して検索されます。利用できない駐車場は(ⓧ)と表示されます。(実際の車両設定と異なる場合があります)
- ・駐車場満空情報を利用して、駐車場を目的地としてルート案内を行った場合は、駐車場満空情報自動取得(→P61)は行われません。

ガススタ価格情報から探す

1 『メニュー』ボタンを押し、**通信** - **ガススタ価格情報** にタッチする

2 目的の施設にタッチする



ガソリン種別	ガソリン種別を「レギュラー」⇄「ハイオク」に切り換えられます。
--------	---------------------------------

詳細	選んだ施設の詳細情報画面が表示されます。
----	----------------------

3 **決定** にタッチする

該当する地図とショートカットメニューが表示されます。

以降の操作は、ショートカットメニューの操作(→P30)を参照してください。

つづく→

Advice

- ・データが取得できていないときは、情報表示されません。また、個人からの口コミによる情報のため、情報内容に関する保証は行いません。
- ・自転車位置から半径約 8 km が検索対象となります。
- ・価格情報が保持されてからの経過時間に応じて価格情報を色で区別しています。
 - 橙色：24時間以内
 - 青色：7日以内
 - 茶色：8日以上
- ・ウィジェット(→P34)の表示項目に「ガスタ価格情報(安い順)」を登録し、走行中に情報を取得すると、ウィジェットのタッチキーにタッチするだけで、ガソリン価格の安いスタンドのリストを表示することができます。

詳細情報を見る

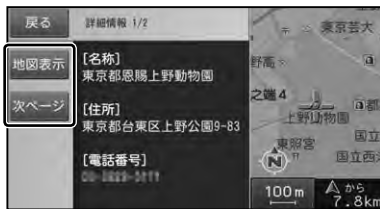
検索した場所の詳細情報を見ることができます。

1 ショートカットメニュー (→ P30)の **詳細情報を見る** にタッチする

Advice

- ・施設によっては、詳細情報が無いものもあります。
- ・駐車場満空情報やガススタ価格情報、緯度経度検索、マップコード検索で場所を探した場合、周辺検索の「ナビポータルから探す」で場所を探した場合には、**詳細情報を見る** は操作できません。

2 情報を確認する



地図表示 地図が全画面で表示されます。

次ページ 情報が複数ページある場合に、ページを切り換えます。

目的地までのルートを探索させる	58	ルートを編集する	68
目的地までルート探索させる	58	ルートプロフィールでルートを確認する	68
渋滞予測データについて	59	条件を変えてルートを再探索させる	68
自宅までルート探索させる	59	立寄地を先送りする	69
渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索).....	60	デモ走行でルート確認する	69
スマートICを考慮したルート探索	60	ルートを消去する	69
ルート探索時の機能	61	ルート誘導・案内	70
ピンポイントウェザーライブ	61	ルート案内中の現在地画面	70
駐車場満空情報自動取得	61	案内地に近づくと	71
案内開始画面の見かた	62	案内地のイラスト表示	71
ルートプロフィールでルートを確認する	63	都市高速道路の入口に近づくと	72
他のルートを選ぶ	63	有料道路の分岐に近づくと	72
スクロール確認画面の操作	64	有料道路の出口や料金所を通過すると	72
ルート地図を表示する	64	エコステータスレベル案内について	73
詳細ルート設定をする	65	音声による誘導・案内	73
立寄地を追加する	65	進行方向案内	73
乗降IC (インターチェンジ)を指定する	66	一般道路走行時の案内	74
出発地を指定する	67	有料道路走行時の案内	74
		ルート案内中の操作と機能	75
		ルートから外れたときに	
		自動的にルートを再探索させる	75
		状況に応じて新しいルートを提案させる	75
		次の案内地を確認する(リクエスト案内)	76
		ルート上の渋滞情報を案内させる	77
		自動で案内させる	77
		手動で案内させる	77
		ルート上に通行止めが発生した場合	77
		ルート案内を中止する	78

目的地までのルートを探させる

検索した場所や自宅を目的地として設定すると、現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

目的地までルート探索させる

1 場所を探して(→P46)目的地を決める

2 **ここへ行く** にタッチする



現在地から目的地までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

Advice

- ・自動的に自車位置が出発地となります。また、出発地を指定してルートを探することもできます。(→P67)
- ・目的地の近くに有料道路があるときは、[一般道路]か[有料道路]を確認する画面が表示される場合があります。その場合は設定地点が面している道路の種類を選んでください。
- ・通常のルート探索では、渋滞予測情報を考慮して複数のルートを探します(渋滞考慮ルート探索)。渋滞考慮ルート探索は、考慮するデータを選択することができます。→「設定を変更する」(P91)
- ・すでにルートが設定されている場合は、探した場所を目的地にするか立寄地にするかのポップアップ画面が表示されます。**目的地**にタッチすると、現在の目的地を消去し、新しい目的地を行き先としてルートを探します。**立寄地**にタッチすると、目的地はそのまま、探した場所に立ち寄るルートを探します。

3 ルートを確認する



案内開始	現在選ばれているルートで案内を開始します。(→手順4)
ルートプロフィール	出発地から目的地までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金(有料道路を使用する場合)や通過予想時刻などの情報を確認できます。(→P63)
他のルート	現在選ばれているルートとは異なる探索条件のルートを選ぶことができます。(→P63)
ルート地図	立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合、ルート全体が1画面に収まるように表示されます。(→P64)
詳細ルート設定	立寄地指定(→P65)、乗降IC指定(→P66)、出発地指定(→P67)ができます。

Advice

- ・最初に表示されるルートは、「ルート探索基準」、「有料道路使用条件」、「フェリー航路使用条件」の探索条件(→P93)に従ったルートになります。
- ・立寄地や乗降ICを指定した場合は、探索されるルートが1本となり、**他のルート**は**ルート地図**になります。

4 案内開始 にタッチするか、走行を開始する



走行を開始すると状況に応じて画面と音声でルート案内が行われます。目的地に近づくとルート案内は終了します。

Advice

- ・ルート案内を中止するには、ルートを消去します。(→P69, 78)

■ 渋滞予測データについて

VICS 情報に加え、スマートループ渋滞情報を活用してデータを作成しています。本データは大型連休や季節・曜日など約30種のシチュエーション別パターンが含まれており、予測処理には、現在地付近は最新の渋滞情報を重視し、現在地から離れた場所は到達する時間帯に応じた渋滞予測データを参照して利用する、「タイムスライス処理」を採用しています。

自宅までルート探索させる

現在いる場所から登録してある自宅(→P80)までのルートが探索され、ルート案内開始画面が表示されます。

Advice

- ・この機能を使うには、自宅が登録されている必要があります。→「自宅を登録する」(P80)

1 『メニュー』ボタンを押し、行き先・場所 - 自宅 にタッチする



自宅までのルートが1本だけ探索され、案内を開始します。

Advice

- ・すでに案内中のルートがある場合は、自宅へのルート案内に変更するかどうかのメッセージが表示されます。**はい** または **いいえ** にタッチしてください。

渋滞情報を考慮したルート探索 (渋滞考慮ルート探索)

渋滞情報・渋滞予測データを元に渋滞や交通規制を考慮してルート探索を行います。

Advice

- ・渋滞情報が取得できないときは、渋滞予測データを元にルート探索を行います。
- ・必ずしも渋滞を避けるルートになるとは限りません。
- ・渋滞考慮ルート探索は、考慮するデータを選択することができます。→「設定を変更する」(P91)
- ・本機をクレイドルに装着して、FM-VICS情報のみを受信している場合は、規制情報(入り口閉鎖・通行止め)のみを考慮してルート探索を行います。

スマートICを考慮した ルート探索

スマートICとは、ETC専用の簡易インターチェンジのことをいいます。スマートIC考慮探索が「ON」に設定されている場合は、スマートICを乗降ICの対象としてルート探索を行います。

Advice

- ・スマートIC考慮ルート探索では、スマートICの営業時間は考慮されないため、実際のスマートICが営業時間外であっても乗降ICの対象となる場合があります。その場合は、実際のスマートICの状況に従ってください。
- ・スマートIC考慮ルート探索は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)
- ・すでに案内中のルートがある場合は、設定変更できません。

ルート探索時の機能

ルート探索に連動して以下の2つの通信機能がご利用になれます。

■ピンポイントウェザーライブ

専用サーバーから通信にて目的地周辺の気象情報を取得し、音声での読み上げ(天気予報、降水確率、予想気温)及び、地図画面左上にて到着予想時刻に基づいた天気予報のアイコン表示をします。

Advice

- ・表示される情報は、(株)ライブビジネスウェザーの天気予報に基づいています。(ただし、専用サーバー上のデータが更新されない場合もあります)
- ・1回で取得可能なエリアは、目的地位置から最大約20 km四方です。測位する場所によっては取得範囲は狭くなります。
- ・目的地が自転車位置周辺の場合(半径約5 km未満)は案内を行いません。
- ・データが取得できていないときには、天気予報は表示されません。
- ・他の音声案内が優先される場合は、気象情報の読み上げを行わない場合があります。
- ・天気予報データは、発表日時から23時間を有効期限としています。
- ・ルート探索による目的地到着予想時刻が翌日になるなど遅くなる場合は、天気予報の表示や気象情報の読み上げを行わない場合があります。
- ・天気予報のアイコンは、「道のり・到着予想時刻表示」(→P93)が、「目的地」に設定されているときだけ表示されます。
- ・(株)ライブビジネスウェザーが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。
- ・ピンポイントウェザーライブはON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)

■駐車場満空情報自動取得

目的地到着予想時刻の5分前、または目的地までの残距離が2 kmになった時に設定範囲内にある空いているコインパーキング情報を1件取得し、その地点にルート探索します。新しいルートが見つかった場合は、駐車場満空情報通知メッセージが表示され、ルートを選択することができます。



いいえ	元ルートで案内します。
はい	駐車場を目的地にした新ルートで案内します。

▼
選択されたルートで案内を開始します。

Advice

- ・ワイプ操作で選択することもできます。
- ・表示駐車場の範囲は半径1 km以内となります。
- ・圏内に空いているコインパーキング情報が無い場合があります。
- ・駐車場満空情報自動取得はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)

案内開始画面の見かた

ルート表示

現在選ばれているルートの概略が表示されます。

探索条件

現在選ばれているルートの探索条件が表示されます。



IC表示(インターチェンジ)

利用する有料道路の最初のICと最後のICが表示されます。

距離：

選ばれているルートの総距離が表示されます。

所要時間：

機能設定(→P91)で設定した到着予想時刻速度と渋滞予測データを元に計算した所要時間が表示されます。

料金：

利用する有料道路の料金が表示されます。

メニュー表示

Advice

- ・案内開始画面は、ノースアップ(→P39)となります。
- ・料金表示は、「車両情報設定」(→P99)により設定された「有料道路料金区分」の料金で表示されます。
- ・各種ETC割引料金については対応していません。
- ・料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されたり、「不明」と表示されることがあります。
- ・サービスエリアなどの有料道路施設を行き先とした場合、料金が表示されないことがあります。

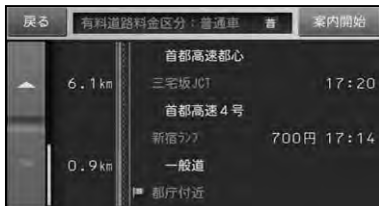
ルートプロフィールで ルートを確認する

自車位置から行き先までの間に通る道路名や区間距離、有料道路の料金（有料道路を使用する場合）や通過予想時刻などの情報を確認できます。

1 案内開始画面（→P62）で、 ルートプロフィールにタッチする



ルートプロフィール画面が表示されます。



Advice

- ・ ルート編集メニュー（→P68）からの操作では、案内開始ではなく、終了が表示されます。

他のルートを選ぶ

1 案内開始画面（→P62）で、 他のルートにタッチする



2 1～6の番号でルートを選び 決定にタッチする



地図スクロール スクロール確認画面でスケール変更と地図のスクロールができます。

Advice

- ・ 最大6本の候補ルートの中から選ぶことができます。（候補ルートが同じになる場合もあります。）
- ・ 現在選ばれているルートの候補条件が、画面に表示されます。
- ・ 推奨ルートは必ずしも最短時間になるルートとは限りません。

■スクロール確認画面の操作

スクロール確認画面では、地図のスクロール(→P38)とスケール変更(→P39)ができます。また、**候補切換**にタッチすることで、ルートが切り換わり、**決定**にタッチすると選んだルートに設定します。



ルート地図を表示する

Advice

- ・**ルート地図**は、立寄地などを指定して、探索されたルートが1本の場合に表示されます。

1 案内開始画面(→P62)で、**ルート地図**にタッチする



2 **決定**または**戻る**にタッチする



ルート地図画面では、地図のスクロール(→P38)とスケール変更(→P39)ができます。

詳細ルート設定をする

立寄地や乗降IC、出発地の指定を行い、ルートを詳細に設定することができます。また、探索条件の指定を行うこともできます。

■立寄地を追加する

ルート上に立寄地を追加（最大5件まで）して、立寄地を経由するルートを案内させることができます。

Advice

- ・ショートカットメニュー（→P30）の **ここへ行く** ← **立寄地** にタッチして操作することもできます。その場合は、その場所へ最初に立ち寄るルートとなります。
- ・立寄地の追加を行うと、その時点で通過済みの立寄地はすべて自動的に削除されます。

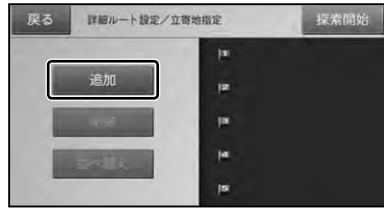
1 案内開始画面（→P62）で、**詳細ルート設定** にタッチする



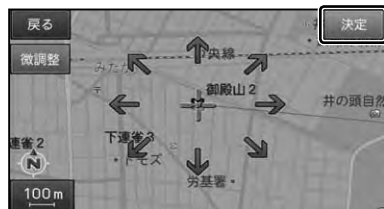
2 **立寄地指定** にタッチする



3 **追加** にタッチする



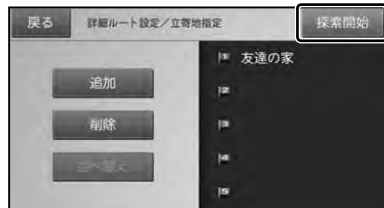
4 場所を探して（→P46）立寄地を決め、**決定** にタッチする



Advice

- ・立ち寄る順番に指定します。
- ・あとから順番を並べ替えることもできます。

5 **探索開始** にタッチする



追加	さらに立寄地を追加します。
削除	立寄地を削除します。
並べ替え — オート	前の立寄地から近い順に並べ替えます。
並べ替え — マニュアル	立ち寄る順番を指定して並べ替えます。

Advice

- ・さらに立寄地を追加するときは、手順 **3** ~ **4** の操作を繰り返します。
- ・立寄地は最大5カ所まで指定することができます。

ルート

指定した立寄地に立ち寄るルートが探索され、案内開始画面(→P62)が表示されますので、案内開始にタッチします。

■乗降IC(インターチェンジ)を指定する

有料道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

Advice

- 指定されたインターチェンジは、通常の立寄地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、最初に探索されたルートの最初の入口、最後の出口、またその入口/出口の前後3施設の計7施設から選択することができます。複数の有料道路を使用するルートの場合、途中のインターチェンジは、変更できません。
- スマートIC考慮ルート探索が機能している場合は、スマートICを乗降ICとして指定することもできます。→「スマートICを考慮したルート探索」(P60)

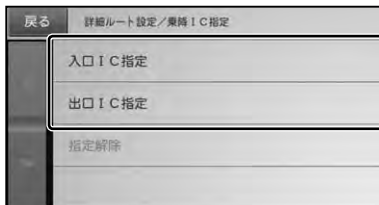
1 案内開始画面(→P62)で、詳細ルート設定にタッチする



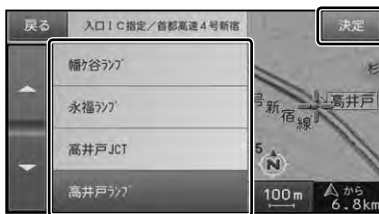
2 乗降IC指定にタッチする



3 入口IC指定または出口IC指定にタッチする



4 入口または出口となるインターチェンジを決め、決定にタッチする



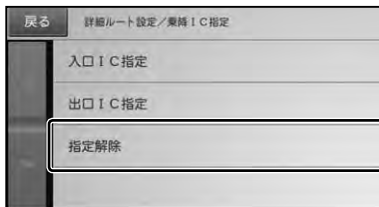
指定したインターチェンジを通るルートが探索されます。

Advice

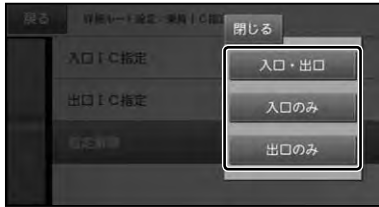
- ジャンクション(JCT)を選ぶと、分岐先の有料道路のインターチェンジリストが表示されます。

乗降IC指定を解除するには

1 「乗降IC(インターチェンジ)を指定する」の手順3で指定解除にタッチする



② **入口・出口** / **入口のみ** / **出口のみ** のいずれかにタッチする



③ **はい** にタッチする

乗降IC指定を解除して、ルートが探索されます。

■ **出発地を指定する**

指定した出発地からルートを探することができます。

① **案内開始画面** (→ P62) で、**詳細ルート設定** にタッチする



② **出発地指定** にタッチする



③ **場所を探して** (→ P46) **出発地を決め、決定** にタッチする



指定した場所を出発地としたルートが探索されます。

■ **出発地を解除するには**

① 「**出発地を指定する**」の手順
② で **出発地指定解除** にタッチする



② **はい** にタッチする

出発地指定を解除して、ルートが探索されます。

ルートを編集する

設定したルートを確認したり、立寄地や出発地、乗降ICなどを指定したり、ルートを編集することができます。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **編集** - **ルート編集** にタッチする



ルート編集メニュー画面が表示されます。



ルートプロフィール	設定したルートを確認することができます。(→P68)
詳細ルート設定	立寄地の追加など、ルートを詳細に設定することができます。(→P68)
立寄地送り	登録された立寄地に立ち寄る必要が無くなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索することができます。(→P69)
デモ走行	出発地から行き先までのルートを擬似走行させて、ルートを確認できます。(→P69)
ルート消去	案内中のルートを消去することができます。(→P69)

ルートプロフィールでルートを確認する

操作方法は、「目的地までのルートを探させる」の「ルートプロフィールでルートを確認する」(→P63)と同様です。

条件を変えてルートを再探索させる

案内中のルートの探索条件を一時的に変えて、再探索することができます。ただし、通過済みの立寄地は、ルートを再探索しても考慮されません。

「立寄地指定」、「乗降IC指定」、「出発地指定」の操作方法は、「目的地までのルートを探させる」の「詳細ルート設定をする」(→P65)と同様です。

- 1 **ルート編集メニュー**(P68)で、**詳細ルート設定** - **有料回避**で**再探索**または**有料標準**で**再探索**にタッチする



Advice

- ・上記探索条件の変更は一時的なもので、機能設定の「ルート探索基準」(→P93)には反映されません。

立寄地を先送りする

登録された立寄地に立ち寄る必要がなくなった場合などは、立寄地を通過済みとして、ルートを探索し直すことができます。

1 ルート編集メニュー(P68)で、**立寄地送り**にタッチする



次の立寄地を通過済みにして、ルートが探索されます。

デモ走行でルート確認する

出発地から行き先までのルートを確認できます。

1 ルート編集メニュー(P68)で、**デモ走行**にタッチする



デモ走行が開始されます。



Advice

- ・デモ走行中は、画面左側に**デモ中**が表示されます。タッチすると、デモ走行終了の確認メッセージが表示されます。終了する場合は**はい**にタッチします。
- ・デモ走行中は、ルート編集メニュー(→P68)に**デモ走行終了**が表示されます。タッチするとデモ走行を終了させることができます。
- ・デモ走行は、終了させるまで繰り返し行われます。

ルートを消去する

1 ルート編集メニュー(P68)で、**ルート消去**にタッチする

2 **はい**にタッチする



ルートが消去されます。

Advice

- ・消去したルートを元に戻すことはできません。

ルート誘導・案内

ルート案内中の表示や音声案内について説明します。

ルート案内中の現在地画面

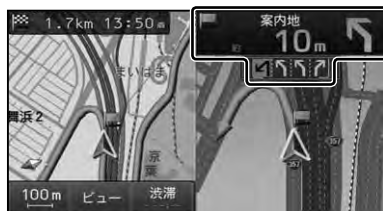


Advice

- ・案内中のルートは、一般道が緑色で有料道路は青色で道塗り表示されます。また、出発地付近、立寄地付近、行き先付近は細街路まで探索され、細街路はピンク色で表示されます。場所によっては道塗りされない場合もあります。
- ・到着予想時刻には、「設定を変更する」(→P91)で設定した到着予想時刻速度と走行中の平均速度、渋滞予測データの内容がそれぞれ反映されます。またVICS情報も考慮されます。表示される時刻はあくまでも推測時刻で実際の到着時刻とは異なります。
- ・目的地までの距離と到着予想時刻の表示は、「設定を変更する」(→P91)の「道のり・到着予想時刻表示」を「立寄地」とすることで、立寄地までの距離と到着予想時刻の表示に変更することができます。
- ・ルートインフォメーションには、次の案内地までの距離と曲がる方向および交差点名が表示されます。交差点によっては、交差点名が“案内地”と表示される場合があります。
- ・案内地に近づく(一般道：約700m、有料道：約2km)と、交差点案内表示には次の案内地のレーン情報、方面看板(一般道走行中)が表示されます。情報の無い交差点では表示されません。
- ・レーン情報表示は、誘導中のレーンが緑色で表示されます。通行が推奨される誘導レーンは緑色に黒の矢印で表示されます。有料道路走行中のレーン情報表示は青色で表示されます。

■案内地に近づく

案内地の手前約 500 m に近づくと、交差点案内表示の画面に切り換わり、曲がる方向や目印となる施設が表示されます。



Advice

- ・進行方向に立体交差になる側道がある場合、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示される場合があります。
- ・交差点案内図の表示は、ON/OFF できます。
→「設定を変更する」(P91)

■案内地のイラスト表示

進行方向に立体交差になる側道がある場合や、交差点イラストのデータが収録されている場合は、交差点案内図の代わりに立体的に描画されたイラストが表示されます。

交差点イラスト



立体交差イラスト



Advice

- ・イラスト表示中は、ワイプ操作が可能になります。操作方法と動作は「交差点に近づく」と(→P35)のワイプ操作と同様です。

■都市高速道路の入口に近づく

ルート上の都市高速道路入口の手前約300 mに近づくとき、イラストが表示されます。

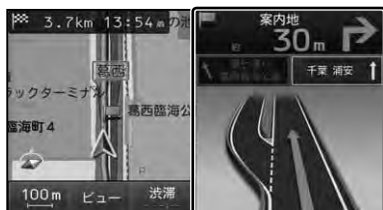


Advice

- ・一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- ・都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

■有料道路の出口や料金所を通過すると

ルート上の有料道路の出口や料金所を通過後に分岐情報がある場合は、進行方向を示すイラストが表示されます。



Advice

- ・地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

■有料道路の分岐に近づくとき

ルート上の有料道路分岐の手前約2 kmに近づくとき、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また都市高速・都市間高速では分岐の手前約1 kmに近づくとき、イラストが表示されます。



Advice

- ・地点によりイラストデータが収録されていない場合は、表示されません。

エコステータスレベル案内について

目的地に到着して案内が終了すると、ルート案内中の運転操作から、前回の運転と今回の運転の燃費情報を基にした「エコ指数」(→P114)をポイント化して、エコ運転の評価結果(ステータスレベル)を効果音とメッセージで表示することができます。



確認 表示されたメッセージを消します。

Advice

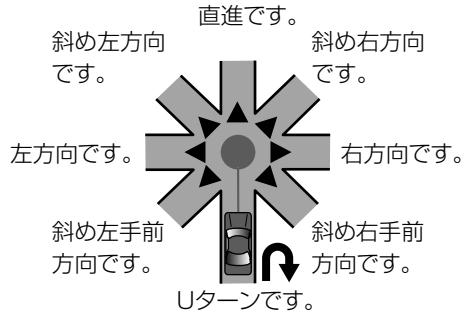
- ・エコステータスレベル案内は、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)
- ・エコステータス情報については、「エコステータス情報を表示する」(→P114)をご覧ください。

音声による誘導・案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、きめ細かく音声案内が行われます。

■進行方向案内

進行方向(8方向)は、音声で以下のように案内されます。



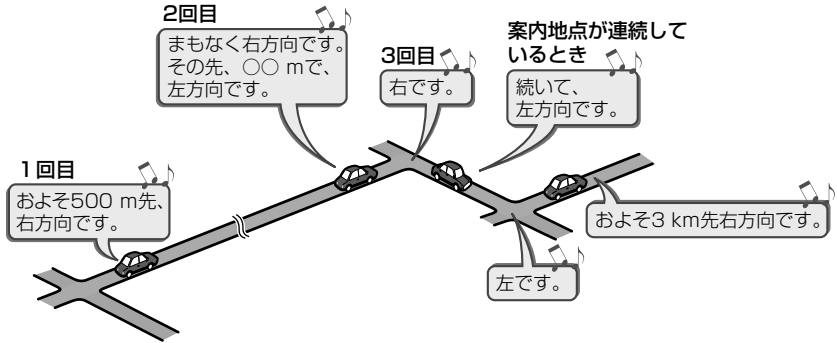
種類	案内例
側道案内	およそ〇〇 m 先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ〇〇 m 先、右方向です。右側 2 レーンをお進みください。
方向案内	およそ〇〇 m 先、左方向です。

Advice

- ・右方向や左方向などの案内だけではうまく案内できない地点においては、走行すべきレーンなども案内します。
- ・誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。

■一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内(→P71)が表示されます。

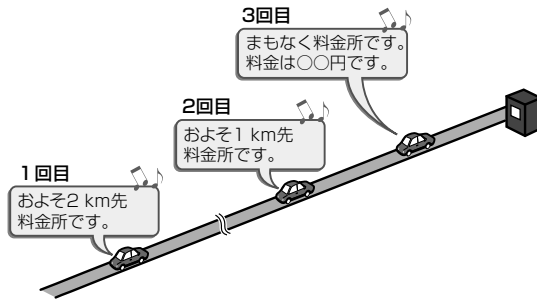


立寄地が近づいたら

立寄地の約500 m手前に近づくと、「およそ500 m先、立寄地点です。」と音声案内が流れます。また、立寄地の約10 m手前に近づくと「立寄地に到着しました。」と音声案内が流れます。

■有料道路走行時の案内

車の走行に合わせ、分岐や出口、料金所の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングで方面名称や分岐イラスト(→P72)などが表示されます。



Advice

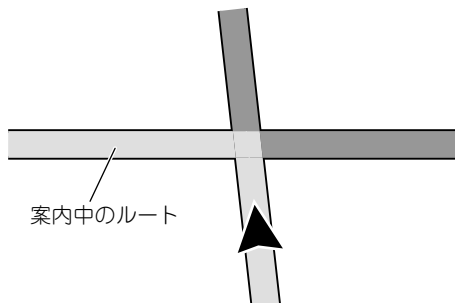
・料金案内では、有料道路に入る前にルートを設定した入口から出口までの料金が案内されます。有料道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。

ルート案内中の操作と機能

ルート案内中にできる操作と、いろいろな機能を説明します。

ルートから外れたときに自動的にルートを再探索させる

案内中のルートから外れた場合、自動的にルートを再探索します(オートリルート)。



状況に応じて新しいルートを提案させる

新しいルートが見つかると、“渋滞考慮オートリルートを行ないました”と音声案内が流れ、新しいルートを表示します。(渋滞考慮オートリルート)



元ルート	元ルートで案内します。
新ルート	新ルートで案内します。

選択されたルートで案内を開始します。

Advice

・ワイプ操作で選択することもできます。

Advice

- ・画面右には、分岐までの距離(「○ km 先分岐」)や、新ルートを選んだ場合の時間や距離、料金の増減を「↑増」「↓減」で表示します。
- ・ルート上に渋滞情報や規制情報が見つかった場合に提案されます。(渋滞考慮)
- ・「渋滞考慮オートリルート」はON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)
- ・渋滞考慮オートリルートの案内が行われてから、一定区間を走行する間に新ルートまたは元ルートの選択がされなかった場合は、機能設定の「渋滞考慮オートリルート自動決定ルート」の設定に従い自動的に決定されます。渋滞考慮オートリルート自動決定ルートの設定は変更できます。→「設定を変更する」(P91)
- ・スマートループ渋滞情報(→ P106)を取得している場合は、渋滞情報が考慮されます。スマートループ渋滞情報を取得していないときは、FM多重放送による規制情報のみが考慮されます。
- ・案内地付近や案内地が連続している場合は、渋滞考慮オートリルートが働かないことがあります。
- ・新しい候補ルートは、元のルートより所要時間、または距離が増加するルートが提示されることがあります。
- ・渋滞情報や規制情報の更新による渋滞考慮オートリルートが行われた場合、必ずしも提案されたルートが実際の渋滞を避けるルートになるとは限りません。

次の案内地を確認する
(リクエスト案内)

交差点案内画面(→P35)または、ルートインフォメーション(→P70)上で↓ワイプ操作(次の案内)を行うと、次の案内地を音声と画面で案内します。

ルートインフォメーション



ルート上の渋滞情報を案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞・規制情報を地図や音声で案内させることができます。

Advice

- ・VICS情報が取得できていないときなどは、働かないことがあります。
- ・音声では、例：“およそ3km先、1kmの渋滞が発生しています。通過に5分ほどかかります。”と案内されます。

自動で案内させる

ルート上に発生したVICSの渋滞情報を、自動的に音声で案内します。(渋滞オートガイド)

Advice

- ・渋滞オートガイドは、ON/OFFできます。→「設定を変更する」(P91)
- ・案内中のルートが無い場合は、案内されません。

手動で案内させる

ルート上に発生している渋滞情報を、地図と音声で案内させることができます。(渋滞チェック)

1 ルート案内中に**渋滞**にタッチする

渋滞情報がある場所の地図が表示され、渋滞情報が音声で案内されます。



Advice

- ・手順1の操作を繰り返すごとに、最大5カ所先の情報まで、順に案内させることができます。
- ・案内中のルートが無い場合は、自転車周辺の規制情報のみを表示・案内します。

■ルート上に通行止めが発生した場合

ルート上に通行止めが発生した場合は、“ルート上に通行止めが発生したため、新ルートで案内します”と音声案内と画面表示され、新ルートのみ案内となります。**確認**にタッチしてください。(通行止め考慮オートリルート)

Advice

- ・ワイプ操作で確認することもできます。
- ・設定されたルートや通行止めの発生したタイミング、情報取得のタイミングによっては、新ルートで案内しない場合があります。
- ・「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定し、「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定している場合、ルート案内中は、一定間隔で渋滞情報を取得します。(→P98)

ルート案内を中止する

案内中のルートが不要になったときは、ルートを消去します。

Advice

・ルート編集メニューから消去することもできます。(→P68)

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**行き先**
・場所 - ルート消去 にタッチする



- 2 **はい** にタッチする



▼
ルートが消去されます。

Advice

・消去したルートを元に戻すことはできません。

登録・編集操作

地点の登録	80
自宅を登録する	80
探した場所を登録する	80
用意されている名称で登録する	81
現在地を登録する	82
ナビフォルダからダウンロードする	82
登録スポットの一括登録について	82
登録した場所の編集	83
登録した場所の登録内容を変更する	83
登録した場所の名称を地図上に表示させる	84
効果音の鳴りかた	84
登録した場所を消去する	84
その他の編集	86
最近探した場所を消去する	86
走行軌跡を消去する	87

地点の登録

自宅や友人宅などの覚えておきたい場所を登録しておく、ルート設定などの操作が簡単になります。

Advice

- ・自宅を含め1001地点まで登録できます。
- ・ケータイサイトやPCサイトでナビフォルダに登録した登録スポットも、登録することができます。
- ・登録した場所の名称やマークは変更することができます。→「登録した場所の編集」(P83)

自宅を登録する


自宅を登録しておく、簡単に自宅へのルートが探索できます。

1 自宅に車を止め、『メニュー』ボタンを押し、**行き先・場所** - **自宅** - **はい** にタッチする



自宅が登録されます。

Advice

- ・自宅を新規に登録すると、「自宅」という名前と、自宅マーク  が自動的に入力されます。
- ・自宅以外の場所に停車しているときは、「場所を探す」(→P46)を参照して自宅の場所を探してください。
- ・場所を探して登録するときに、自宅として登録することもできます。→「探した場所を登録する」(P80)
- ・自宅登録後に **自宅** にタッチすると、自宅までのルート探索が始まります。(→P59)
- ・自宅の位置は変更できます。→「登録した場所の登録内容を変更する」(P83)
- ・自宅を登録し直す場合は、登録済みの自宅を消去してから行ってください。→「登録した場所を消去する」(P84)

探した場所を登録する

探した場所を登録しておく、次回そこへ行くときに簡単にルートを探索することができます。

また、登録した場所に近づくと自動的に音を鳴らすこともできます。

1 場所を探す(→P46)

探した場所の地図上にショートカットメニューが表示されます。

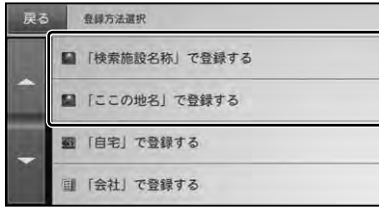
Advice

- ・現在地を登録したいときや、地図をスクロールして場所を探したときは、ショートカットメニュー(→P30)を表示させてください。

2 **ここを登録する** にタッチする



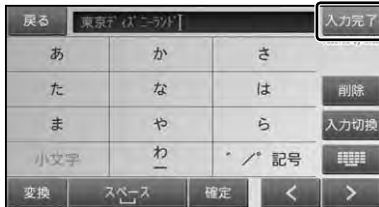
**3 「検索施設名称」で登録する
または「この地名」で登録する
にタッチする**



Advice

・あらかじめ用意されている名称で登録することもできます。→「用意されている名称で登録する」(P81)

4 入力完了 にタッチする



Advice

・ジャンル検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
・登録する名称を変えることもできます。→「文字の入力操作」(P148)

■用意されている名称で登録する

場所を登録する際、その場所の地名ではなく「実家」「おばあちゃんの家」「彼女の家」といった、すでに用意されている名前から選択して登録できます。登録時に選択した名称とそれに応じたマークが付きます。ヨミも自動的に登録されます。

1 P80「探した場所を登録する」の手順3で以下の項目を選ぶ

次の名称で登録できます。

項目	登録名称
「自宅」で登録する	自宅
「会社」で登録する	会社
「実家」で登録する	実家
「友達の家」で登録する	友達の家
「おじいちゃんの家」で登録する	おじいちゃんの家
「おばあちゃんの家」で登録する	おばあちゃんの家
「おじさんの家」で登録する	おじさんの家
「おばさんの家」で登録する	おばさんの家
「田舎」で登録する	田舎
「ふるさと」で登録する	ふるさと
「彼女の家」で登録する	彼女の家
「彼氏の家」で登録する	彼氏の家
名前をつけて登録する	お好みの名前を入力することができます。

登録・編集操作

2 入力完了 にタッチする

▼
選んだ名称で登録されます。

Advice

・用意されている名称で登録するときは、名称を選択したあと、いったん文字入力画面が表示されますので、文字を追加したり、任意で名称を変更することもできます。

現在地を登録する

あらかじめ、ウィジェット表示設定(→P96)の「自車位置地点登録」を選択しておくことで、ドライブで訪れた場所など気に入った現在地をワンタッチで登録することができます。

1 ここを登録するにタッチする



▼
現在地が登録されます。

ナビフォルダからダウンロードする

ケータイサイトやPCサイトでナビフォルダに登録した「登録スポット」、「登録ルート」、「お迎えスポット」をダウンロードできます。詳しくは、ナビポータル株式会社の「ナビポータルPCサイト」(<http://naviportal.jp>)をご覧ください。

1 スクロール画面からショートカットメニュー(→P30)を表示する

2 ナビフォルダを開く

▼
ナビフォルダ画面が表示されます。お好みの「登録スポット」、「登録ルート」、「お迎えスポット」にタッチしてダウンロードすることができます。

Advice

- ・ナビフォルダを開くは、通信モジュールが接続され通信可能な状態になっていないと操作できません。
- ・選んだ項目にサブフォルダがある場合は、サブフォルダのリストが表示されます。

■登録スポットの一括登録について

ナビフォルダから本機に登録する方法には、一括登録があります。

Advice

- ・「登録スポット」は、ダウンロードして目的地や行き先に利用することができます。
- ・本機で登録した地点の情報を、サーバーにアップロードすることもできます。詳しくは、「登録した場所の編集」(→P83)をご覧ください。

1 一括登録にタッチする



▼
確認のメッセージが表示されますので、**はい**にタッチします。

▼
登録スポットが最大300件まで、一括で本機の地点に追加されます。

Advice

- ・登録スポットを一件ずつ登録する場合は、登録したいスポットを選んで、ショートカットメニュー(→P30)の「ここを登録する」にタッチします。

登録した場所の編集

登録した場所に関するデータ（名称、電話番号、マーク、効果音、位置）を変更したり、登録した場所を消去したりすることができます。

登録した場所の登録内容を変更する

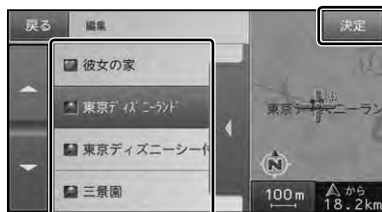
登録時に設定された内容を変更することができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **編集** にタッチする


2 **登録した場所編集** - **編集** にタッチする



3 登録内容を変更したい地点にタッチし、**決定** にタッチする

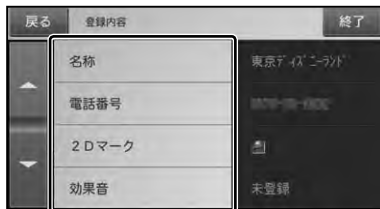


Advice

・ にタッチするとサイドメニューが表示され、リストを並べ替えることができます。

呼出日時順	登録または呼び出しの日時順に並べ替えます。
自車位置から近い順	自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	マークごとに並べ替えます。

4 変更したい項目にタッチする



名称	変更したい名称を全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。
電話番号	電話番号を入力します。電話番号を設定しておく、電話番号からその場所を検索できるようになります。
2Dマーク	地図上に表示される登録した場所の2Dマークを変更します。
効果音	登録した場所に近づいたときに鳴らす効果音を設定できます。
位置修正	登録した場所の位置を修正します。
アップロード	登録した場所を専用サーバーにアップロードします。

5 **終了** にタッチする

地図画面に戻ります。

登録した場所の名称を地図上に表示させる

2Dマークリスト上の **■** マークを選ぶと、マークに加え登録した場所の名称も地図上に表示されます（プライベートマップング）。



効果音の鳴りかた

- 効果音の設定された登録した場所が自車から 500 m 以内に近づくと、効果音が鳴ります。
- 自車から 500 m 以内に登録した場所が複数ある場合は、近いものから効果音が鳴ります。
- 登録した場所の効果音よりも、ルート案内やスマートループ渋滞情報の音声案内が優先されます。
- いったん効果音が鳴ると、30 分経過するか、本機の電源を入れ直さないと同じ場所の効果音は鳴りません。
- あいさつ** にタッチすると、時刻によって効果音が変わります。

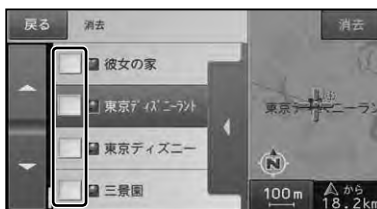
登録した場所を消去する

不要になった登録した場所を消去します。

- 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **編集** にタッチする
- 登録した場所編集** - **消去** にタッチする



- 消去したい地点にタッチする
- サイドマップで地点を確認し、**チェックボックス** にタッチする



選んだ登録地には、✓ (チェックマーク) が付き、引き続き選ぶことができます。

Advice

- ◀ にタッチするとサイドメニューが表示され、リストの選択や並べ替えを行うことができます。

全選択	すべての登録地が選択されます。
全解除	選択されている登録地すべてを解除します。
呼出し日時順	リストを呼び出し日時順に並べ替えます。

自車位置から近い順	リストを自車位置から近い順に並べ替えます。
2Dマーク順	リストを2Dマークごとに並べ替えます。リストに表示されるマークの並び順は、2Dマークリストの左上からの順番となります。

5 消去にタッチする



確認メッセージが表示されます。

6 はいにタッチする

登録した場所が消去されます。

Advice

・詳細情報から消去することもできます。→「詳細情報を見る」(P55)

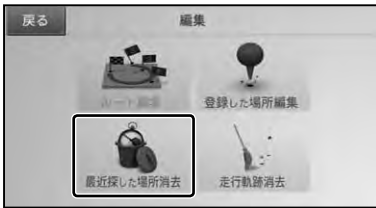
その他の編集

最近探した場所を消去する

目的地を探すと、探した地点が自動的に「最近探した場所」に保存されます。次の手順で最近探した場所を消去することができます。

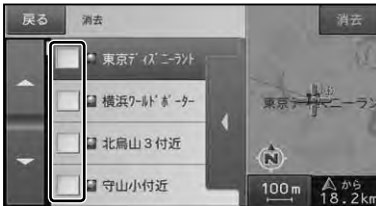
1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **編集** にタッチする

2 **最近探した場所消去** にタッチする



3 消去したい地点にタッチする

4 サイドマップで地点を確認し、チェックボックスにタッチする



選んだ登録地には、✓(チェックマーク)が付き、引き続き選ぶことができます。

Advice

- ・ **全選択** にタッチするとサイドメニューが表示され、リストの選択や並べ替えを行うことができます。

全選択	すべての登録地が選択されます。
全解除	選択されている登録地すべてを解除します。

5 **消去** にタッチする



確認メッセージが表示されます。

6 **はい** にタッチする

選んだ地点が消去されます。

走行軌跡を消去する

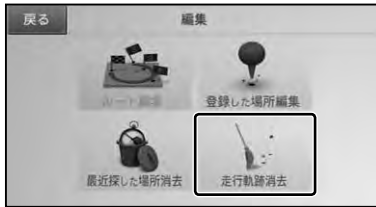
地図画面に表示されている走行軌跡を消去することができます。

Advice

- ・ 走行軌跡を自動的に消去させることもできます。
→「設定を変更する」(P91)

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **編集** にタッチする

2 **走行軌跡消去** にタッチする



▼
確認メッセージが表示されます。

3 **はい** にタッチする

▼
走行軌跡が消去されます。

設定操作

ロゴマーク表示設定	90
ロゴマークを非表示にする	90
機能設定	91
設定を変更する	91
設定内容の詳細	92
地図表示	92
ルート・案内	93
渋滞情報	94
その他	94
ウィジェット表示設定	96
通信設定	97
通信モジュールの使用設定を行う	97
スマートループ渋滞情報の利用設定を行う	97
スマートループ渋滞情報設定	98
渋滞情報取得開始設定	98
渋滞情報連続取得設定	98
渋滞情報取得間隔設定	98
取得開始のタイミングと連続取得の 取得動作について	98
車両情報設定	99
設定初期化	100
設定初期化項目	100
調整	101
ナビゲーションの案内音量を調整する	101
画面の明るさを調整する	101
タッチ位置を調整する	102
自車位置のずれを修正する	102
一般道路または有料道路へ自車位置を修正する ...	103

ロゴマーク表示設定

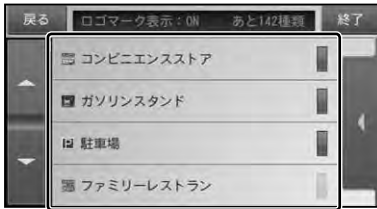
さまざまな施設のロゴマークを地図上に表示させることができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** -**設定**にタッチする

2 **ロゴマーク表示設定**にタッチする



3 ロゴマークを表示させたい施設のジャンルにタッチする



Advice

- 選ばれたジャンルは、右側のインジケータが点灯します。インジケータは、**詳細選択**で1つ以上選択した場合も点灯します。
- 追加データ**は、マップチャージ(→P120)で新規ジャンルの追加があれば地図上に表示されます。

4 選択方法にタッチする

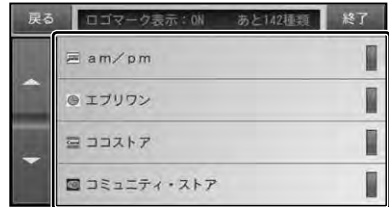


全選択	すべての関連施設を表示します。
全解除	選択した施設をすべて解除します。
詳細選択	施設をさらに分類表示します。

Advice

- 詳細選択**にタッチしたときは、さらに分類表示されたリストが表示されます。
- 最大200種類まで選択できます。

5 ロゴマークを表示させたい施設にタッチする



選ばれた施設のインジケータが点灯し、引き続き選ぶことができます。

Advice

- 再度施設にタッチすると、インジケータが消灯し、選択が解除されます。
- 他の施設を選ぶには、**戻る**にタッチして手順**3**の画面に戻り、手順**3**~**5**を繰り返してください。

6 **終了**にタッチする

地図画面に戻り、選択した施設のロゴマークが表示されます。

■ ロゴマークを非表示にする

手順**3**で**非表示**にタッチすると、ロゴマークを非表示にすることができます。

機能設定

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。

ナビゲーションの設定項目は、機能ごとに次の4つのメニューに分類されています。

- ・地図表示 (→P92)
- ・渋滞情報 (→P94)
- ・ルート・案内 (→P93)
- ・その他 (→P94)

設定を変更する

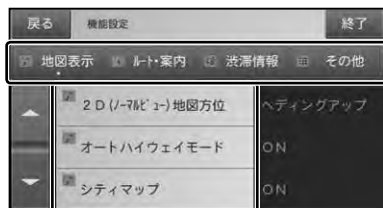
ナビゲーションの機能設定を変更するには、以下のようにします。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**
—**設定**にタッチする

2 **機能設定** にタッチする



3 設定を変更したい項目にタッチする



Advice

・分類タブにタッチすると、機能の先頭からリストを表示させることができます。

4 設定内容にタッチする



設定内容が変更されます。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

5 設定を終了する場合は、**終了**にタッチする

設定内容の詳細

地図表示

* は工場出荷時の設定です。

2D(ノーマルビュー) 地図方位

「ヘディングアップ」* 進行方向が常に上になるように、地図が回転します。
「ノースアップ」 常に上が北になるように、地図が表示されます。

オートハイウェイモード

「ON」* 有料道路でハイウェイモードにします。
「OFF」 ハイウェイモードにしません。現状の地図表示モードを維持します。

シティマップ

「ON」* 市街地図が表示されます。
「OFF」 通常の地図が表示されます。

シティマップ境界線表示(シティマップON時に選択可)

「ON」 シティマップの境界線を表示します。
「OFF」* シティマップの境界線を表示せず、通常画面に切り換えます。

地図色切換

「時刻連動」* 日没/日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。
「昼色固定」 常に昼画面のままです。
「夜色固定」 常に夜画面のままです。

走行軌跡自動消去

「自宅付近」 自宅で登録した場所から100 m以内の地点で本機の電源を切ったり、スタンバイモード(→P17)から復帰したりすると、走行軌跡が自動的に消去されます。
「電源オフ時」 本機の電源を切ったり、スタンバイモードから復帰したりすると走行軌跡が自動的に消去されます。
「OFF」* 走行軌跡は自動消去しません。

走行軌跡表示

「ON」* 走行軌跡が表示されます。
「OFF」 走行軌跡は表示されません。

立体ランドマーク表示

「ON」* 3Dランドマークを表示します。
「OFF」 3Dランドマークを表示しません。

2D(ノーマルビュー) 固定スクロール

「ON」 スクロール中、画面をノーマルビューに固定します。
「OFF」* スクロール中、画面をノーマルビューに固定しません。

A ルート・案内

* は工場出荷時の設定です。

ルート探索基準

- 「推奨」* 信号機の数が少なく、右左折の量も適度な通りやすいルートが探索されます。
- 「距離優先」 距離を優先してルートが探索されます。
- 「幹線優先」 幹線道路を優先してルートが探索されます。

有料道路使用条件

- 「標準」* 有料道路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「回避」 有料道路を回避したルートが探索されます。

フェリー航路使用条件

- 「標準」* フェリー航路が標準的な基準でルート探索されます。
- 「優先」 フェリー航路を優先的にルート探索されます。
- 「回避」 フェリー航路を回避したルートが探索されます。

渋滞考慮ルート探索

- 「渋滞情報・渋滞予測」* 渋滞情報と渋滞予測データを考慮してルートが探索されます。
- 「渋滞情報のみ」 渋滞情報のみを考慮してルートが探索されます。
- 「考慮しない」 各情報を考慮しないでルートが探索されます。

スマートIC考慮ルート探索^{*1}

- 「ON」 スマートICを利用するルートが探索されます。
- 「OFF」* スマートICを利用しないルートが探索されます。

渋滞考慮オートリルート

- 「ON」* 渋滞情報を考慮してオートリルートします。
- 「OFF」 渋滞情報を考慮したオートリルートが働きません。

渋滞考慮オートリルート自動決定ルート

- 「元ルート」* 元ルートを選択します。
- 「新ルート」 新ルートを選択します。

道のり・到着予想時刻表示

- 「目的地」* 目的地までの距離と到着予想時刻が表示され、方位線は自車マークと目的地を結びます。
- 「立寄地」 次の立寄地までの距離と到着予想時刻が表示され、方位線は自車マークと立寄地を結びます。

到着予想時刻速度(一般道)

- 「20 km/h」 平均速度 20 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「30 km/h」* 平均速度 30 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「40 km/h」 平均速度 40 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「50 km/h」 平均速度 50 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

到着予想時刻速度(有料道)

- 「60 km/h」 平均速度 60 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「80 km/h」* 平均速度 80 km/hとして到着予想時刻が計算されます。
- 「100 km/h」 平均速度 100 km/hとして到着予想時刻が計算されます。

交差点案内表示

- 「ON」* 交差点案内図を表示します。
「OFF」 交差点案内図は表示されません。

ETCレーン案内表示

- 「ON」* 有料道路の料金所付近でETCレーン案内が表示されます。
「OFF」 ETCレーン案内は表示されません。

※1 ルート案内中でないときのみ設定できる機能です。

 渋滞情報

* は工場出荷時の設定です。

渋滞情報表示対象道路

- 「有料道・一般道」* 有料道・一般道の渋滞情報が表示されます。
「有料道のみ」 有料道路の渋滞情報のみが表示されます。
「一般道のみ」 一般道路の渋滞情報のみが表示されます。
「表示しない」 渋滞情報は表示されません。

渋滞情報表示※1

- 「ON」* 道塗り表示されます。
「OFF」 道塗り表示されません。

順調表示※2

- 「ON」 渋滞情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。
「OFF」* 順調表示はされません。

規制表示※1

- 「ON」* 交通規制の渋滞情報マークと規制区間が表示されます。
「OFF」 交通規制の渋滞情報マークと規制区間は表示されません。

駐車場情報マーク表示※1

- 「ON」* 駐車場の渋滞情報マークが表示されます。
「OFF」 駐車場の渋滞情報マークは表示されません。

渋滞オートガイド

- 「ON」* ルート上の渋滞情報が自動で音声案内されます。
「OFF」 ルート上の渋滞情報は自動では音声案内されません。

※1 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のときに設定できる機能です。

※2 「渋滞情報表示対象道路」が「表示しない」以外のとき、かつ「渋滞情報表示」が「ON」のときに設定できる機能です。

 その他

* は工場出荷時の設定です。

現在地情報の表示

- 「市区町村名」* 現在地が市区町村名で表示されます。
「走行道路名」 現在地が走行道路名で表示されます。(道路名が無い場合は、市区町村名が表示されます。)
「緯度経度」 現在地が緯度経度で表示されます。
「OFF」 表示しません。

有料道注意地点・県境案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

踏切案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

リフレッシュ案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

ライト点灯案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

エコステータス レベル案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

eスタート案内

- 「ON」* 案内されます。
「OFF」 案内されません。

SDカード登録確認メッセージ表示^{※1}

- 「ON」* microSDカード登録確認メッセージが表示されます。
「OFF」 microSDカード登録確認メッセージは表示されません。

地図更新メッセージ表示

- 「ON」* 地図更新メッセージが表示されます。
「OFF」 地図更新メッセージは表示されません。

駐車場満空情報自動取得

- 「ON」* 目的地付近の空いているコインパーキング情報を自動取得します。
「OFF」 自動取得しません。

ナビポータル自動表示^{※2}

- 「ON」* 本機を起動後、ナビポータルを自動表示します。
「OFF」 自動表示しません。

ピンポイントウェザーライブ

- 「ON」* 目的地付近の天気情報が自動的に取得され表示されます。
「OFF」 表示されません。

店頭展示モード

- 「ON」 店頭展示時に使用します。設定しないでください。
「OFF」* 通常使用時に設定します。

※1 本機とmicroSDカードの初期登録が行われると、自動的に「OFF」になります。

※2 ナビポータルは、ナビポータル株式会社の提供です。

ウィジェット表示設定

ウィジェットとは、地図画面で情報が更新され、それぞれのボタンをタッチすることで関連する情報画面を見ることができる機能です。周辺登録スポットやガスタ価格情報、時計の表示やバックカメラ、エコステータスなどから3つまでウィジェットに設定できます。

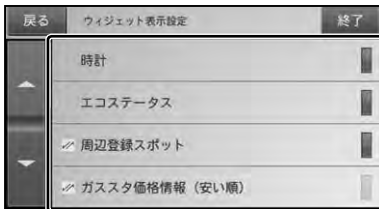
ここで設定した内容が、地図画面に表示されるウィジェットに反映されます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **設定** にタッチする

2 **ウィジェット表示設定** にタッチする



3 ウィジェットに設定したい項目にタッチする




選ばれた項目のインジケータが点灯し、引き続き3つまで選ぶことができます。

時計	GPSからの時刻情報が24時間表示で表示されます。
エコステータス	走行中の推定燃費情報を走行道路中の道路別に表示されます。
周辺登録スポット	周辺の登録スポットが表示されます。
ガスタ価格情報 (安い順)	自車位置周辺のガソリンスタンドを価格の安い順に表示します。

周辺おすすめ情報 (グルメ キッチン 評価順)	周辺おすすめ情報のうちキッチンがあるスポットが評価順に表示されます。
周辺おすすめ情報 (グルメ クーポン有)	周辺おすすめ情報のうちクーポンがあるスポットの件数が表示されます。
地域イベント情報 (開催中のみ)	周辺で開催中の地域イベント情報の件数が表示されます。
天気予報	天気と降水確率が表示されます。
自転車位置地点登録	現在地を登録することができます。(→ P82)
バックカメラ	バックカメラ映像に切り換えることができます。(→ P145)

4 設定を終了する場合は、**終了** にタッチする

Advice

- ・時刻は、GPS衛星からの情報に基づいて表示しています。時刻が表示されない場合は、本機でGPSの受信状態(→P115)を確認してください。時刻の変更を手動で行うことはできません。
- ・ウィジェットの情報は、スマートループ渋滞情報と同時に更新されます。スマートループ渋滞情報取得設定がOFFの場合は更新されません。
- ・の記載されている機能のタッチキーをタッチすると、その情報を更新し、情報画面が表示されます。通信が不可能な場合は、操作できません。
- ・通信系ウィジェットの設定を変更すると、設定されている他の通信系ウィジェットの情報也未取得の状態に戻ります。
- ・バックカメラウィジェットを使用する場合は、あらかじめ映像入力設定(→P142)を「バックカメラ」に設定してください。

通信設定

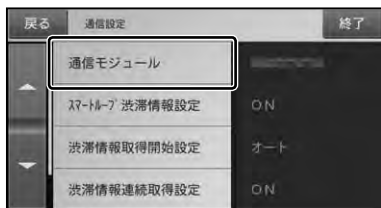
通信モジュールの使用設定を行う

本機に通信モジュールを接続して使用する
場合の設定を行います。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**
—**設定**にタッチする
- 2 **通信設定**にタッチする



- 3 **通信モジュール**にタッチする



- 4 **ON**にタッチする



通信モジュールのUSIM番号が表示され、
通信が可能な状態になります。

Advice

・通信モジュールにUSIMカード(→P23)が装着されていない場合や、**OFF**に設定した場合は、通信を行うことができません。

スマートループ渋滞情報の利用設定を行う

スマートループとは、プローブ情報を多くの
スマートループ参加ユーザーと共有する
システムです。

スマートループでは、渋滞情報の受信時にお
客様からのプローブ情報のご提供(送信)
をいただいております。

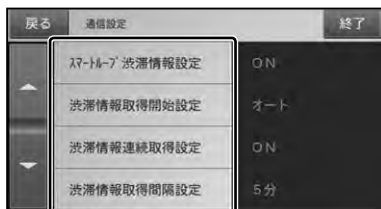
Advice

・「プローブ情報」とは、通信モジュールを使っ
て、専用サーバーへ送信される現在の走行履
歴データ(リアルタイムプローブ)のことです。

- 1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**
—**設定**にタッチする
- 2 **通信設定**にタッチする



- 3 **設定する項目を選んでタッチする**



つづ→

スマートループ 渋滞情報設定	スマートループ渋滞情報を利用するかしないか (ON/OFF) を設定します。(→ P98)
渋滞情報取得 開始設定	渋滞情報を自動で取得するか手動で取得するか(オート / マニュアル) を設定します。(→ P98)
渋滞情報連続 取得設定	渋滞情報の連続取得をするかしないか (ON/OFF) を設定します。(→ P98)
渋滞情報取得 間隔設定	渋滞情報を連続取得するときの、取得間隔を設定します。(→ P98)

■スマートループ渋滞情報設定

工場出荷時は「ON」に設定されています。

ON	プローブ情報の送信を行い、スマートループ渋滞情報を受信します。
OFF	プローブ情報の送信を行いません。(スマートループ渋滞情報は利用できません。)

■渋滞情報取得開始設定

工場出荷時は「オート」に設定されています。

オート	渋滞情報を自動的に取得します。(→ P108)
マニュアル	手動取得操作 (→ P108) を行ったとき、渋滞情報を取得します。

■渋滞情報連続取得設定

工場出荷時は「ON」に設定されています。

ON	情報の取得を一定間隔で行います。
OFF	連続取得を行いません。

■渋滞情報取得間隔設定

工場出荷時は「10分」に設定されています。

5分	5分間隔でプローブ情報を受信します。
10分	10分間隔でプローブ情報を受信します。
15分	15分間隔でプローブ情報を受信します。
20分	20分間隔でプローブ情報を受信します。

Advice

- ・専用サーバーの状態によっては、設定した取得時間通りに動作しない場合があります。
- ・取得時刻に、通信エラーなどで情報が取得できなかった場合は、設定した間隔後に受信を行います。

■取得開始のタイミングと連続取得の取得動作について

取得開始のタイミングと連続取得の関係は、以下の表のようになります。

		渋滞情報取得開始設定	
		オート	マニュアル
渋滞情報連続取得設定	ON	通信モジュールの接続を確認した時点で自動取得し、以降一定間隔で連続取得します。	手動取得操作を行った時点で取得し、以降一定間隔で連続取得します。
	OFF	通信モジュールの接続を確認した時点で自動取得し、以降は手動取得操作を行った時点で取得します。	手動取得操作を行った時点のみ取得します。

車両情報設定

車両の有料道路料金区分や駐車制限、長さ、幅、高さ、ガソリンの種類を設定します。ここで設定された内容が駐車場、有料道路の料金案内、ウィジェットの価格情報表示のウィジェットガソリン種別に反映されます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** — **設定** にタッチする

2 **車両情報設定** にタッチする



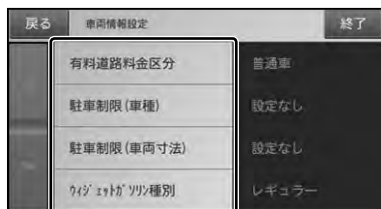
Advice

- ・ **駐車制限(車両寸法)**の**長さ(L)** **幅(W)** **高さ(H)** にタッチすると、数値入力画面が表示されますので、車検証などを参考に各寸法を入力(→ P148)して **入力完了** にタッチしてください。
- ・ ルート案内中やハイウェイモードの場合は、有料道路料金区分の設定はできません。

4 **終了** にタッチする

3 各項目を選んで内容を設定する

各項目にタッチすると各設定画面が表示されます。設定を終えたあとは **戻る** にタッチしてください。



有料道路料金区分	「中型車」「普通車」 「軽自動車」
駐車制限(車種)	「3ナンバー」「RV」 「ミニバン・1BOX」
駐車制限(車両寸法)	「長さ(L)」「幅(W)」 「高さ(H)」
ウィジェットガソリン種別	「レギュラー」「ハイオク」

設定初期化

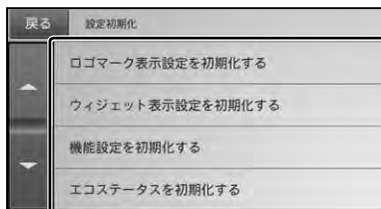
設定した機能を工場出荷時の状態に戻したり、ユーザー設定を初期化することができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** —**設定**にタッチする

2 **設定初期化**にタッチする



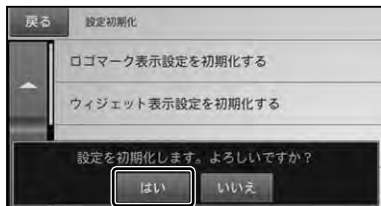
3 初期化したい項目にタッチする



Advice

- ・ユーザー設定項目を初期化しても、ユーザーIDなどは削除されません。
- ・本機を工場出荷時の状態に戻した場合でも、ご契約中のコンテンツサービスには影響しません。

4 **はい**にタッチする



▼
選んだ項目が初期化されます。

■ 設定初期化項目

■ ロゴマーク表示設定を初期化する

設定されているロゴマーク表示設定 (→P90)を初期化します。

■ ウィジェット表示設定を初期化する

設定されているウィジェット表示設定 (→P96)を初期化します。

■ 機能設定を初期化する

機能設定 (→P91) で変更した設定内容を初期化します。

■ エコステータスを初期化する

エコ指数 (→P114)、エコステータスレベル案内 (→P73)を初期化します。

■ 名称検索学習を初期化する

名称検索 (→P46) にてユーザーが選択した地点を優先的に表示するために学習したデータを初期化します。

■ 車両情報設定を初期化する

車両情報設定 (→P99) で設定した車両の情報を初期化します。

■ センサー学習をクリアする

センサー学習状態 (→P117)を初期化します。

■ ユーザー設定項目を初期化する

機能設定、ロゴマーク表示設定、音量調整などのユーザー設定を全て初期化します。

■ 個人データを消去する

案内中のルート、登録した場所 (→P80)、最近探した場所 (→P50)、走行軌跡 (→P34)が消去されます。

■ 工場出荷状態に戻す

工場出荷時の状態にします。

調整

ナビゲーションの案内音量を調整する

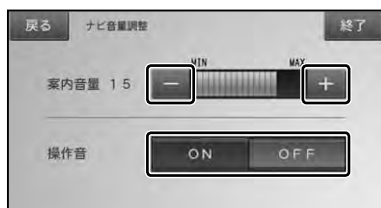
ルートの声案内、操作音の音量を調整することができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**
- **調整**にタッチする

2 **ナビ音量調整**にタッチする



3 設定したい項目にタッチする



案内音量

+	案内音量が大きくなります。
-	案内音量が小さくなります。

操作音

ON	操作音が鳴ります。
OFF	操作音が鳴りません。

Advice

- ・案内音量を0にすると、操作音量も鳴らなくなります。

4 **終了**にタッチする

画面の明るさを調整する

本機をお使いになる時間が昼の場合と夜の場合、また内蔵バッテリーのみでお使いの場合それぞれで画面の明るさを調整して記憶させることができます。内蔵バッテリーだけでのご使用は、画面の明るさや内蔵スピーカーの音量によって、使用時間が短くなります。内蔵バッテリーだけでの使用時は、画面の明るさレベルを「3」以下に設定することをお勧めします。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**
- **調整**にタッチする

2 **明るさ調整**にタッチする




3 設定したい項目にタッチする

4 **+** または **-** にタッチする



5 **終了**にタッチする

Advice

- ・昼画面、夜画面は、本機に表示される時間をもとに自動的に切り換わりします。
- ・ (内蔵バッテリー) は、昼画面、夜画面共に同じ調整値となります。
- ・**+** または **-** にタッチし続けると、連続して明るさを変更することができます。

タッチ位置を調整する

タッチパネルのタッチ位置を調整することができます。

Advice

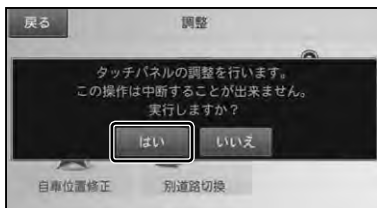
- ・本機は、画面位置を調整してから出荷されていますので、正しくタッチできないときのみ、画面位置の調整を行ってください。
- ・調整は、綿棒などの先のとがっていない物で行ってください。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **調整**にタッチする

2 **タッチパネル調整**にタッチする



3 **はい**にタッチする



以降は、画面に表示される指示に従って、綿棒などの先端で十字マークの中心をタッチし、調整してください。

自転車位置のずれを修正する

自転車位置がずれた場合は、修正することができます。

Advice

- ・自転車位置修正は必ず停車した状態で行ってください。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **調整**にタッチする

2 **自転車位置修正**にタッチする



3 8方向矢印キーで十字カーソルを現在地に合わせる



Advice

- ・**微調整**にタッチすると、8方向矢印キーの表示/非表示を切り換えることができます。

4 **決定**にタッチする

5 左右の回転矢印にタッチして自転車の向きを調整する



6 決定にタッチする

自転車位置が修正されます。

Advice

- ・GPSを測位している場合やセンサー学習状態が未学習の場合は、自転車位置が変わらない場合があります。

一般道路または有料道路へ自転車位置を修正する

一般道路と有料道路が並行している場所を走行中、自転車位置が実際と異なる種類の道路に乗ってしまった場合に、自転車位置を一般道路または有料道路へ切り換えます。

1 『メニュー』ボタンを押し、設定—調整にタッチする

2 別道路切換にタッチする

Advice

- ・『現在地』ボタンを長く押しても、操作できます。



異なる種類の道路へ自転車位置が修正されます。

Advice

- ・自転車位置が修正できない場合もあります。
- ・ルート案内中は、自転車位置を修正後ルートを探索し直します。

渋滞情報・情報操作

渋滞情報	106
スマートループ渋滞情報について	106
渋滞情報の地図表示について	107
VICS 情報について	107
渋滞情報を取得する	108
手動で取得する	108
自動で取得する	108
FM-VICS 情報	109
VICS 情報とは	109
VICS 情報の表示形態	109
地図上で VICS 情報を見る	110
緊急情報の自動表示	111
VICS の文字・図形情報を見る	111
放送局を選ぶ	112
放送局の受信状態の確認について	113
情報の表示	114
エコステータス情報を表示する	114
GPS 受信状態を表示する	115
デバイスナンバーと 使用データのバージョン情報を表示する	116
接続状態を表示する	116
ウィジェットから情報を表示する	117
時計表示	117
エコステータス	118
バックカメラ	118

渋滞情報

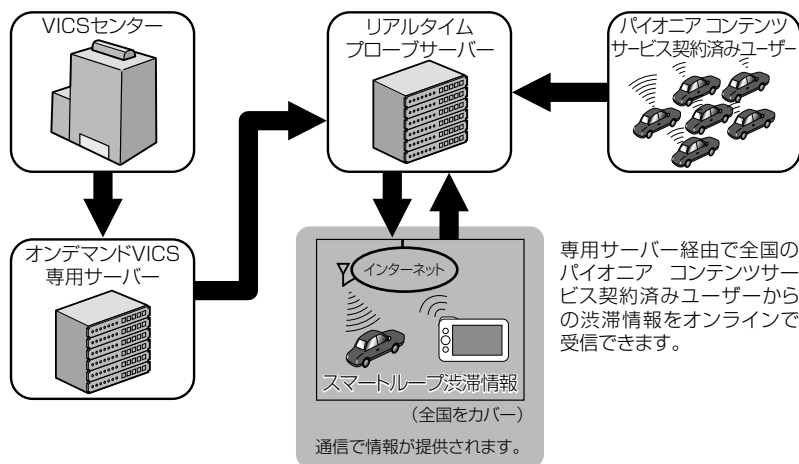
本機では、通信モジュールを利用して、通信で渋滞情報を取得することができます。
(スマートループ渋滞情報)

■スマートループ渋滞情報について

スマートループ渋滞情報とは、パイオニア コンテンツサービス契約を行っていただいた各お客様から提供される情報（プローブ情報）を、リアルタイムプローブサーバーで蓄積管理し、走行履歴データを考慮して作成された最新の渋滞情報を、通信によるVICS情報（オンデマンドVICS）とあわせてお客様にご提供するシステムです。取得できる情報は、VICSの情報（渋滞、規制、駐車場、SA/PA情報）と、リアルタイムプローブサーバーからのプローブ渋滞情報（現況渋滞情報・過去3カ月の走行履歴から生成した渋滞情報）で、ルート探索、到着予想時刻などに反映することができます。

Advice

- ・スマートループ渋滞情報を取得されるときは、本機に通信モジュールを接続する必要があります。→「はじめに設定しよう！」(P22)
- ・「スマートループ渋滞情報設定」(→P98)を「ON」に設定しないと、スマートループ渋滞情報およびオンデマンドVICSの情報を利用することはできません。
- ・本機を車載時で、通信機能が働かない状況では、FM-VICS情報(→P109)を利用することができます。



Advice

- ・オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社から提供されます。
- ・道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されています。また、データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

■ 渋滞情報の地図表示について

スマートループ渋滞情報の地図表示は、以下のように表示されます。

一般道路への表示

	プローブ渋滞情報	VICS 情報
渋滞	赤色(白い点線縁取り)	赤色(白い縁取り)
混雑	橙色(白い点線縁取り)	橙色(白い縁取り)
順調	空色(白い点線縁取り)	明るい青(白い縁取り)
規制区間表示	-	黄色(黒い縁取り)
通行止め	-	黒

有料道路への表示

	プローブ渋滞情報	VICS 情報
渋滞	赤色(青い点線縁取り)	赤色(青い縁取り)
混雑	橙色(青い点線縁取り)	橙色(青い縁取り)
順調	空色(青い点線縁取り)	明るい青(青い縁取り)
規制区間表示	-	黄色(黒い縁取り)
入口閉鎖・通行止め	-	黒



スマートループ渋滞情報提供時刻表示

S	スマートループ渋滞情報による渋滞情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満の状態
---:---	VICS 情報を受信していない、また受信後30分以上経過した状態(受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、VICS 情報は消去されます。)

■ VICS 情報について

VICS (Vehicle Information & Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。

本機ではVICSセンターからの渋滞や事故、交通規制などの最新情報(オンデマンドVICS 情報)を、スマートループ渋滞情報に加味して受信し、ナビゲーションの地図上に表示できます。

VICS マークの種類

VICS 情報により、次のようなマークが地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制(数字は制限速度)		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場(空き:青、混雑:橙色、満車:赤、不明:黒)		

渋滞情報を取得する

ルート上に発生している渋滞情報を地図上に表示させることができます

■手動で取得する

現在地付近以外の情報を取得したい場合は、情報を取得したい場所の地図を表示させてから、以下の操作を行います。

1 渋滞に2秒以上タッチする

専用サーバー（リアルタイムプローブサーバー）に接続し、情報を取得します。



Advice

- ・メインメニュー（→P28）から **通信 - スマートループ情報取得** でも操作することができます。
- ・スマートループの渋滞情報と、FM-VICS情報の両方を取得した場合は、提供時刻が新しい情報を優先して画面表示します。

■自動で取得する

「スマートループ渋滞情報の利用設定を行う」（→P97）で、「渋滞情報取得開始設定」を「オート」に設定しておくことで、本機が通信モジュールの接続を確認した時点で、自動的に情報を取得し、ルート案内に反映することができます。

ただし、初期表示画面がナビポータル画面の場合は、電源を入れてから情報を取得するまでに最大で約20分程度かかる場合があります。ナビポータル画面ですぐにスマートループ渋滞情報を使用したい場合は、手動で取得操作を行ってください。

「渋滞情報連続取得設定」を「ON」に設定しておくことで、通信可能な状態のときは一定間隔（「渋滞情報取得間隔設定」（→P98）の設定間隔）で情報を受信します。

Advice

- ・パイオニア コンテンツサービス契約を行うと、渋滞情報受信の際に、走行履歴などのお客様の情報が、リアルタイムプローブサーバーに送信されます。
- ・連続取得設定がONの場合、サーバーからの情報の更新間隔でプローブ情報の送信および受信を行います。

FM-VICS 情報

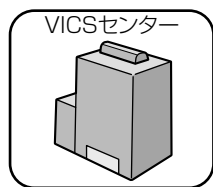
本機をクレイドルに接続してご使用の場合は、専用アンテナでFM-VICS情報（VICSセンターから提供）を受信し、渋滞情報や規制情報などを確認することができます。

Advice

・通信を必要とする渋滞情報に関しては、「渋滞情報」(→P106)をご覧ください。

VICS情報とは

VICS (Vehicle Information & Communication System: 道路交通情報通信システム) とは、最新の交通情報をドライバーに伝えるための通信システムです。VICS 情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、かんたんな地図イラストや文字で見することもできます。



本機に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。

VICS情報の表示形態

VICS 情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。ドライバーはVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

- 渋滞情報 (順調情報も含む)
- 旅行時間情報
- 交通障害情報
- 交通規制情報
- 駐車場情報

レベル3：地図

ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



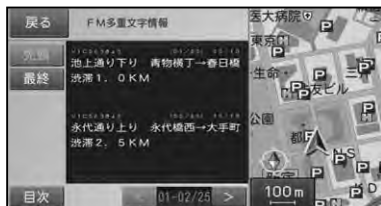
レベル2：簡易図形

かんたんな地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル1：文字

文字で道路交通情報が表示されます。



Advice

・情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

有料道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒



VICSレベル3情報提供時刻表示

F	FM 多重放送による VICS 情報提供時刻
橙色	情報を受信してから5分未満の状態
青色	情報を受信してから5分以上30分未満経過した状態
---	情報を受信していない、または受信後30分以上経過した状態（受信開始時、または情報が受信できなくなって30分以上経過した場合、受信後にスタンバイモードになった場合、VICS情報は消去されます。）

Advice

- ・本機の電源をON（エンジンをON）にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- ・希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。→「放送局を選ぶ」(P112)
- ・VICS情報提供時刻表示は、最新のデータが提供された時刻です。
- ・渋滞にタッチすると、ルート案内中はルート上前方の渋滞や規制の情報を、ルート案内中でない場合は自転車周辺の規制情報を地図表示と文字情報および音声案内でお知らせします。（→P77）
- ・順調表示は、工場出荷時は「OFF」に設定されています。→「設定を変更をする」(P91)

VICSマークの種類

VICS情報により、次のようなマークが地図上に表示されます。

	大型通行止め		故障車
	作業		路上障害
	チェーン規制		凍結
	進入禁止		入口制限
	通行止め・閉鎖		事故
	工事中		入口閉鎖
	片側交互通行		対面通行
	車線規制		徐行
	速度規制（数字は制限速度）		
	気象		行事
	災害		火災
	駐車場閉		原因なし
	駐車場（空き：青、混雑：橙色、満車：赤、不明：黒）		

「VICSレベル3情報提供時刻表示」の内容

FM多重放送によるVICS情報提供時刻が表示されます。

提供時刻の表示に時間がかかるときは

受信中の放送局の受信感度を確認してください。→「放送局を選ぶ」(P112)

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

本機は、現在地周辺のVICS情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

VICSの文字・図形情報を見る

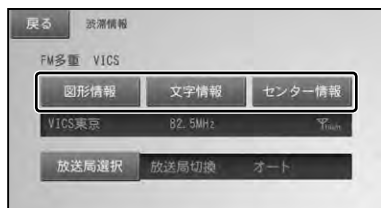
文字や図形のVICS情報を表示させることができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、設定－情報にタッチする

2 渋滞情報にタッチする



3 表示させたい情報にタッチする



図形情報	レベル2（簡易図形）の広域情報を表示します。
文字情報	レベル1（文字）の広域情報を表示します。
センター情報	VICSセンターからの情報を表示します。

つづく→

4 見たい情報の番号にタッチする

メニューに表示されている情報番号と同じ番号を選びます。渋滞や交通規制などに関する情報が表示されます。



Advice

- ・全情報画面が複数のページにおよぶときは、**<**、**>** にタッチすると、ページを送ります。**先頭**/**最終** にタッチすると、先頭ページ/最終ページが表示されます。
- ・すべての情報が取得されていないときは、現在取得している情報の先頭ページ、または最終ページが表示されます。
- ・**目次** にタッチすると、VICSメニューに戻ります。
- ・**選局** にタッチすると、FM多重放送の放送局を選ぶことができます。→「放送局を選ぶ」(P112)

放送局を選ぶ

VICS情報をFM多重放送から受信するときは、最も受信感度の良い放送局を選びます。

1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 情報にタッチする

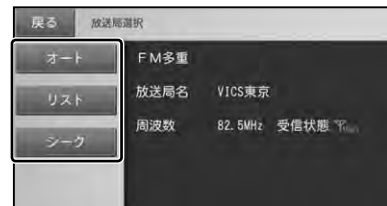
2 渋滞情報にタッチする



3 放送局選択にタッチする



4 放送局を探す方法にタッチする



オート	自車位置に応じて VICS 放送局が自動的に選択されます。
リスト	放送局リストから選びます。
シーク	+ 、 - にタッチして、周波数の自動チューニングを行います。受信可能な放送局を受信したところで止まります。

■ 放送局の受信状態の確認について

渋滞情報画面では、受信中の放送局名、周波数、受信状態などが表示されます。



選局方法
(オート/リスト/シーク)

受信状態表示は、受信可能な状態にある場合「High」、受信できない状態にある場合は「Low」と表示されます。「Low」と表示されている場合でもデータを受信し、表示できる場合があります。

情報の表示

情報メニュー画面から、エコステータス、GPS情報、データバージョン表示、接続状態を確認することができます。またウィジェットから表示できる情報もあります。

エコステータス情報を表示する

エコステータスの情報を確認することができます。

Advice

- ・本機を車に取付けてからの走行距離が10 km未滿またはエコステータスを初期化(→P100)してからの走行距離が10 km未滿の場合は、燃費計算が行われません。10 km以上走行すると、燃費計算を行います。
- ・ウィジェットの「エコステータス」にタッチして表示することもできます。(→P118)

1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 情報 にタッチする

2 エコステータス にタッチする



エコステータス画面が表示されます。



総合燃費

エンジンをかけてから現在までの平均燃費を過去の積算平均燃費を中心に相対表示します。

バーのメモリが右に増えるほど、良い燃費であることを示します。

有料道路

有料道路を走行したときの平均燃費が表示されます。

バーのメモリが右に増えるほど、良い燃費であることを示します。

一般道路

一般道を走行したときの平均燃費が表示されます。

バーのメモリが右に増えるほど、良い燃費であることを示します。

エコ指数

走行全体を評価したエコ指数が点数として表示されます。

過去ベスト

過去の走行におけるエコ指数の最高記録が表示されます。

GPS受信状態を表示する

GPS衛星からの受信状態を確認することができます。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定**
—**情報**にタッチする

2 **GPS情報**にタッチする



GPS衛星からの受信状態が表示されます。



衛星位置表示

現在認識できているGPS衛星の位置がイラスト表示されます。測位に使われている衛星は橙色、受信中の衛星は黄色、電波を受信できていない衛星は灰色で表示されます。3つ以上の橙色の衛星の電波を受信すると現在の測位が可能になります。

日付

現在の日付が表示されます。

時刻

現在の時刻が表示されます。

測位状態

GPSの現在の測位状態（「3次元測位」、「2次元測位」、「未測位」）が表示されます。詳しくは、「GPSによる測位」(→P159)をご覧ください。

北緯・東経

現在地の北緯と東経が表示されます。測位できないときは最後に測位したときの北緯と東経が表示されます。本機は日本測地系に対応しています。

Advice

- ・ 以下の場合、GPSの測位に時間がかかる（自車位置が現在地と異なる）場合があります。
 - はじめてお使いになるとき
 - 長期間使っていないかったとき
 - 『電源』スイッチを操作して、本機をON/OFFしたとき
- ・ GPSが測位されていない場合は、現在地と異なる場所が表示されます。

デバイスナンバーと使用データのバージョン情報を表示する

デバイスナンバーと使用データのバージョンが確認できます。

Advice

・デバイスナンバーは、有償バージョンアップなどで使用します。

1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 情報 にタッチする

デバイスナンバーが表示されます。

2 データバージョン表示 にタッチする



デバイスナンバー

使用データのバージョンが表示されます。



接続状態を表示する

車速パルスなどの接続状態を確認できます。正しく表示されない場合は、販売店にご相談ください。

1 『メニュー』ボタンを押し、設定 - 情報 にタッチする

2 接続状態 にタッチする



接続状態が表示されます。



電源状態

本機の電源の状態(外部電源、内部電源)が表示されます。

車載状態

本機が車載状態(クレイドル接続状態)かどうかが表示されます。車載状態のときは「ON」、そうでない場合は「OFF」と表示されます。

通信モジュール

通信モジュールの接続状態が表示されます。正しく接続されているときは「ON」、接続されていない場合は「OFF」と表示されます。また通信モジュールの電波強度を確認することができます。

センサー学習

センサーの学習状態が表示されます。学習が完了している場合は「学習済」、学習が完了していない場合は「未学習」と表示されます。別売の電源ケーブルに同梱されている、車速信号入力ケーブルを接続している場合はパルス学習を行い、パルス学習が完了した場合は「学習済（パルス学習済）」と表示します。センサー学習の仕組みについて、詳しくは「内蔵センサーの学習について」(→P159)をご覧ください。

車速パルス

現在本機が認識している車速パルスの数が表示されます。停車中の場合は「0」が表示されます。車を走行させると、速度に応じて“ピッ”という発音音がして、数字とともにバー表示が変化します。車速パルスの確認は、別売の電源ケーブル「RD-032」に同梱されている、車速信号入力ケーブルを本機に接続し、安全な場所で、低速（時速5 km程度）で行ってください。

ウィジェットから情報を表示する

ウィジェットに登録した「エコステータス」「時計表示」「バックカメラ」にタッチすると、それぞれの画面を表示することができます。

時計表示

ウィジェットには、GPSより受信した時刻と日付、曜日が表示されます。

1 「時計表示」にタッチする



時刻が全画面で表示されます。



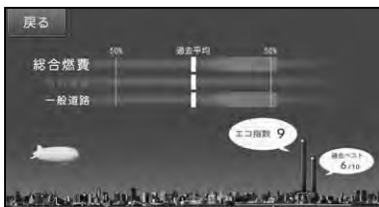
■エコステータス

ウィジェットには、走行中の道路（一般道路/有料道路）の平均燃費が表示されます。バーの目盛りが右に増えるほど、良い燃費であることを示します。

1 「エコステータス」にタッチする



エコステータスが表示されます。



■バックカメラ

バックカメラが接続され、映像出力設定（→P142）が「バックカメラ」に接続されている場合に、バックカメラの映像に切り換えることができます。

1 「バックカメラ」にタッチする



バックカメラ映像が表示されます。



Advice

- ・ **バックカメラ解除** にタッチすると、元の画面に戻ります。

マップチャージ

マップチャージを行う	120
ナビスタジオの動作環境について	120
ナビスタジオをパソコンにインストールする	120
ナビスタジオの初期設定を行う	122
ランチャーについて	122
マップチャージ	122
ホームページ	123
オプション	123
ナビスタジオを使用して	
マップチャージを行う	124
通信モジュールを使用して	
マップチャージを行う	124

マップチャージを行う

ナビゲーションに収録されている地図データを最新の状態に更新することができます。(マップチャージ)

マップチャージを行うには、2通りの方法があります。

通信モジュールを使う	通信機能を利用して、差分更新(現在の地図データの情報に対し、差分情報のみを更新)を行います。(→P124)
ナビスタジオを使う	パソコン経由で地図データをダウンロードし、microSDカードを使ってナビゲーションに転送して全更新(全ての情報を更新)または差分更新を行います。(→P124)

Advice

- ・通信モジュールのご利用には、通信契約(→P22)が必要です。
- ・ナビスタジオのご利用には、ブロードバンド環境へ接続したパソコンとお客様登録(→P122)が必要です。
- ・ナビスタジオ経由でダウンロードした地図データの転送には、空き容量16GB以上のmicroSDHCカードが必要です。
- ・お使いいただいているパソコンがmicroSDHCカードに対応していない場合には、市販のUSBアダプターなどをご使用ください。

ナビスタジオの動作環境について

下記の条件を満たしているパソコンにインストールし、利用することができます。

OS	Microsoft® Windows® XP Home/Professional SP3以降	Microsoft® Windows Vista® Ultimate/Business/Home Premium/Home Basic SP2以降	Microsoft® Windows® 7 Ultimate/Professional/Home Premium以降
メモリ	256MB以上(推奨512MB以上)	512MB以上(推奨1GB以上)	1GB以上(推奨2GB以上)
CPU	Intel® Pentium® III 600MHz以上		
ハードディスク	16GB以上の空き容量		
ディスプレイ	解像度1024x768・発色数16ビット(65536色)以上		
その他	Internet Explorer® 6以降がインストールされている必要があります。		Internet Explorer® 8以降がインストールされている必要があります。

ナビスタジオをパソコンにインストールする

次の手順で、パソコンにナビスタジオをインストールします。

1 本機にmicroSDカードを挿入する(→P24)

▼
本機をご購入後はじめてmicroSDカードを挿入すると、SDカード登録確認メッセージが表示されます。

2 はいにタッチする



▼
ナビスタジオのインストーラーおよび必要なデータがmicroSDカードへ書き込まれ、ナビスタジオ用SDカードとして本機に登録されます。

Advice

- ・**いいえ**にタッチすると、登録が行われずナビスタジオ用としてお使いになることはできません。

3 確認にタッチする



Advice

- ・SDカード登録確認メッセージは、一度登録が完了したあとは表示されません。はじめに登録したmicroSDカードを別のものに変更したい場合は、機能設定の「SDカード登録確認メッセージ表示」をONに設定してください。→「設定を変更する」(P91)

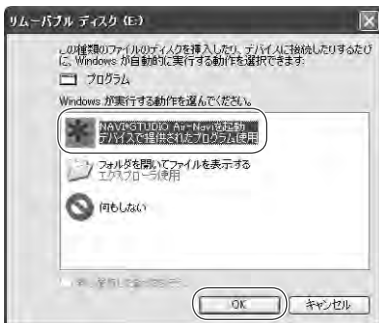
4 microSDカードを取り出し(→P25)、パソコンにセットする

自動実行選択ダイアログが表示されます。

Advice

- ・自動実行選択ダイアログが表示されない場合は、microSDのドライブ名で右クリックをして「自動実行」を選んでください。
- ・Windows 7では、外部メモリーデバイスからのプログラム自動起動ができません。

5 “NAVI*STUDIO Air-Navi を起動”を選択し、**OK**をクリックする



Advice

- ・ご使用のOSによって画面は異なります。
- ・Windows 7では、フォルダーを開き、PC\PCAPL\PCLAUNCHER.EXEを手動で起動してください。

NAVI*STUDIO インストーラーが表示されます。

6 “ダウンロード”をクリックする



自動的にWEBブラウザが起動し、ナビスタジオのダウンロードページを表示します。

7 「ナビスタジオ」のセットアップファイルをダウンロードする

以降は、インストールウィザードの指示に従ってインストールを行ってください。インストール完了後ナビスタジオを起動すると、初期起動時に初期設定画面が表示されます。現在のお客様登録状況に応じて操作してください。

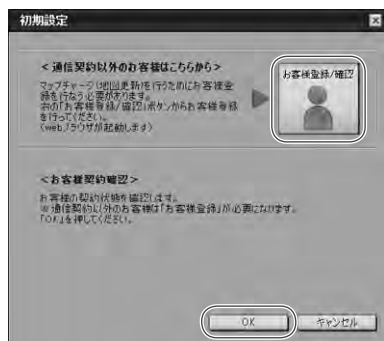
■ナビスタジオの初期設定を行う

初めてナビスタジオを起動したときは、初期設定画面が表示されます。画面に従って初期登録を行ってください。

1 デスクトップにある「NaviStudio Air-Navi」アイコンをクリックする



2 OK または お客様登録/確認 をクリックする



お客様登録/確認	通信サービスを申し込んでいない方はこちらを選びます。画面の指示に従ってお客様登録を行ってください。
OK	通信サービスを申し込んでいる方はこちらを選びます。



ナビスタジオのランチャー（メニュー選択ツール）が表示されます。

ランチャーについて

ナビスタジオをインストールしたパソコンでは、ランチャー（メニュー選択ツール）を起動できるようになります。ランチャーからメニューを表示して機能をクリックすると、それぞれの機能を使うことができます。

それぞれの機能の詳しい説明は、ナビスタジオのオンラインヘルプをご覧ください。

■マップチャージ

「マップチャージ」では、ダウンロードの設定と最新地図のダウンロードを行うことができます。



① ダウンロード設定

ダウンロードするファイルの選択や、microSDカード内のデータの消去などを行います。

② 最新情報に更新

地図データの差分情報をダウンロードし、microSDカードに自動的に保存します。

■ ホームページ

「ホームページ」からは、それぞれのホームページを表示することができます。



① ナビスタジオ情報

ナビスタジオのホームページを表示します。ナビスタジオの更新などを行います。

② 更新用パスワード確認

地図更新のホームページを表示します。地図更新の方法の種類や費用、更新パスワードなどを知ることができます。

③ お客様登録

お客様登録のホームページを表示します。パソコン上からお客様登録を行ったり、お客様情報を変更したりできます。

■ オプション

オプション機能としては、バージョン情報やmicroSDカードの使用状況、オンラインヘルプを表示して確認することができます。



① バージョン情報

現在お使いのナビスタジオのバージョンを確認することができます。

② SD カード情報

マップチャージの状況や履歴などを確認することができます。

③ オンラインヘルプ

オンラインヘルプに接続され、ヘルプ画面を見ることができます。

ナビスタジオを使用して マップチャージを行う

ナビスタジオ（microSDカード）を使用してマップチャージ（全更新および差分更新）を行います。

1 PCリンク用として登録したmicroSDカード（→P120）をパソコンにセットする

2 ナビスタジオを起動する

▼
最新の地図データがmicroSDカードにダウンロードされます。

Advice

- ・自動的にダウンロードが開始されない場合は、ナビスタジオ画面の「最新情報に更新」をクリックしてください。

3 地図データが保存されたmicroSDカードを本機に挿入する（→P24）

▼
地図データが本機に転送され、自動的に地図更新が開始されます。

Advice

- ・全更新時のみ、地図更新用のパスワードの入力が必要となります。更新用パスワードについては、更新用パスワード確認（→P123）からご確認ください。
- ・転送が完了すると、メッセージが表示されます。地図データの差分情報は、次に本機を起動した時点から有効となります。
- ・差分更新時に、AVソースでSDを選択している場合は、自動的にOFFとなります。差分更新完了後、再度AVソースをSDにして再生を再開させてください。

Caution

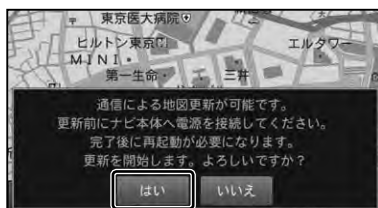
- ・データ転送中は本機の電源をOFFにしたり、microSDカードを抜いたりしないでください。

通信モジュールを使用して マップチャージを行う

通信モジュールを使用してマップチャージ（差分更新のみ）を行います。

1 通信モジュールがセットされた状態で本機の電源を入れる

2 下記メッセージが表示されたら、**はい**にタッチする



▼
自動的に地図更新が開始されます。

Advice

- ・差分更新情報が無い場合は、手順**2**の画面は表示されません。
- ・地図データの差分情報は、次に本機を起動した時点から有効となります。
- ・「全データ更新がされていません。SDカードを使用して全データ更新をしてください。更新を行わない場合、通信による地図更新ができません。」と表示された場合は、通信モジュールによる差分更新はできません。ナビスタジオを使用して全更新を行ってください。

Caution

- ・データ転送中は本機の電源をOFFにしたり、通信モジュールを抜いたりしないでください。

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作.....	126
AVソース画面を表示する	126
映像系AVソースについて	126
AVソースを切り換える	127
AVソースアイコンについて	127
AVソースをOFFにする	127
音量を調整する	127
オーディオのワイプ操作について	128

オーディオの基本操作

AVソース画面を表示する

本機には、SDプレーヤー（オーディオ/ビデオ）、ワンセグ（TV）のAVソースがあります。またDVD-VIDEO対応メインユニットやバックカメラを接続して映像を表示することもできます。

1 ナビゲーション画面で、『NAVI/AV』ボタンを押す

ナビゲーション画面



AVソース画面



Advice

・AVソースがONの状態では、『現在地』ボタンを押した場合は、AVソースの音声はそのまま、画面表示だけナビゲーションに切り換わります。

映像系AVソースについて

SDのビデオファイルやワンセグ（TV）など映像系のAVソースに切り換えた場合は、はじめに映像のみ表示します。操作タッチキーを表示させたい場合は、画面にタッチしてください。



操作タッチキー

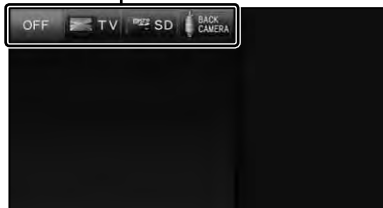
Advice

・SDやTV（ワンセグ）では、ワイプ操作（→P33）を行うことができます。ワイプ操作で可能な操作は、各ソースの説明ページをご覧ください。

AVソースを切り換える

- 1 AVソース画面を表示する
- 2 お好みのAVソースアイコンにタッチする

AVソースアイコン



選んだAVソースに切り換わります。

AVソースアイコンについて

	選択中のAVソースをOFFにしたいときに選びます。
	ワンセグ放送を見たいときに選びます。
	microSDカードに保存した音楽ファイルや映像ファイルを再生したいときに選びます。再生可能なファイルが含まれていない場合は、microSDカードを挿入しても選択できません。
	VIDEOを使いたいときに選びます。映像入力設定(→P142)を行っていない場合は表示されません。
	バックカメラ映像を表示させたいときに選びます。映像入力設定(→P142)を行っていない場合は表示されません。

AVソースをOFFにする

AVソースの再生や受信をやめる場合は、AVソースをOFFにします。

- 1 **OFF** にタッチする

AVソースがOFFになります。

音量を調整する

AVソースの音量(再生音量など)を調整します。



Advice

- ・ナビゲーションの案内音量や操作音については、「ナビゲーションの案内音量を調整する」(→P101)をご覧ください。

- 1  または  にタッチする

例：ワンセグ



- | | |
|---|-----------|
|  | 音量が上がります。 |
|  | 音量が下がります。 |

オーディオのワイプ操作について

ナビゲーション同様、オーディオでもワイプ操作（→P33）が可能です。詳しくは、各ソースの説明ページをご覧ください。

例：ワンセグ



↑ワイプ	消音解除
↓ワイプ	消音
←ワイプ	AV 操作（ダウン）
→ワイプ	AV 操作（アップ）

Advice

- ・消音を解除するには、上方方向にワイプします。
- ・ソースによっては、ワイプする場所が異なります。詳しくは各ソースの説明ページをご覧ください。

ワンセグ

ワンセグ放送を見る	130
ワンセグ放送を見る	130
アイコン一覧	130
プリセットの種類を切り換える	131
受信可能な中継局を探す	132
チャンネルを手動で登録する	132
サービスを切り換える	133
番組表を表示する	133
番組内容を表示する	133
チャンネルを自動で登録する （チャンネルスキャン）	134
字幕を切り換える	134
音声を切り換える	134
視聴設定を消去する	134

ワンセグ放送を見る

本機では、地上デジタル放送のサービスの1つである「ワンセグ」を見ることができます。

ワンセグ放送を見る

Caution

- ワンセグ放送は、停車中のみ見ることができます。
- ワンセグをはじめてご覧になるときや、受信地域が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。→「チャンネルを自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P134)

Advice

- ワンセグ放送は、受信場所によっては画像がすぐに表示されないことがあります。また、画像が乱れる・遅れる、突然受信できなくなるといった現象が起こることがありますが、故障ではありません。

1 ワンセグ用アンテナを伸ばす (→P26)

2 AVソースをTVにする (→P127)

▼
AVソース画面が表示され、前回受信していたチャンネルを受信します。

3 ワンセグ放送受信中に、画面にタッチする

▼
操作タッチキーが表示されます。



リスト項目

操作タッチキー

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
スキャン	2秒以上タッチすると、受信状態の良いチャンネルを自動的に登録します。(→P134)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→P134)
ミュート	一時的に音量を消します。
🔊 / 🔊	音量を上げ / 下げします。
サービス切換	同じチャンネル内のサービスを切り換えます。(→P133)
プリセット切換	プリセット種類 (→P131) を切り換えます。
字幕切換	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→P134)
◀ / ▶	プリセットチャンネルを順に送ります。長くタッチすると、受信可能なチャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK) (→P132)
番組表	番組表を表示します。(→P133)
番組内容	番組内容を表示します。(→P133)
ビュー	操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

■ アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソース画面に表示されます。

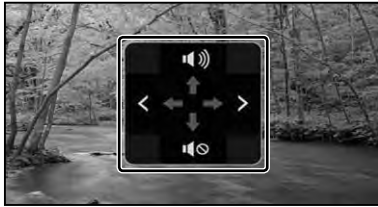
OFF	字幕情報
🔊	ステレオ放送
🔊 1	音声情報
📶	受信レベル

Advice

- ・何も操作をしないと、操作タッチキーは約8秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- ・ワンセグの音声はチャンネル側の出力レベルにより低い場合があります。そのため他のAVソースからワンセグに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。

ワイプ操作：

ワンセグ映像画面では、以下のワイプ操作が可能です。ワイプ操作については、「ワイプ操作」(→P33)をご覧ください。



↑ワイプ	消音解除
↓ワイプ	消音
←/→ワイプ	プリセットチャンネルを順に送る

Advice

- ・ワイプ操作を行う場合は、ワイプ画面が表示されるまで(0.5秒以上)ワイプ反応エリアにタッチし続けてください。ワイプ画面が表示される前に指を放すと操作タッチキー画面(→P130)が表示されます。

プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録したチャンネル(ユーザープリセット)を呼び出すか、あらかじめ本機に登録されている自車周辺のチャンネル(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 プリセット切換にタッチする (→P130)



タッチすることにより、USER(ユーザープリセット) ↔ AREA(エリアプリセット)が切り換わります。

Advice

- ・エリアプリセットに設定しておく、自車周辺のチャンネルがリストに表示され、かんたんにチャンネルを選ぶことができます。
- ・エリアプリセットでは、チャンネルの周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信したチャンネルが表示と異なる場合があります。

受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで同じチャンネルの別エリアの中継局が存在する場合は、チャンネル名の右側に **AREA** マークが表示されます。受信状態が悪くなった場合などは次の操作で受信可能な中継局を探して切り換えることができます。

- 1 「エリアプリセット」にする
(→P131)
- 2 受信中の放送局名にタッチして **はい** にタッチする



Advice

- ・エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン(→P134)をしてください。

チャンネルを手動で登録する

ユーザープリセットに12局まで手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

- 1 「ユーザープリセット」にする
(→P131)
- 2 **</>** にタッチして登録したいチャンネルを選ぶ(→P130)
- 3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中のチャンネルが、選んだプリセットに登録されます。

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換 にタッチする (→P130)

別のサービスが表示されます。

番組表を表示する

現在視聴しているチャンネルの番組表を最大10番組まで表示できます。

1 番組表を見たいチャンネルを選んで番組表 にタッチする (→P130)

選んだチャンネルの番組表が表示されます。



Advice

- ・リスト項目にタッチすると、番組内容を表示します。(→P133)
- ・終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

番組内容を表示する

視聴している番組の番組内容を表示します。

1 番組内容 にタッチする (→P130)

番組内容が表示されます。



Advice

- ・終了にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。

チャンネルを自動で登録する(チャンネルスキャン)

受信状態の良いチャンネルをユーザープリセットに自動的に登録することができます。

- 1 **スキャン** に2秒以上タッチする
(→P130)



中止 にタッチすると、スキャンを中止します。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

- 1 **字幕切換** にタッチする
(→P130)

タッチするごとに次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF → 字幕1 に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

- 1 **音声切換** にタッチする
(→P130)

▼
タッチするごとに次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第1音声 に戻る

2カ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 → 主音声 に戻る

視聴設定を消去する

本機の破棄や譲渡などの場合には、「視聴設定」を消去してください。詳しくは、「オーディオのシステムを設定する」-「ワンセグ視聴設定クリア」(→P143)をご覧ください。

microSDカードを使う	136
音楽ファイルを再生する	136
アイコン一覧	136
映像ファイルを再生する	137
音楽ファイルと映像ファイルを切り換える	138
聴きたい曲や見たい映像を探す	139
ダイレクトサーチ	139
リピート再生	140
ランダム再生	140

microSDカードを使う

本機に接続した microSD カード内の音楽ファイル (WMA/MP3/AAC/WAV) や映像ファイル (MPEG4/H.264/WMV) を再生することができます。

Caution

- データの読み込み中に microSD カードを取り出さないでください。
- 読み込み中に microSD カードを取り出したり、製品本体の電源を切った場合、静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合は、データが破壊されることがあります。

Advice

- 本機は、以下のメディアに対応しています。
 - microSD カード：最大容量 32 GB、ファイルシステム FAT 32/16、SDHC 対応
- microSD カードに保存されたデータの判別を行うため、再生画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。保存されたデータが消去されても、当方では一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

音楽ファイルを再生する

microSD カード内の音楽ファイル (WMA/MP3/AAC/WAV) を再生することができます。

Advice

- 再生できる音楽ファイルについては、「再生できる音楽ファイルについて」(→P156) をご覧ください。

1 AVソースをSDにする (→P127)

前回再生していたファイルから再生されます。

再生中ファイルの経過時間

総ファイル番号 / 総ファイル数



アルバムタイトル アーティスト名

ファイル番号 / 曲タイトル

ビデオ	映像ファイルの再生に切り換わります。(→P138)
ミュート	一時的に音を消します。
音量	音量を上げ / 下げします。
スクロール	同じフォルダー内のファイルのダウン / アップを行います。
早送り / 早戻し	キーを押している間、再生中 (タッチし続ける) ファイルの早戻し / 早送りをを行います。
一時停止	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。(→P140)
リスト	ファイルリストを表示します。(→P139)
ランダム	ランダム再生を行います。(→P140)

アイコン一覧

再生中の楽曲に関するアイコンが AV ソースプレートに表示されます。

	再生中の楽曲のアルバムタイトル
	フォルダー番号
	ファイル番号およびファイル形式

Advice

- ・MP3/WMA/AAC/WAVファイルからタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- ・タイトル情報を取得できなかった場合は以下のように表示されます。
 - アルバムタイトル：フォルダー名
 - 曲タイトル：ファイル名
 - アーティスト名：No Name
- ・WMAのときにタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。

ワイプ操作：

AV画面左側では、以下のワイプ操作が可能です。ワイプ操作については、「ワイプ操作」(→P33)をご覧ください。



↑ワイプ	消音解除
↓ワイプ	消音
←/→ワイプ	ファイルのダウン / アップ

映像ファイルを再生する

microSDカード内の映像ファイル(MPEG4/H.264/WMV)を再生することができます。

Advice

- ・再生できる映像ファイルについては、「再生できる映像ファイルについて」(→P158)をご覧ください。

**1 AVソースをSDにする
(→P127)**

前回再生していたファイルから再生されます。

操作タッチキーが表示されます。



ミュージック	音楽ファイルの再生に切り換わります。(→P138)
ミュート	一時的に音量を消します。
🔊	音量を上げます。
🔇	音量を下げます。
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P139)
■	再生を停止します。
◀ / ▶	ファイルのダウン / アップを行います。
◀ / ▶	キーを押している間、再生中ファイルの早戻し / 早送りを行います。
▶ / ⏸	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
リピート	リピート再生を行います。(→P140)
リスト	ファイルリストを表示します。(→P139)
ビュー	操作タッチキーを消し、映像画面に戻ります。

Advice

- ・表示されるアイコンの意味については、「アイコン一覧」(→P136)をご覧ください。
- ・映像は停車中のみご覧いただけます。
- ・映像の表示方法を変更することができます。
→「SD映像出力設定」(P143)

ワイプ操作：

AV画面の左側では、以下のワイプ操作が可能です。ワイプ操作については、「ワイプ操作」(→P33)をご覧ください。



↑ワイプ	消音解除
↓ワイプ	消音
←/→ワイプ	ファイルのダウン / アップ

音楽ファイルと映像ファイルを切り換える

microSDカード内に音楽ファイルと映像ファイルが混在する場合は、切り換えて使用します。

1 ⇄ビデオまたは⇄ミュージックにタッチする(→P136, 137)



音楽ファイル再生中は映像ファイルに切り換わります。

映像ファイル再生中は音楽ファイルに切り換わります。

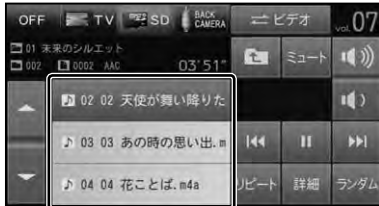
聴きたい曲や見たい映像を探す

聴きたい曲や見たい映像をリストから探します。

リスト画面では、別のフォルダーにあるファイルも探すことができます。

1 リスト にタッチする
(→P136, 137)

2 聴きたい曲または見たい映像にタッチする



Advice

- ・音楽ファイルのリスト画面では、**詳細** にタッチすると元の画面に戻ります。
- ・映像ファイルのリスト画面では、**リスト** にタッチすると元の画面に戻ります。
- ・フォルダー名にタッチした場合は、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- ・**戻る** にタッチすると上位階層フォルダーの内容をリスト表示します。

ダイレクトサーチ

映像ファイル再生中は、見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチ にタッチする
(→P137)

2 見たい場面の時間(分・秒)を入力し、決定 にタッチする



指定した場面から再生を始めます。

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 リピート にタッチする (→P136, 137)

▼
タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

MEDIA REPEAT → FILE REPEAT →
FOLDER REPEAT → MEDIA REPEAT
に戻る

MEDIA REPEAT (表示なし)	microSDカード内のファイルを繰り返し再生します。
FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返し再生します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダー内のファイルを繰り返し再生します。

Advice

・リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作 (FILE REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピート再生の範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

音楽ファイル再生中は、再生順を変えて再生することができます。

1 ランダム にタッチする (→P136)

▼
タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

Advice

・リピート再生の範囲がFILE REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピート再生の範囲はFOLDER REPEATに自動的に切り換わります。

その他の操作

オーディオのシステムを設定する.....	142
消音設定	142
映像入力設定	142
SD 映像出力設定	143
ワンセグ視聴設定クリア	143
VIDEO などの映像を見る	144
バックカメラの映像を見る.....	145
バックカメラの表示方法	145
バックカメラを非表示にするには	145

オーディオのシステムを設定する

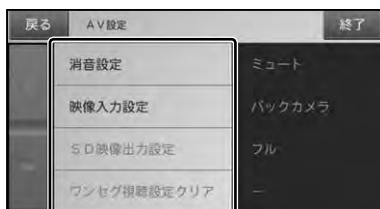
本機のオーディオシステムの基本的な設定を行います。

1 『メニュー』ボタンを押し、**設定** - **設定** にタッチする

2 **AV設定** にタッチする



3 項目を選んで設定する



4 設定を終了する場合は、**決定** にタッチする

消音設定	ナビゲーションの案内音声再生時に、AVソースの音量を一時的に消して音声を聞き取りやすくすることができます。(→ P142)
映像入力設定	バックカメラやVIDEOを接続した場合に設定します。(→ P142)
SD映像出力設定	microSDカード内の映像データ再生時の表示形式を設定します。(→ P143)
ワンセグ視聴設定クリア	廃棄や譲渡などの場合に、本機に記録されている視聴設定を消去します。(→ P143)

■ 消音設定

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

1 **消音設定** にタッチする

2 **ミュート** または **OFF** にタッチする



ミュート	ナビゲーションの案内音声再生時に、AVソースの音を一時的に消音します。
OFF	ナビゲーションの案内音声再生時に、AVソースの音を消音しません。

■ 映像入力設定

工場出荷時は「OFF」に設定されています。

1 **映像入力設定** にタッチする

2 接続した機器に応じて設定する



バックカメラ	バックカメラ映像を表示するとき
VIDEO	VIDEOの映像を表示するとき
OFF	何も接続していないとき

Advice

- ・「バックカメラ」に設定すると、AVソースにバックカメラが追加されます。
- ・「VIDEO」に設定すると、AVソースにVIDEOが追加されます。

■ SD映像出力設定

工場出荷時は「フル」に設定されています。

1 SD映像出力設定にタッチする

2 フルまたはアスペクト比にタッチする

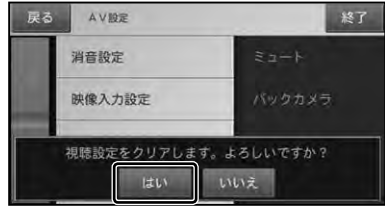


フル	アスペクト比を変え、上下左右を引き伸ばして、画面いっぱいに表示します。
アスペクト比固定	アスペクト比は変えずに、長辺または短辺を画面に合わせて表示します。

■ ワンセグ視聴設定クリア

1 ワンセグ視聴設定クリアにタッチする

2 はいにタッチする



視聴設定が消去されます。

VIDEO などの映像を見る

本機にDVD-VIDEO対応メインユニット（DVHシリーズ）の映像出力を接続すると、DVD-VIDEOなどの映像を本機のAVソース（VIDEO）で見ることができます。あらかじめ映像入力設定を行ってください。→「オーディオのシステムを設定する」-「映像入力設定」(P142)

Caution

- ・VIDEOの映像は、停車中のみ見ることができます。
- ・本機にバックカメラを接続する場合は、この機能は使えません。

1 AVソースをVIDEOにする (→P127)



VIDEOの映像が表示されます。



Advice

- ・DVHシリーズの映像信号を本機に入力するには、別売の各種変換ケーブルが必要になります。
- ・接続した機器によっては、映像が正常に表示されない場合があります。

バックカメラの映像を見る

別売のバックカメラを接続すると、バックカメラの映像を表示することができます。あらかじめ映像入力設定を行ってください。→「映像入力設定」(P142)

Caution

- ・バックカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- ・本機にDVD-VIDEO対応メインユニットなどを接続する場合は、この機能は使えません。

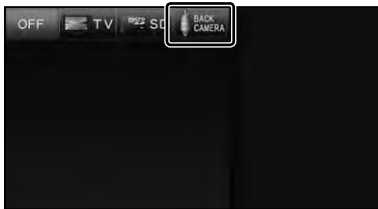
バックカメラの表示方法

バックカメラ映像の表示方法は、以下の3通りです。

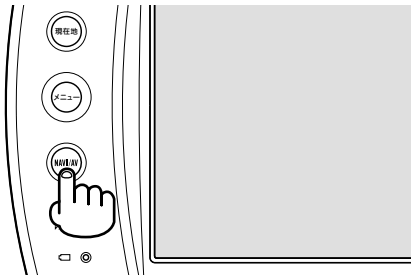
- ・ウィジェットから表示 (→P34)



- ・AVソースアイコンで **BACK CAMERA** にタッチ (→P127)



- ・『NAVI/AV』 ボタンの長押し (→P14)



バックカメラを非表示にするには

バックカメラの映像表示中に**バックカメラ解除**にタッチすると、元の画面に戻ります。



Advice

- ・バックカメラの映像表示中に『NAVI/AV』ボタン(長押し)または『現在地』ボタンを押すと、バックカメラを解除し、元の画面に戻ります。
- ・ウィジェットから表示する場合は、あらかじめウィジェット表示設定を「バックカメラ」に設定しておいてください。(→P96)

文字の入力

文字の入力操作	148
文字入力の方法を切り換える	148
文字の入力操作の流れ	148
文字の種類を切り換える	149
全角・半角を切り換える	149
大文字・小文字を切り換える	150
濁点、半濁点、句読点や記号類を追加する	150
文字を入力する	151
基本操作	151
文字を削除する	152
スペースを空ける	152
文字を挿入する	152
無変換、変換を行う	153
文字入力を完了する	153
かな漢字変換できる記号	154

文字の入力操作

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

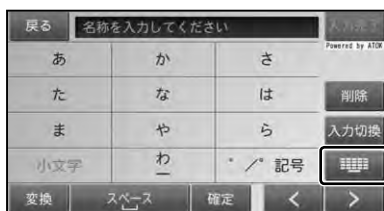
Advice

- ・英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。
- ・項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば名称で探す場合、ひらがな入力以外は選べません。

文字入力の方法を切り換える

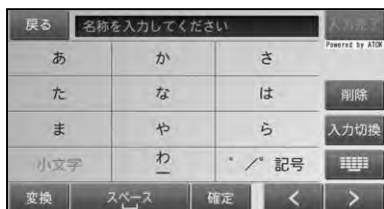
本機の文字入力は、2種類の方法(キーボード方式と携帯電話方式)から選んで行うことができます。

1 パレット切り換えマーク(/)にタッチする



タッチすることにより以下のように切り換わります。

携帯電話方式



キーボード方式



文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える



全角・半角を切り換える



文字を入力する



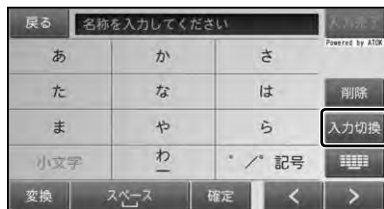
変換または確定を行う



文字入力を終了する

文字の種類を切り換える

1 入力切換 にタッチする



タッチすることにより文字の種類が以下のように切り換わります。

ひらがな → カタカナ → 英字 → 数字
→ 記号 → ひらがな に戻る

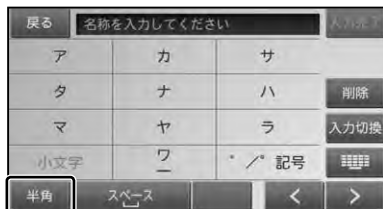
Advice

・漢字変換をするには、ひらがなで入力します。

全角・半角を切り換える

全角・半角を切り換えることができます。

1 半角 / 全角 にタッチする



Advice

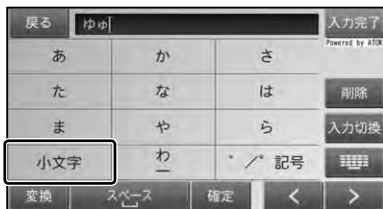
・文字の種類 (→P149) を「ひらがな」にしている場合、全角 / 半角の切換はできません。

大文字・小文字を切り換える

大文字・小文字を切り換えることができます。

例：小文字に変換する場合

- 1 文字を入力する
- 2 **小文字** にタッチする



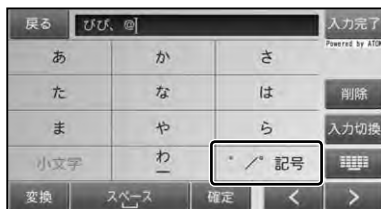
Advice

・キーボード方式の場合は、**°小文字** にタッチすると大文字・小文字を切り換えられます。

濁点、半濁点、句読点や記号類を追加する

ひらがなやカタカナの場合は、選んだ文字により濁点・半濁点を追加することができます。また句読点や記号類も入力することができます。

- 1 **°記号** にタッチする



タッチすることにより、カーソル左側の文字が以下のように切り換わります。

濁点 → 半濁点 → 句読点や記号類 → 濁点に戻る

Advice

・キーボード方式の場合は、**°小文字** にタッチすると濁点、半濁点を追加できます。

文字を入力する

■基本操作

携帯電話方式で入力する場合

1 各タッチキーに割り当てられた文字を入力する

同じキーをタッチするごとに以下の文字が切り換ります。

Advice

・同じキー（枠内）の文字を続けて入力するときは、▶または◀にタッチします。（数字入力を除く）

キー	ひらがな	カタカナ	英字	数字
あ ア 1	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ		1
か カ 2 ABC	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
さ サ 3 DEF	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
た タ 4 GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	G H I g h i	4
な ナ 5 JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
は ハ 6 MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
ま マ 7 PQRS	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
や ヤ 8 TUV	や ゆ よ ゃ ゅ ょ	ヤ ュ ヨ ャ ヷ ャ	T U V t u v	8
ら ラ 9 WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
わ ヲ 0	わ を ん ー	ワ ラ ン ー		0
／記号 ＊記号 ＃ 記号	＊ ° 、 。 . . @ / ! ? () - _ : ; ' " & ¥ #		. . @ / ! ? () - _ : ; ' " & ¥ #	#

■ キーボード方式で入力する場合

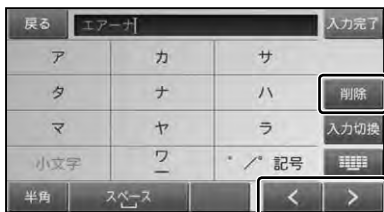
1 入力したい文字にタッチする



■ 文字を削除する

1 ◀ / ▶ にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる

2 削除 にタッチする



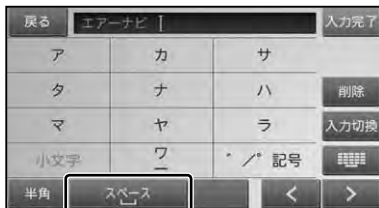
タッチすることにより、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右側の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

Advice

・ 削除に長くタッチすると、全削除することができます。

■ スペースを空ける

1 空けたい分だけ **スペース** にタッチする

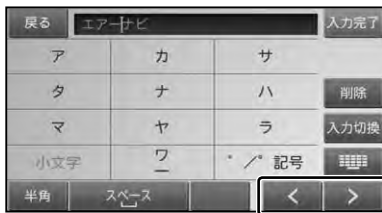


Advice

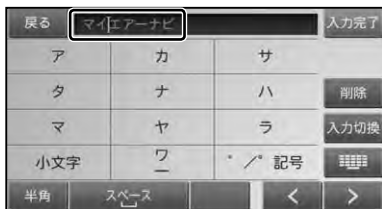
- ・ 文字入力中は、入力を確定してから ▶ にタッチします。
- ・ 入力済みの文章の途中でスペースを空けたい場合は、◀ / ▶ にタッチしてカーソルを移動し、**スペース** にタッチします。

■ 文字を挿入する

1 ◀ / ▶ にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる



カーソルの位置に文字を挿入することができます。



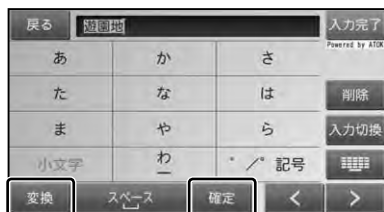
Advice

- ・カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

- 1 ひらがなを入力する場合は**確定**、漢字に変換する場合は**変換**—**確定**にタッチする



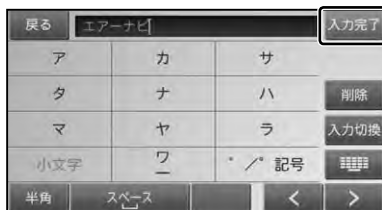
▼
文字が入力されます。

Advice

- ・ **◀**または**▶**にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。
- ・ **変換**にタッチするごとに、候補の漢字が切り換わります。

文字入力を完了する

- 1 **入力完了**にタッチする



かな漢字変換できる記号

学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≡
	≥ << >>
ぶらす / たす	+
まいなす / ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん / むげんたい	∞
むげんならば	∴
ゆえに	∴
かける	×
わる	÷

ギリシア文字

読み	記号
あるふぁ / あるふぁー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ / おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい / きー	X x
かっぱ	K k
がんま / がんまー	Γ γ
くしー / ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい / びー	Π π
ふぁい / ふいー	Φ φ
ぶさい / ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

括弧

読み	記号
かっこ	" " "" () {} []
	[] {} <> <>
	「」 『』 『』

記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ●
	◎ ◇ ◆ □
	■ ▲ ▽ ▼
	▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C
	¥ \$ € £
	%
ど	° °C
どる	\$
ばーせんと	%
ばーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぼんど	£

点

読み	記号
だくてん	*
てん	、 , … …
はんだくてん	°
まる	° .

矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

その他

読み	記号
あすたりすく / あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんばさんど	&
おんぷ	♪
から / ないし	~
こめ / ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

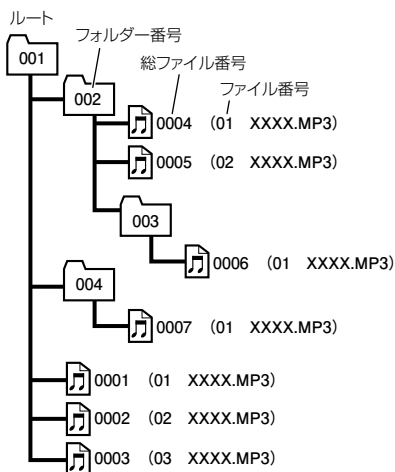
再生できる音楽ファイル および映像ファイルについて.....	156
フォルダー・ファイルの表示と再生順について ...	156
再生できる音楽ファイルについて	156
WMA ファイル	156
MP3 ファイル	157
AAC ファイル	157
WAV ファイル	157
再生できる映像ファイルについて	158
映像コーデック	158
音声コーデック	158
ナビゲーションのしくみ	159
現在地がわかるしくみ	159
GPSによる測位	159
自立航法による測位	159
内蔵センサーの学習について	159
測位の精度を高めるためのしくみ	160
マップマッチング	160
誤差について	160
取り扱い上のご注意	163
液晶画面の正しい使いかた	163
取り扱い上のご注意	163
液晶画面について	163
LEDバックライトについて	163
お手入れについて	163
内蔵バッテリーの正しい使いかた	164
充電について	164
廃棄について	164
microSD カードの正しい使いかた	164
取り扱い上のご注意	164
データの保護について	164

故障かな?と思ったら	165
電源	165
ナビゲーション	165
オーディオ	166
共通項目	166
ワンセグ	166
microSD カード	167
その他	167
エラーメッセージと対処方法	168
共通項目	168
ナビゲーション	168
オーディオ	169
ワンセグ	169
microSD カード	169
その他の情報	170
検索におけるデータベースについて	170
ルートに関する注意事項	170
VICS 情報に関する注意事項	172
VICS センターのお問い合わせ先	172
シティマップ(詳細市街地図)収録エリア	172
阪神高速道路株式会社からのご連絡	175
収録データベースについて	176
VICS 情報有料放送サービス契約約款	179
商標・著作権など	181
仕様	193
保証書とアフターサービス	194
充電式電池リサイクルご協力のお願い	195
索引	197
メニュー索引	197
用語索引	198
五十音順	198
数字・アルファベット順	201
記号・マーク一覧	203

再生できる音楽ファイルおよび映像ファイルについて

フォルダー・ファイルの表示と再生順について

- microSD カード内のフォルダーおよびファイルは、階層ごとに作成日順に並べ替えられ、ファイル番号順に再生されます。なお、音楽ファイルと映像ファイルは別々に管理されます。



- 対応している microSD カードは、最大容量：32 GB、ファイルシステム：FAT 32/16、SDHC 対応です。
- microSD カード内の認識できる最大フォルダー数は、300（ルート含む）、最大ファイル数は、5 000 です。
- 認識できるフォルダー名およびファイル名（拡張子含む）の最大文字数は、半角で 260 文字までです。
- ファイル名が 8 文字以下で拡張子が 3 文字以下の英数字の場合は、ファイル名を表示すると拡張子を含め全て大文字で表示されます。
- 本機では、Windows OS 以外で保存されたファイルの動作検証は行っていません。

再生できる音楽ファイルについて

本機では、下記の音楽ファイルを再生することができます。

フォーマット	拡張子
WMA	wma
MP3	mp3
AAC	m4a
WAV	wav

Advice

- 雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けしないでください。
- DRM(デジタル著作権管理) 付きの音楽ファイルの再生には対応していません。
- 総時間が、7時間30分(450分)を超える音楽ファイルは再生できません。

WMA ファイル

WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Advice

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機では、Windows Media Player Ver.7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8 kHz ~ 48 kHz です。
- 対応ビットレートは 5 kbps ~ 320 kbps です。VBR に対応しています。

- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1 ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

■ MP3 ファイル

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8 kHz～48 kHzです。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8 kbps～320 kbpsです。VBRに対応しています。
- ひとつの MP3 ファイルの中に、異なるバージョン (v1, v2) の ID3 タグ情報が存在する場合は、v2 のタグ情報を優先に表示します。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。

■ AAC ファイル

AACとは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

Advice

- 本機では、Windows 版の iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。

- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 8 kHz～48 kHz です。
- 対応ステレオビットレートは 8 kbps～320 kbps です。VBRに対応しています。

- この製品は、下記のオーディオフォーマットには対応していません。
 - * Apple Lossless

■ WAV ファイル

WAVとは、「Waveform」の略で、Windows[®]での標準音声フォーマットです。

- 本機は、LPCM 形式および IMA ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、LPCM 形式では 16 kHz～48 kHz、IMA ADPCM 形式では 22.05 kHz～44.1 kHz のサンプリング周波数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。
- 表示されるサンプリング周波数の桁は、すべてではないことがあります。
- 本機は、LPCM では 8/16 bit、IMA ADPCM では 4 bit の量子化ビット数で記録された WAV ファイルの再生に対応しています。

再生できる映像ファイルについて

本機では、下記の映像ファイルを再生することができます。

フォーマット	拡張子
MPEG4	avi, mp4, m4v
H.264	mp4
WMV	wmv

Advice

- ・雑音や故障の原因となりますので、異なるフォーマットのファイルに上記拡張子を付けないでください。
- ・DRM (デジタル著作権管理) 付きの映像ファイルの再生には対応しておりません。
- ・総時間が、2時間30分(150分)を超える映像ファイルは再生できません。
- ・WMVのマルチビットレートファイルの再生は、動作保証外です。

映像コーデック

対応している解像度、フレームレート、ビットレートは以下のとおりです。

対応映像コーデック一覧表

	MPEG-4 Video	H.264/AVC	WMV (VC-1)
プロファイル	Simple Profile	Baseline Profile	Simple Profile
最大解像度 (ピクセル)	400×240	400×240	400×240
最大フレームレート	30 fps	30 fps	30 fps
最大ビットレート (平均値/ピーク値) ^{*1}	2.5 Mbps / 8 Mbps	1.5 Mbps / 8 Mbps	768 Kbps / —

※1 再生可/不可は、平均ビットレートで判断します。

音声コーデック

対応している音声コーデックと映像コーデックの組み合わせは、以下のとおりです。

対応映像・音声コーデック組み合わせ一覧表

		映像ファイルフォーマット		
		AVI (*.avi)	MP4 (*.mp4, *.m4v)	ASF (*.wmv)
Video Codec	MPEG-4 Video	○	○	—
	H.264/AVC	—	○	—
	WMV (VC-1)	—	—	○
Audio Codec	None	○	○	○
	LPCM / ADPCM	○	—	—
	MP3	○	—	—
	WMA	—	—	○
	AAC	—	○	—

○：対応 —：非対応

ナビゲーションのしくみ

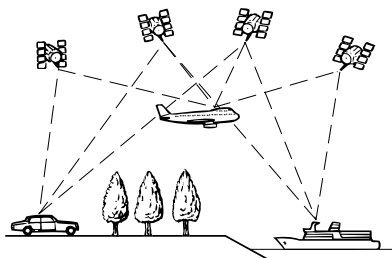
現在地がわかるしくみ

本機では、現在地(自車位置)を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■ GPSによる測位

GPS衛星(人工衛星)から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS(Global Positioning System: グローバルポジショニングシステム)です。

GPS衛星は、地球の周り高度21 000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。



種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度・経度・高度の3次元で測位できます。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度・経度の2次元で測位します。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなります。

■ 自立航法による測位

内蔵のハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向をジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計(加速度センサー)で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。車速パルスが接続されていない場合は、加速度センサーで走った距離を検出します。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

■ 内蔵センサーの学習について

- 本製品では測位の精度を高めるために、ジャイロセンサーと加速度センサーを内蔵しております。この機能を有効にするためには、これらのセンサーの学習が必要です。学習はGPSを受信し、走行開始してから5分～15分程度かかります。(走行条件によって異なります。)
- 学習が完了していないとトンネルなどでGPSが受信できない場合に、地図画面上の自車位置マークが停止します。(GPSが受信可能になると自車位置が更新されます。)この機能は、取付角度が大きく変わった場合や学習クリアした場合は、再度学習が必要となります。また、学習が完了していても、地図画面上の自車位置マークにずれが生じることがあります。

測位の精度を高めるためのしくみ

ハイブリッドシステム

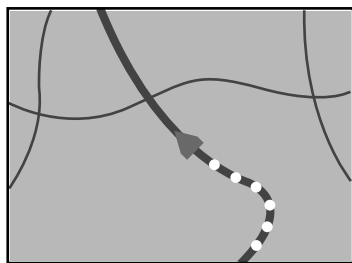
車速パルスが入力されているときは、車速パルスから移動距離をジャイロセンサーから曲がった方向を検出して自車位置の精度を高めています。この場合、GPSが受信できない状況でも位置を表示することが可能です。

車速パルスが入力されないときは、入力されている場合に比べて精度が低くなります。道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなる場合があります。

マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外になる場合があります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしている場合



本機では、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能になります。

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなる場合があります。

GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビルの駐車場



2層構造の高速道路
の下



高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 長い時間GPSによる測位ができない場合、自車位置がずれたり止まったりする場合があります。このような場合でも、GPSの電波を受信してしばらく走行すると正しい位置に修正されます。
- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
 - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合。
- GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなることがあります。また、アンテナに雪が積ると感度が低下しますので、除雪してください。

GPS衛星自体による誤差

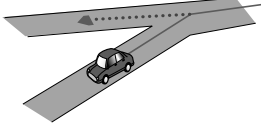
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉（受信）できている衛星の数が少ないときは、2次元測位となり誤差が大きくなります。

低速時の自車位置精度について

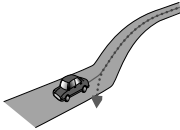
車種によっては数km/h程度の低速時に車速信号が出力されないものがあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場（地下駐車場など）で数km/h程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されないことがあります。

その他の誤差について

- 角度の小さな Y 字路を走った場合。



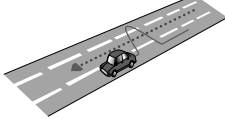
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐあと。



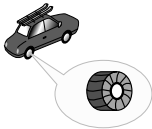
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



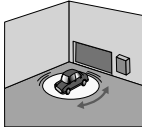
- 蛇行運転をした場合。



- チェーンを装着したときや、サイズの違うタイヤに交換した場合。



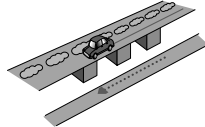
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



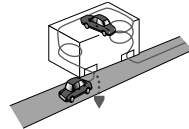
- ヘアピンカーブが続いた場合。



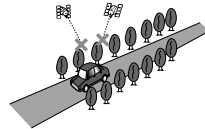
- 道路が近接している場合（有料道路と側道など）。



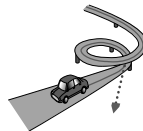
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



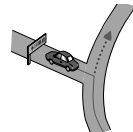
- GPS による測位ができない状態が長く続いた場合。



- ループ橋などを通った場合。



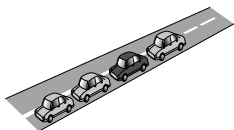
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



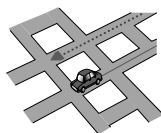
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 基盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。
- 扁平率や径の異なるタイヤに交換してまもない場合。
- センサー学習 (→ P117) 中に、誤った取付や振動の影響によって誤学習をしてしまった場合。

取り扱い上のご注意

液晶画面の正しい使いかた

■ 取り扱い上のご注意

- 市販の液晶保護フィルムを貼ると、タッチパネルでの操作に支障が出る場合があります。
- 液晶画面は指定温度範囲内でお使いください。→「仕様」(P193)
- 直射日光の当たる状態で長時間使用すると、高温になり、液晶画面が故障する恐れがあります。できる限り直射日光が当たらないようにしてください。
- 液晶画面を強く押さないでください。故障する恐れがあります。
- キズや汚れの原因になりますので、液晶画面に触れるときは、必ず指先で触れてください。
- 携帯電話をお使いになるときは、携帯電話のアンテナを液晶画面に近づけないでください。液晶画面に斑点や色模様などのノイズが出たり、映像が乱れたりすることがあります。

■ 液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出ることがあります。これは、液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し画面が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

■ LEDバックライトについて

- 周辺温度が低い状況でお使いになる場合は、液晶の特性上残像が目立ちやすくなり画質が劣化することがあります。周辺温度が高まれば通常画質に戻ります。
- LEDバックライトの寿命は1万時間以上ですが、高温下でお使いになると寿命が短くなる場合があります。
- LEDバックライトが寿命になると、画面が暗くなったり、映像が映らなくなったりします。このときはお買い上げの販売店または修理受付窓口（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。

■ お手入れについて

- 液晶画面に付いたホコリや液晶画面の汚れを清掃するときは、電源を切ってから、柔らかいきれいな布でから拭きしてください。
- 液晶画面を拭くときは、ツメで引っかかないように注意してください。液晶画面にキズが付くと映像が見づらくなります。
- 濡れたぞうきんや化学ぞうきんは使用しないでください。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

内蔵バッテリーの正しい 使いかた

■充電について

- お買い上げ時は、十分に充電されています。充電をしてからお使いください。
- 十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなってきた場合は、内蔵バッテリーの寿命と考えられます。その場合は、修理受付窓口にご相談ください。
- 内蔵バッテリーは充電しても少しずつ自然に放電しています。充電後長期間お使いになっていない場合は、お使いになる前日などにもう一度充電してください。
- 内蔵バッテリーを安全に使用していただくために、高温や低温時には内蔵バッテリーからの電源供給や内蔵バッテリーへの充電を停止する保護機能が働く場合があります。
- 内蔵バッテリーの充電が少ない場合は、製品の電源が入らない場合があります。このような場合は AC アダプター又はシガーライター電源ケーブルを接続し、内蔵バッテリーを充電してからご使用ください。

■廃棄について

- 本機を廃棄する際は、自治体の指示に従ってください。また、本機には、リチウムイオン蓄電池を内蔵しております。リチウムイオン蓄電池はリサイクルできるため、不要になったリチウムイオン蓄電池はリサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion

microSD カードの正しい 使いかた

■取り扱い上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 曲げたり、衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。故障の原因になります。
- 濡れた手で触らないでください。故障の原因になります。
- 端子部を金属類や手で触らないでください。故障の原因になります。
- microSD カードの持ち運びや保管の際には、専用の収納ケースに入れてください。
- 分解したり改造したりしないでください。
- 水、海水、ジュースなどの液体に濡らさないでください。
- microSD カードを幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだり、ケガの原因となります。
- microSD カードを挿入または取り出す際にはご注意ください。手や指を傷つける可能性があります。また、製品本体への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 製品本体から取り出した際に、温かくなっていることがあります。異常ではありません。

■データの保護について

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをお勧めします。万一登録された情報内容が消去してしまうことがあっても、一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 使用しなくなった microSD カードを破棄する場合は、保存内容が流出する危険性がありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的に破壊した上で処分することをお勧めします。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

電源

症状	原因	処置
電源が入らない。	内蔵バッテリーの電池残量がない。	ACアダプターやシガーライター電源ケーブルで充電を行ってください。
	本機が高温な場所に放置されている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
	付属のシガーライター電源ケーブルの接触が悪い。	シガーライター電源ケーブルを差し直してください。
	付属のシガーライター電源ケーブルのヒューズが切れている。	ヒューズ切れを確認し、切れていた場合は新品に交換してください。→『取付説明書』-「シガーライター電源ケーブルの使いかた」
電源スイッチを下方向へスライドし、2秒以上保持しても電源が入らない。	スタンバイモードになっている。	スタンバイモードから電源をONにするときは、電源スイッチを下方向へスライドし、すぐに離してください。(→P17)
スタンバイモードから電源をONにする際、電源スイッチを下方向へスライドし、すぐに放しても電源が入らない。	内蔵バッテリーの残量が少なくなった為、自動的に電源がOFFになった。	電源スイッチを下方向へスライドし、2秒以上保持して電源をONにしてください。(→P17)

ナビゲーション

症状	原因	処置
現在位置と異なる場所が地図に表示されたまま。	GPSを正常に受信できる場所がない。	GPSを正常に受信できる場所に移動してください。正確な現在位置を表示するまで(GPS測位が完了するまで)約5分程度時間がかかることがあります。GPS受信状況確認方法は、「GPS受信状態を表示する」(→P115)をご覧ください。
トンネルを走行中に自転車位置マークが動かなくなる。	本体内蔵のセンサーの学習が完了していない。	トンネルを走行する前には、あらかじめナビゲーションの電源を入れ、GPSが受信できている状態で5分から15分程度走行してください。
電源投入後に自転車位置が大きくずれる。	電源投入直後はGPS衛星の受信が不安定なため。(→P34)	しばらく時間が立つと安定するようになります。故障ではありません。
停車中に地図表示が回転するような動きをする。	センサー学習中に誤った学習をしてしまった。	本機の取付状態を再確認し(→『取付説明書』-「取り付けのポイント」)、センサー学習をクリア(→P100)してください。

トンネルを走行中に 自車位置マークと実 際の車の位置が大き くずれてくる。	GPSが受信できなくなった場合は、本体内蔵のセンサー機能により測位します。別売の電源ケーブル「RD-032」が接続されていない場合は、道路の傾斜の影響を受けやすいため、長いトンネルや地下駐車場などでのGPSが長い間受信できない状況では、誤差が大きくなることがあります。故障ではありません。	—
--	--	---

オーディオ

■共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。 音が小さい。	オーディオの音量(→P127)が0もしくは非常に小さく設定されている。	オーディオの音量(→P127)を上げてください。
液晶画面にナビゲーションの画像が映らない。	液晶画面が、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	『現在地』ボタンで画面を切り換えてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—

■ワンセグ

症状	原因	処置
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	ナビゲーション画面表示中は、ワンセグの視聴ができません。(→P126)
映像が出ない。 「受信できません」とい う画面が表示される。	チャンネルが増えたり、旅行などに出かけたりして受信状態が変わっている。	はじめて使用するときや受信状態が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。(→P134)
	受信状態が悪くなり、放送が受信できない。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
画面が止まっている。画 面がカクカクして映る。 コマ落ちしている。画面 に正方形のノイズが映る。 画面がぼやける。スムース に表示が切り換わらない。	受信状態が悪くなった場合などは、左記のようになります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
映像がギザギザに表示される。	デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	—

microSDカード

症状	原因	処置
WMA/MP3/AAC/WAVファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください。 対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC/WAV ファイルにしてください。(→P156,157,158)
聞きたい WMA/MP3/AAC/WAV ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」、WAV ファイルに「.wav」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」、WAV ファイルに拡張子「.wav」を付けてください。

その他

症状	原因	処置
画面がちらつく。	内蔵バッテリーの電池残量が少なくなっている。	別売の AC アダプターやシガーライター電源ケーブルで充電を行ってください。
画面が正しく表示されない。 本機が正しく動作しない。	本機が長い間放置されたままの状態になっている。	設定初期化 (→P100) をお試しください。ただし、設定初期化を行うとデータが消えてしまいますので、ご了承ください。
画面にタッチしたとき、矢印や文字が表示される。 通信できない。	故障ではありません。ワイプ操作 (→P33) が可能になります。 通信モジュールの設定が OFF になっている。 通信圏外となっている。	— 通信設定画面 (→P97) で通信モジュールを ON にしてください。 本体 LED が点灯または点滅していることを確認してください。 電波状況の良い所で再度通信してください。 電波状況は接続状態画面 (→P116) で確認できます。

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
電池残量がありません。 データ保護のため電源 OFF します。	内蔵バッテリーの残量が無くなった。	本機にACアダプターを接続するか、シガーライター電源ケーブルに接続して、内蔵バッテリーを充電してから電源をONにしてください。(→P17)
電池残量が少ないため、ナビゲーションシステムを起動できません。充電状態のまましばらくお待ちください。	電池残量が本機を起動できるほど充電できていない。	そのまま充電を続け、本機が起動できるほどの一定の充電がされると起動します。
高温を検出したためシステムを一時停止します。	本機の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高熱になるところに設置していないことを確認してください。
通信モジュールを接続して下さい。 USIM カードが挿入されていません。 USIM カードを確認して下さい。	通信モジュールが接続されていない。 USIM カードが通信モジュールに挿入されていない。	通信モジュールを本機に接続してください。(→P22) USIM カードが通信モジュールに挿入されているか確認してください。(→P22)
通信モジュールで高温を検出しました。 保護のため通信モジュールを OFF します。しばらくお待ちください。	通信モジュールの内部温度が高くなった。	通信モジュールの内部温度が下がるまでお待ちください。 通信モジュールの内部温度が下がると通信モジュールを自動でONします。

ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
圏外のため認証を開始できませんでした。 通信を行うためには通信認証が必要となります。 電波状況のよい場所へ移動してからアクセスしてください。	起動した時に通信圏外なので、通信認証することができませんでした。	電波状況の良い所で通信認証を行ってください。電波状況は、接続状態画面(→P116)で確認できます。
探索できませんでした。	—	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるため、探索できませんでした。	—	途中に立寄地を設定してください。

行き先が近すぎるため、探索できませんでした。	—	行き先・場所または出発地の位置を変えてください。
通行規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。		
時間規制により、通行できない区間があるため、探索できませんでした。		
行き先につながる道路が見つからないため探索できませんでした。		
行き先または出発地付近に案内対象道路がないため探索できませんでした。		

オーディオ

■ワンセグ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
受信できません。 スキャンを実行してください。	受信地域が変わったか、購入後またはワンセグ視聴設定クリア (→ P143) 後、スキャンを行っていない。	チャンネルスキャンを行ってください。(→ P134)

■microSDカード

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
再生できませんでした。	本機で再生できるファイルではない。	「再生できる音楽ファイルおよび映像ファイルについて」(→ P156) をご確認ください。
再生できるファイルがありません。	本機で再生できるファイルが microSD カードに含まれていない。	本機で再生できるファイルを再生してください。
再生できませんでした。	本機で再生できる最大解像度を超えるコンテンツを再生しようとした。	「microSD カードを使う」(→ P136) をご確認ください。本機で再生できるファイルを再生してください。

その他の情報

検索におけるデータベースについて

場所を探すベースとなっているデータによっては、表示されるポイント（位置）が実際のポイントと離れている場合があります。

タウンページデータについて

- NTT タウンページをもとに位置データを整備していますが、もとのデータそのものが間違っている場合もあります。また、住所番地が広大な場所やもとのデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示されます。
- 正確な位置に表示されない場所を目的地としてルートを設定したときは、その施設から離れた場所が最終の案内地になる場合があります。

自然物に関するデータについて

- 施設を表す検索ポイントではなく、場所そのものや、山や川などの自然物を表す検索データについては、その代表地点が表示されます。

電話番号検索のデータについて

- 電話番号検索のデータとして、タウンページのデータが収録されています。
- 訪問宅（個人宅）の電話番号データに収録されていない場合は、市区町村の代表地点が表示されます。

ロゴマーク表示について

- ロゴマークの表示されるポイントは、実際の場所とは異なっている場合があります。

営業時間考慮周辺検索について

- 営業時間を考慮するのは ATM・駐車場・コンビニ・ファミリーレストラン・ファストフード・ガソリンスタンドのみで、隔週休日、不定期休日には対応していません。また、一部の店舗は対応していない場合があります。

ルートに関する注意事項

Caution

- ルート探索をすると、自動的にルート/音声案内が設定されます。曜日、時刻規制については、交通規制情報はルート探索した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。
- 運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
- なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 探索されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本機が求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート探索は 100 m スケールの地図に表示される道路を対象としています。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運航されている場合には、航路を使うルートが探索されます）。
- フェリー航路に関してはルート探索の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、全てのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路を探索すると、エラーメッセージが表示されます。
- 設定されているルートで使用されている入口/出口によっては、乗降 IC（インターチェンジ）指定の操作ができない場合があります。

ルート探索のしかた

- 現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 渋滞考慮ルート、有料道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されることがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合があります。何本かが同じルートになることがあります。
- 場所によってはルート探索できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に立寄地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100 m スケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 道路形状によっては、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、立寄地の前後では道塗りされない場合があります。このため、立寄地付近でルートが途切れたように見えることがあります。

音声案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。ただし、その地点が右折などで案内が必要な場合は、通常の案内を行います。
- 有料道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は音声案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 交差点拡大図は、交差点とその約150 m 手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路形状によっては、ヘディングアップにならない場合があります。

- 第1案内地点の案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。

ルート候補選択画面での有料料金について

- ETC 利用による各種料金割引サービスには対応していません。
- 特殊な料金体系の有料道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「〇〇円以上」と表示されます。
- 料金計算ができないルートの場合は、「不明」と表示されます。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 有料道路上およびランプ上からルートを探索したときや、有料道路上に目的地や出発地を設定したときは、有料道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 有料料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。

トンネルにおける自転車位置表示について

- トンネルを走行したときに、地図画面上の自転車位置マークが動かなくなることがあります（トンネル走行から抜けると自転車位置が更新されます）。これは本体内蔵のジャイロセンサーと加速度センサーの学習が完了していないためです。トンネルを走行する前には、あらかじめナビゲーションの電源を入れ、GPS が受信できている状態で5分から15分程度走行してください。

VICS 情報に関する注意事項

FM多重放送について

- VICS センターからの FM 多重放送を使用した VICS 情報は、NHK-FM の FM 多重放送の電波によって提供されます。
- 一定周期で情報が更新されるため、情報が集まるまで時間がかかります。
- 放送時間は、放送局によって異なります。VICS センター情報などで確認してください。

VICS センターのお問い合わせ先

VICS の概念、計画、または提供される VICS 情報に関することは、(財) VICS センターへお問い合わせください。

電話受付時間：9:30～17:45
(土曜、日曜、祝祭日、年末年始のセンター休日を除く)

電話番号：0570-00-8831
(ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます)

PHSからは (東京) 03-3592-2033
(大阪) 06-6209-2033

FAX 受付時間：24 時間

FAX 番号：03-3592-5494 (全国)

また、VICS の最新情報などは下記のホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.vics.or.jp/>

シティマップ(詳細市街地図)収録エリア

本機には、以下の都市の詳細市街地図が収録されています。

整備面積95%以上(467都市)

田舎館村、塩竈市、多賀城市、亶理町、七ヶ浜町、湯川村、水戸市、土浦市、古河市、石岡市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、常総市、取手市、牛久市、つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、神栖市、行方市、鉾田市、つくばみらい市、小美玉市、茨城町、大洗町、東海村、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町、利根町、小山市、真岡市、下野市、上三川町、壬生町、野木町、岩舟町、伊勢崎市、太田市、館林市、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、美里町、上里町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町、千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、成田市、佐倉市、東金市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、南房総市、香取市、山武市、酒々井町、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、

羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、新潟市、聖籠町、射水市、舟橋村、川北町、野々町、内灘町、昭和町、小布施町、岐阜市、多治見市、羽島市、各務原市、瑞穂市、岐南町、笠松町、神戸町、輪之内町、安八町、大野町、北方町、坂祝町、熱海市、三島市、焼津市、袋井市、湖西市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、函南町、清水町、吉田町、名古屋市、一宮市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町、四日市市、木曾岬町、東員町、朝日町、川越町、明和町、彦根市、近江八幡市、草津市、守山市、野洲市、竜王町、豊郷町、甲良町、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町、精華町、大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、守口市、枚方市、八尾市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、稲美町、播磨町、太子町、大和高田市、大和郡山市、橿原市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、和歌山市、太地町、境港市、日吉津村、倉敷市、玉野市、浅口市、早島町、里庄町、府中町、海田町、熊野町、坂町、和木町、石井町、松茂町、北島町、藍住町、宇多津町、松前町、北九州市、福岡市、直方市、筑後市、大川市、行橋市、中間市、小郡市、春日市、福津市、志免町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、大刀洗町、大木町、糸田町、大任町、苅田町、吉富町、時津町、熊本市、合志市、長洲町、菊陽町、嘉島町、那

覇市、宜野湾市、浦添市、糸満市、沖縄市、豊見城市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、与那原町、南風原町、八重瀬町

整備面積80%以上(64都市)

室蘭市、名取市、東松島市、利府町、鏡石町、泉崎村、矢吹町、桜川市、宇都宮市、栃木市、芳賀町、高根沢町、吉岡町、本庄市、小川町、長瀨町、寄居町、相模原市、燕市、中央市、可児市、養老町、富加町、伊東市、磐田市、豊橋市、桑名市、鈴鹿市、玉城町、愛荘町、泉佐野市、島本町、加西市、福崎町、御所市、葛城市、高取町、大淀町、有田市、岩出市、米子市、笠岡市、広島市、田布施町、小松島市、善通寺市、琴平町、多度津町、久留米市、柳川市、大野城市、宗像市、太宰府市、須恵町、新宮町、福智町、上峰町、みやき町、大町町、江北町、波佐見町、玉東町、東串良町、うるま市

整備面積50%以上(161都市)

北広島市、八戸市、藤崎町、板柳町、鶴田町、矢巾町、仙台市、岩沼市、大河原町、山元町、富谷町、美里町、潟上市、八郎潟町、天童市、中山町、河北町、三川町、桑折町、中島村、笠岡市、足利市、西方町、益子町、市貝町、前橋市、高崎市、渋川市、富岡市、榛東村、越生町、神川町、匝瑳市、いすみ市、秦野市、松田町、弥彦村、田上町、高岡市、滑川市、砺波市、入善町、羽咋市、かほく市、能美市、鯖江市、あわら市、笛吹市、市川三郷町、西桂町、忍野村、山中湖村、岡谷市、小諸市、千曲市、山形村、美濃加茂市、土岐市、海津市、垂井町、関ヶ原町、池田町、沼津市、富士市、掛川市、御殿場市、裾野市、長泉町、小山町、岡崎市、瀬戸市、伊勢市、志摩市、菰野町、大津市、栗東市、湖南市、京都市、宇治市、木津川市、笠置町、高槻市、貝塚市、茨木市、和泉市、箕面市、泉南市、豊能町、能勢町、河南町、姫路市、西脇市、三田市、南あわじ市、淡路市、加東市、たつの市、猪名川町、桜井市、明日香村、海南市、御坊市、湯浅町、美浜町、湯梨浜町、北栄町、東出雲町、斐川町、岡山市、呉市、福山市、防府市、下松市、光市、山陽小野田市、徳島市、鳴門市、板野町、上板町、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、高知市、南国市、大牟田市、飯塚市、田川市、筑紫野市、古賀市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、桂川町、筑前町、広川町、鳥栖市、小城市、嬉野市、基山町、有田町、白

石町、長崎市、島原市、諫早市、長与町、川棚町、佐々町、荒尾市、玉名市、宇土市、氷川町、大分市、日出町、高鍋町、新富町、鹿児島市、南城市、今帰仁村

整備面積50%未満(646都市)

札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、江差町、上ノ国町、倶知安町、岩内町、仁木町、余市町、南幌町、奈井江町、上砂川町、長沼町、栗山町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、羽幌町、美幌町、斜里町、遠軽町、白老町、洞爺湖町、浦河町、新ひだか町、音更町、清水町、芽室町、広尾町、幕別町、池田町、足寄町、釧路町、弟子屈町、中標津町、青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市、大鰐町、野辺地町、六戸町、東北町、おいらせ町、五戸町、南部町、階上町、盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、金ケ崎町、平泉町、大槌町、山田町、一戸町、石巻市、気仙沼市、白石市、角田市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、大和町、大郷町、大衡村、加美町、涌谷町、女川町、秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、小坂町、五城目町、井川町、美郷町、羽後町、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、大江町、大石田町、高畠町、川西町、白鷹町、庄内町、福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、西郷村、棚倉町、石川町、玉川村、浅川町、三春町、広野町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、城里町、大子町、佐野市、鹿沼市、日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、

茂木町、那須町、桐生市、沼田市、藤岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、草津町、東吾妻町、昭和村、みなかみ町、秩父市、飯能市、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、檜原村、奥多摩町、山北町、清川村、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、湯沢町、津南町、富山市、魚津市、氷見市、黒部市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、朝日町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、白山市、津幡町、志賀町、宝達志水町、中能登町、能登町、福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、上野原市、甲州市、身延町、富士川町、鳴沢村、富士河口湖町、長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、須坂市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、立科町、下諏訪町、富士見町、原村、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村、松川町、高森町、喬木村、豊丘村、池田町、松川村、坂城町、高山村、山ノ内町、木島平村、飯綱町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、山県市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、揖斐川町、川辺町、八百津町、御嵩町、白川村、静岡市、浜松市、富士宮市、島田市、藤枝市、下田市、伊豆市、東伊豆町、松崎町、西伊豆町、森町、豊田市、新城市、津市、松阪市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、伊賀市、多気町、度会町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、日野町、多賀町、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、亀岡市、京丹後市、南丹市、井手町、宇治田原町、和束町、南山城村、伊根町、与謝野町、河内長野市、千早赤阪村、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、篠山市、養父市、丹波市、宍粟市、多可町、市川町、神河町、上郡町、奈良市、天理市、五條市、宇陀市、吉野町、下市町、黒滝村、橋本市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、広川町、有田川町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、白浜町、上富田町、那智勝浦町、串本町、鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、三朝町、琴浦町、南部町、伯

耆町、松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市、津山市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、下関市、宇部市、山口市、萩市、岩国市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、周防大島町、平生町、阿南市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、まんのう町、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、内子町、室戸市、安芸市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、いの町、佐川町、越知町、八女市、豊前市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、篠栗町、久山町、香春町、添田町、川崎町、赤村、みやこ町、築上町、佐賀市、唐津市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、神埼市、吉野ヶ里町、佐世保市、大村市、平戸市、松浦市、対馬市、壱岐市、五島市、雲仙市、南島原市、東彼杵町、八代市、人吉市、水俣市、山鹿市、菊池市、上天草市、宇城市、阿蘇市、天草市、大津町、御船町、益城町、甲佐町、芦北町、津奈木町、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、国東市、九重町、玖珠町、宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、綾町、木城町、川南町、都農町、門川町、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曾於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、始良市、さつま町、大崎町、肝付町、石垣市、名護市、宮古島市、恩納村、金武町

阪神高速道路株式会社からのご連絡

阪神高速道路にはネットワークの未整備区間を補完するため、乗継券を受け取り、一般道路を経由したあとにその乗継券で再度、通行料金を支払わずに阪神高速道路を利用できる「乗り継ぎ区間」があります。

5号湾岸線(住吉浜・六甲アイランド北出入口)⇔3号神戸線(京橋 西行・摩耶 西行入口、京橋 東行・摩耶 東行出口)

4号湾岸線(大浜 南行入口、北行出口)⇔15号堺線(堺出入口)

3号神戸線(中之島西出口)→1号環状線(堂島入口)

16号大阪港線(波除出口)→1号環状線(堂島入口)

3号神戸線(中之島西出入口)⇔16号大阪港線(波除出入口)

乗り継ぎ区間ではETCが利用可能です。ETCを装着していない車に対しては、入口または本線料金所にて発券する場合もあり、この場合、出口で乗継券の発券所がないところがあります。

最新の情報は、阪神高速道路株式会社のホームページなどを参照ください。

収録データベースについて

地図データについて

- 日本測地系に対応しています。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第44条に基づく成果使用承認 90-063)「©2010財団法人日本デジタル道路地図協会」2010年3月発行を使用。
- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号)小田原市指令第52号平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。平成12年養建第1902号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10.近公.第34号
- この地図の作成にあたっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認平成12年度知都発第170号)
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号16堀第5417号)
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号伊建農発229号平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)

- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)18都市基交第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。(承認番号平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号指令宇都第13号平成18年5月15日承認)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号指令宇都第14号平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号周防建設第56号平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号林振第350号平成18年9月19日承認)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号林振第611号平成19年2月28日承認)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号平成19年3月7日指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号平成18年3月28日承認)

- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18 森政第 5-5 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第 115 号 平成 19 年 2 月 15 日承認)
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第 484 号 平成 19 年 1 月 30 日承認)
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第 010634 号 平成 18 年 10 月 4 日承認)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図 (1/5,000) を使用し調製したものである。{承認番号 18 林第 492 号 (平成 18 年 10 月 6 日)}
- この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 993 号・平成 19 年 2 月 14 日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 1079 号・平成 19 年 3 月 7 日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林 18-1 平成 18 年 12 月 5 日)。
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林 18-2 平成 19 年 3 月 7 日)。
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-1 号 平成 18 年 12 月 8 日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-3 号 平成 19 年 3 月 8 日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 360 号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成 18 年 5 月 26 日知耕第 590 号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 総使、第 24 号 -10 号)
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の 5 千分の 1 森林基本図を使用しました。(測量法第 44 条第 3 項の規定に基づく成果使用承認 平成 19 年 8 月 8 日付、承認番号 林政 19-482 号、茨城県林政課長)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 総使、第 247 号 -10 号)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成 18 年 11 月 30 日 指令水緑 -947
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の 10000 分の 1 の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第 12-25 号 平成 19 年 12 月 13 日承認)
- この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ (18 国地部公発第 334 号) を使用したものである。(承認番号 情企第 590 号 平成 20 年 3 月 24 日承認)
- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 14 日付け 18 高森推第 568 号)

- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号)平21 樽港事第33号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号)H22 幕都計第185号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、2010年9月までの独自調査結果に基づき作成したものを使用しています。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示などに従ってください。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車などの規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

有料道路料金データについて

- 本製品に使用している有料道路の料金データは、2010年10月1日現在(2010年3月調査時点)のものです。

VICSサービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。北海道(北見)(旭川)(札幌)(釧路)(函館)、青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、石川県、福井県、富山県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3(地図表示型)表示はできません。

放送局リストのデータについて

- 放送局名リストは2010年11月調査時点のものです。

渋滞予測データについて

- 渋滞予測機能の情報は、インクリメントP株式会社からの提供です。

訪問宅(個人宅)電話番号データについて

- 訪問宅(個人宅)電話番号データは、日本ソフト販売(株)「Bellemax[®]」(2010年9月現在)のデータを使用しております。訪問宅(個人宅)電話番号検索では、一部検索または正確な位置に表示できない場合があります。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社(2010年9月現在のタウンページデータ)
- 財団法人交通事故総合分析センター(1999年度統計による危険地帯データ)
- (株)IMJモバイル(2010年10月現在の駐車場データ)

Advice

- 収録データベースに誤字、脱字、位置ずれなどの表記上または内容上の誤りがあったとしても弊社は保障するものではありません。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランプラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することができます。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1 当センターは、放送設備の保守上又は工
事上やむを得ないときは、VICS サービス
の利用を中止することがあります。
2 当センターは、前項の規定により VICS
サービスの利用を中止するときは、あら
かじめそのことを加入者にお知らせしま
す。ただし、緊急やむを得ない場合は、
この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1 当センターは、天災、事変、気象などの
視聴障害による放送休止、その他当セン
ターの責めに帰すことのできない事由に
より VICS サービスの視聴が不可能ない
し困難となった場合には一切の責任を負
いません。また、利用者は、道路形状が
変更した場合等、合理的な事情がある場
合には、VICS サービスが一部表示され
ない場合があることを了承するものと
します。ただし、当センターは当該変更
においても変更後3年間、当該変更に対
応していない旧デジタル道路地図上でも、
VICS サービスが可能な限度で適切に表
示されるように、合理的な努力を傾注す
るものとします。

2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多
重して提供されていますので、本放送の
伝送方式の変更等が行われた場合には、
加入者が当初に購入された受信機による
VICS サービスの利用ができなくなります。
当センターは、やむを得ない事情が
あると認める場合には、3年以上の期間
を持って、VICS サービスの「お知らせ」
画面等により、加入者に周知のうえ、本
放送の伝送方式の変更を行うことがあり
ます。

別表 視聴料金


視聴料金：315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

商標・著作権など

- Intel、Pentium、Celeron は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
- MP3 とは「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送*で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送*で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ <http://www.mp3licensing.com> をご覧ください。

※ 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

-  は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。



- 「マップコード」および「マップコードHR」は（株）デンソーの登録商標です。

- microSDHC、microSD ロゴは、SD-3C,LLC の商標です。



- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です
- RTPatch は、POCKET SOFT 社の登録商標です
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。
- ACCESS、NetFront は、日本国、米国及びその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
- ©2011 ACCESS CO.,LTD.All rights reserved

ACCESS™

NetFront® Browser

- 本製品の一部分に Independent JPEGGroup が開発したモジュールが含まれています。

■ AGG

AGG 2.4 Licenses

Anti-Grain Geometry Public License

Anti-Grain Geometry - Version 2.4

Copyright©2002-2004 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

Modified BSD License

Anti-Grain Geometry - Version 2.4

Copyright©2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ 7-Zip

- 本製品で使用しているソフトウェアプログラムには、7-Zip ライブラリが含まれています。7-Zip は、GNU Lesser General Public License の条件にもとづいて利用が許諾されたソフトウェアを含んでいます。該当するソースコードの複製物は配布に必要な費用をご

負担いただくことをご入手いただけます。複製物を入手するためには、弊社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。また、GNU Lesser General Public License の詳細については GNU のウェブサイトをご覧ください。(http://www.gnu.org)。

7-Zip

License for use and distribution

7-Zip Copyright (C) 1999-2007 Igor Pavlov.

Licenses for files are:

- 1) 7z.dll: GNU LGPL + unRAR restriction
- 2) All other files: GNU LGPL

The GNU LGPL + unRAR restriction means that you must follow both GNU LGPL rules and unRAR restriction rules.

Note:

You can use 7-Zip on any computer, including a computer in a commercial organization. You don't need to register or pay for 7-Zip.

GNU LGPL information

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

unRAR restriction

The decompression engine for RAR archives was developed using source code of unRAR program. All copyrights to original unRAR code are owned by Alexander Roshal.

The license for original unRAR code has the following restriction:

The unRAR sources cannot be used to re-create the RAR compression algorithm, which is proprietary. Distribution of modified unRAR sources in separate form or as a part of other software is permitted, provided that it is clearly stated in the documentation and source comments that the code may not be used to develop a RAR (WinRAR) compatible archiver.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.

59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or

the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively

restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the “Lesser” General Public License because it does Less to protect the user’s freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU

C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users’ freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a “work based on the library” and a “work that uses the library” . The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called “this License”).

Each licensee is addressed as “you” .

A “library” means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The “Library” , below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A “work based on the Library” means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term “modification” .)

“Source code” for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

- d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so

that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License.

Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6.

Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a “work that uses the Library” with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable “work that uses the

Library” , as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the “work that uses the Library” must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating

system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original

licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein.

You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT

WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the library's name and a brief
idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice
```

That's all there is to it!

7-Zip Source Notice

The software program used in this product contains 7-Zip library. 7-Zip contains the software granted permission for the usage under the terms of the GNU Lesser General Public License. A copy of appropriate source code is available at customer necessary expense for the distribution. Please contact our Customer Support Center to obtain a copy. For more information on the GNU Lesser General Public License, visit the GNU's website at <http://www.gnu.org>.

■ bsdiff

Copyright 2003-2005 Colin Percival
All rights reserved

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted providing that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ bzip2

This program, "bzip2", the associated library "libbzip2", and all documentation, are copyright (C) 1996-2007 Julian R Seward. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

3. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ OpenSSL

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS

CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

■ FreeType

Portions of the software in this product are copyright 1996-2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27. (<http://www.freetype.org/FTL.TXT>)

- 本製品に収録されたデータおよびプログラムの著作権は、弊社および弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータおよびプログラムの全部または一部を複製、改変、解析などすることはできません。
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 弊社は、本製品に収録された地図データなどが完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本機は日本国内専用です。GPSの測位範囲が異なる外国ではご使用いただけません。
- 本製品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、取扱説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

仕様

◆ 共通部

使用電源：DC5 V
(付属のシガーライター電源ケーブル、別売の AC アダプター接続時)

使用温度範囲：-10℃～45℃
(バッテリー動作を除く)

最大消費電流：3 A

◆ モニター部

画面サイズ：5.8V 型ワイドVGA
画素数：1 152 000 画素
[水平 800 × 垂直 480 × 3(RGB)]
方式：TFT アクティブマトリクス方式
バックライト：LED 光源

◆ ワンセグチューナー部

放送方式：地上デジタル放送方式(日本)
受信チャンネル：470 MHz～770 MHz
(UHF13 ch～62 ch)
アンテナ：本体収納式ロッドアンテナ
外部アンテナ用接続端子：1

◆ VICS チューナー部

受信周波数帯域：76.0 MHz～90.0 MHz

◆ microSD カード部

音声デコーディングフォーマット

MP3：MPEG-1 & 2 & 2.5 AUDIO
LAYER-3

WMA：Ver7、8、9

AAC：MPEG-4 AAC (Windows 版
の iTunes でエンコードされた
もののみ)

WAV：LPCM, ADPCM (IMA)

動画デコーディングフォーマット

AVI：MPEG-4 Video + LPCM/
ADPCM, MPEG-4 Video +
MP3

MP4：MPEG-4 Video + AAC,
H.264/AVC + AAC

WMV：WMV (VC-1) + WMA

◆ GPS 部

30 チャンネルマルチチャンネル受信方式
アンテナ：本体内蔵
外部アンテナ用接続端子：1

◆ オーディオ出力

プリアウト出力レベル：0.8 V/820 Ω

◆ ビデオ入力

ビデオ入力レベル：1.0 V_{p-p}/75 Ω

◆ シガーライター電源ケーブル

入力電圧：DC12～24 V
出力電圧：DC5 V
最大負荷電流：3 A
ケーブル長：1.5 m

◆ 外形寸法

本体：178 mm(W) × 99 mm(H) × 35.8 mm(D)

◆ 質量

本体：約 500 g

保証書とアフターサービス

■保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

■保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「サービス窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間経過後の修理について

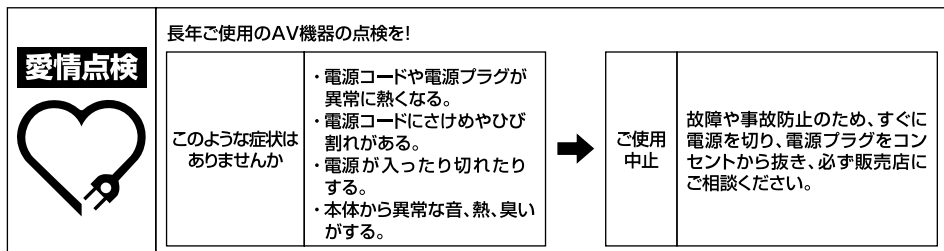
お買い上げの販売店または修理受付センター（沖縄県のみ沖縄サービス認定店）にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

■ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はエアーナビコンタクトセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。



充電式電池リサイクルご協力をお願い

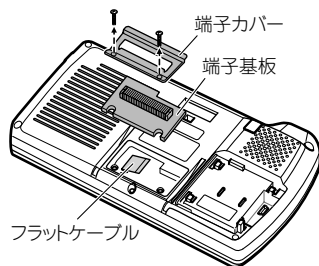
本製品には、リサイクル可能なリチウムイオン蓄電池が内蔵されています。本製品を廃棄する際は、下記の手順でリチウムイオン蓄電池を取り出してください。

Caution

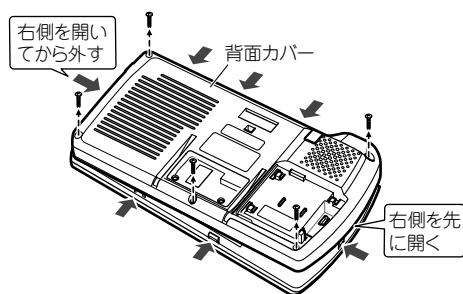
- ・本説明は、製品廃棄時に内蔵電池を取り出すことを目的としています。お客様が製品を開けた時点で、本機の保証は無効となります。
- ・ショート防止のため、電池を取り出す前に内蔵電池は十分使い切ってください。電源が入らなくなった時点でも残量が少し残っております。そのまま数日間放置してから電池を取り出すことをお奨めします。
- ・不要になったリチウムイオン蓄電池は、下記の注意事項を守ってリサイクル協力店の充電式電池リサイクルBOXに入れてください。
 - 電池のビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
 - 電池のコードやコネクタは切断しないでください。
 - 電池を分解しないでください。
 - 電池の金属端子が露出した場合は、ビニールテープなどを貼って絶縁してください。
- ・リサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページ (<http://www.jbrc.com>) をご覧ください。
- ・microSDカード(→P24)、通信モジュール、アタッチメントカバー、通信モジュール取付部カバーなど(→P22)は、あらかじめ取り外しておいてください。



① 端子カバーのネジ2本を外し、端子カバーおよび端子基板を取り外す



② 背面のネジ5本を外し、背面カバーを取り外す



Advice

- ・microSDカードが挿入されている場合は、作業前に必ず抜いてください。破損する恐れがあります。
- ・端子カバーのネジは、市販の0番の⊕ドライバーで外します。
- ・端子基板は、フラットケーブルのロックを外してから取り外します。

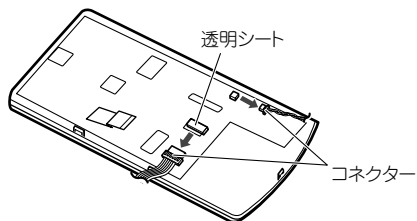
Advice

- ・背面のネジは、市販の0番の⊕ドライバーで外します。
- ・背面カバーは、矢印(7カ所)のロックを⊖ドライバーなどで外して取り外します。
- ・背面カバーは、右側を先に開いてから、最後に左側の爪を外して取り外します。

つづ→

付
録

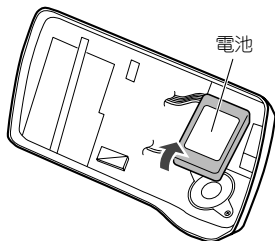
3 コネクターを2本を引き抜く



Advice

・抜きにくい場合は、透明シートを先にはがします。

4 電池を取り外す



Advice

・電池は両面テープで貼り付いています。外しにくい場合は、 \ominus ドライバーなどを間に挿入して、取り外します。その際、電池にキズを付けないようご注意ください。

索引

メニュー索引

「メニュー」ボタン



メインメニュー

- 設定
- 行き先・場所
- ナビポータル P29
- 通信

設定メニュー

- 情報
- 設定
- 編集
- 調整

情報トップメニュー

- エコステータス P114
- GPS情報 P115
- データバージョン表示 P116
- 接続状態 P116
- 渋滞情報 P111

行き先・場所メニュー

- 名称 P46
- 住所 P47
- 周辺施設 P48
- 電話番号 P49
- 登録した場所 P50
- 最近探した場所 P50
- 自宅 P59, 80
- ジャンル P51
- MAPCODE P52
- ルート消去 P78

設定トップメニュー

- ロゴマーク表示設定 P90
- 機能設定 P91
- ウィジェット表示設定 P96
- 通信設定 P97
- AV設定 P142
- 車両情報設定 P99
- 設定初期化 P100

通信メニュー

- スマートループ情報取得 P108
- 駐車場満空情報 P53
- ガスタ価格情報 P53

編集トップメニュー

- ルート編集 P68
- 登録した場所編集 P83, 84
- 最近探した場所消去 P86
- 走行軌跡消去 P87

調整トップメニュー

- ナビ音量調整 P101
- 明るさ調整 P101
- タッチパネル調整 P102
- 自車位置修正 P102
- 別道路切換 P103

ショートカットメニュー

スクロール画面のとき

- ここへ行く P58
- 周辺施設を探す P48
- ここを登録する P80
- ナビフォルダを開く P82

検索画面のとき

- ここへ行く P58
- 周辺施設を探す P48
- ここを登録する P80
- 詳細情報を見る P55

用語索引

五十音順

あ行

明るさを調整	101
アフターサービス	11
案内開始画面	62
案内地	71
行き先・場所メニュー	29
一括登録	82
緯度経度で探す	52
イラスト表示	71
インジケーター付きリスト	32
インターチェンジ	66
ウィジェット	96
営業時間考慮検索	48
営業時間考慮表示	43
映像ファイルを再生	137
エラーメッセージ	168
エリアプリセット	131
オーディオの基本操作	126
オート(VICS放送局選択)	112
オートハイウェイモード	36,41,92
オートリルート	75
音送り	31
音楽ファイルを再生	136
音声圧縮方式	156
音声案内	36,73
音声切換	134
オンデマンドVICS	106
音量	101

か行

ガスタク価格情報	53
カーソル	152
規制表示	94
機能設定	91
基本操作	28,126
行送り	31
キーワード検索	46
緊急情報の自動表示	111
傾斜計	159
県境案内	95
現在地画面	34,38
現在地情報の表示	94
検索できるジャンル	51
効果音	84

交差点案内表示	71,94
交通規制情報	109
交通障害情報	109
交通情報	109
ここへ行く	58
ここを登録する	80
誤差	160

さ行

最近探した場所から探す	50
最近探した場所を消去する	86
再探索	68
サイドマップ	32,37
サイドメニュー	31
先送り	69
サービスエリア	43
サービス切換	133
サンプリング周波数	156
シーク(VICS放送局選択)	112
市区町村名	47
自車位置修正	102
施設情報(有料道路)	41
自宅を登録する	80
シティマップ	92
シティマップ境界線表示	92
自動登録(放送局)	134
字幕切換	134
車載状態	116
車速パルス	117
車両情報	99
ジャンクション	42
ジャンルで探す	51
十字カーソル	35
住所で探す	47
渋滞オートガイド	77,94
渋滞考慮オートリルート	75,93
渋滞考慮オートリルート自動決定ルート	93
渋滞考慮ルート探索	60,93
渋滞情報	106,109
渋滞情報取得開始設定	98
渋滞情報取得間隔設定	98
渋滞情報表示	94
渋滞情報表示対象道路	94
渋滞情報連続取得設定	98
渋滞チェック	77
充電	164

周辺施設	48	駐車場満空情報	53
主音声	134	駐車場満空情報自動取得	95
受信状態	113	調整	101
順調表示	94	通行止め	77
消去		通行止め考慮オートリルート	77
最近探した場所	86	通信接続設定	97
視聴設定	134	通信で探す	53
走行軌跡	87	通信モジュール接続	116
登録した場所	84	データバージョン	116
乗降IC	66	デバイスナンバー	116
詳細ルート設定	65	デモ走行	69
ショートカットメニュー	30	電源状態	116
自立航法	159	電話番号で探す	49
人工衛星	159	到着予想時刻	70
進行方向案内	73	到着予想時刻速度(一般道)	93
振動ジャイロセンサー	159	到着予想時刻速度(有料道)	93
スカイビュー	40	登録した場所	
スキャン → 自動登録	134	効果音	84
スクロール	35,38	消去する	84
図形情報(VICS情報)	111	編集	83
スケール	39	登録した場所から探す	50
ステレオ放送	130	登録スケール	39
スマートIC考慮ルート探索	93	道路交通情報通信システム → VICS	
スマートループ	97		107,109
スマートループ渋滞情報	106		
スマートループ渋滞情報設定	98		
接続状態	116		
設定メニュー	28		
セーフティインフォメーション	36		
センサー学習	117		
センター情報(VICSセンター)	111		
走行軌跡自動消去	92		
走行軌跡表示	34,92		
走行軌跡を消去する	87		
操作タッチキー	137		

た行

ダイレクトサーチ	139
タウンページ	170
立寄地	65,69
タッチ位置を調整	102
探索条件	62
短縮ダイヤル	49
チェックリスト	32
地図色切換	92
地図で探す	46
チャンネルスキャン	134
中継局	132
駐車場情報	109
駐車場情報マーク表示	94

な行

内蔵バッテリー	164
ナビ遠隔ロック	11
ナビゲーションの基本操作	28
ナビフォルダ	82
ナビポータル自動表示	95
ナビポータルメニュー	29
ノースアップ	39
ノーマルビュー	40

は行

ハイウェイモード	40,41
ハイブリッドシステム	160
パーキングエリア	43
場所を登録する	80
バージョンアップ	10
番組内容	133
番組表	133
ビットレート	156
ピンポイントウェザーライブ	95
ファイル	156
フェリー航路使用条件	93
フォルダー	140,156
副音声	134
踏切案内	36,95

プライベートマッピング	84
プリセット	131
エリアプリセット	131
ユーザープリセット	131
プローブ情報	97,106
分岐先	42
分岐(有料道路)	72
ページ送り	31
別道路切換	103
ヘディングアップ	40
編集	83
放送局(VICS情報)	112
方面看板表示	70
他のルート	63
ポップアップメニュー	31

ま行

マーク(登録した場所)	83
マークリスト	84
マップコードで探す	52
マップチャージ	120
マップマッチング	160
マニュアルプリセット	132
道のり・到着予想時刻表示	93
名称で探す	46
メインメニュー	28
メニュー	28
文字拡大モード	41
文字情報(VICS情報)	111
文字の種類を切り換える	149
文字の入力操作	148
記号	154
種類	149
スペース	152
全角	149
半角	149
変換	153
無変換	153
文字を削除する	152
文字を入力する	151

や行

有料道注意地点	36,95
有料道路使用条件	93
有料道路の施設情報	41
ユーザープリセット	131

ら行

ライト点灯案内	36,95
ランダム再生	140
リアルタイムプローブ	97
リアルタイムプローブサーバー	106
リクエスト案内	76
リスト(VICS放送局選択)	112
リスト(操作)	31
立体ランドマーク表示	40,92
リピート再生	140
リフレッシュ案内	36,95
料金所	36,41
旅行時間情報	109
ルート	170
ルート案内	70
ルートインフォメーション	70
ルート消去	78
ルート探索	
渋滞考慮ルート探索	60
ルート探索基準	93
ルート地図	64
ルートプロフィール	63,68
ルートを探索させる	58
レーン情報	70
レベル 1:文字	109
レベル 2:簡易図形	109
レベル 3:地図	109
ロゴマーク	90

わ行

ワイブ操作	33,128
ワンセグ	130

■ 数字・アルファベット順

数字

2D(ノーマルビュー)固定スクロール	92
2D(ノーマルビュー)地図方位	92
2Dマーク	84
2カ国語放送	134
2次元測位	159
3次元測位	159
10キーサーチ	139
50音タブ	31
100mスケール一方通行表示	41

A

AAC (Advanced Audio Coding)	157
Apple Lossless	157
AVソース画面	126

E

ETC車載器	36
ETCレーン案内表示	94
eスタート案内	36,95

F

FILE REPEAT	140
FM-VICS	109
FM多重放送	112
FOLDER REPEAT	140

G

GPS	159
-----	-----

I

IC	41
iTunes	157

J

JCT	41
-----	----

M

m3u	157
MEDIA REPEAT	140
microSD	136
microSDカード	9,24
MP3	157
MP3i (MP3 interactive)	157
MP3 PRO	157
MPEG2	157

MPEG4	157
MPEG Audio Layer 3	157

P

PA	41
PCリンクソフト	120

S

SA	41
SDカード登録確認メッセージ表示	95

V

VBR	156
VICS (Vehicle Information & Communication System)	107,109
VICS 情報提供時刻	110
VICS 情報の表示	109,110,111
VICSセンター	172
VIDEO	144

W

WAV	157
Windows Media™ Audio	156
Windows Media Audio 9 Lossless	157
Windows Media Audio 9 Professional	157
Windows Media Audio 9 Voice	157
Windows Media Player	156
WMA	156

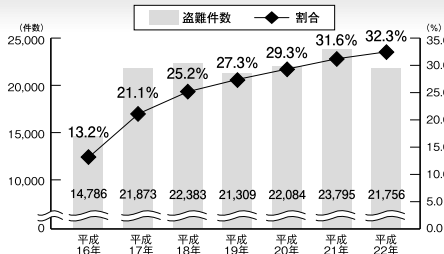
カーナビゲーションを購入された皆様に伝えたいことがあります

今カーナビが危ない!

全国で24分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。

カーナビゲーションの盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合



出典:警察庁犯罪統計 平成22年は暫定値

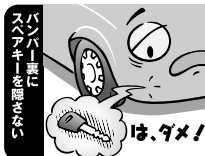


製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、ハガキまたはWEBでユーザー登録を行いましょう。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。



問い合わせ先 ユーザ登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカー宛にお願い致します。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会

記号・マーク一覧

地図関連

■ 高速・有料道

■ 国道

■ 主要地方道

■ 都道府県道

■ 一般道

■ 細街路

■ 鉄道

— 県境

① 国道番号

① 県道番号

C1 有料道道路番号

➡ 一方通行

■ 海・川・湖沼

■ 緑地

■ 施設敷地

■ 施設

■ 駅舎

□ インターチェンジ/ランプ名

□ 交差点名

● 信号機

■ 指示点

▲ 山岳

■ 公園

■ 工場

▲ トンネル出入口

SA サービスエリア

PA パーキングエリア

¥ 料金所

P 駐車場、道の駅

✈ 空港、民間飛行場

✈ ヘリポート

⚓ 港、フェリー乗り場

🗼 タワー

🏰 灯台

⚓ 墓地

🏢 公共施設

🚓 警察署、交番

🚒 消防署

🏥 病院

📮 郵便局

📞 NTT

🎓 各種学校

🎒 小学校

🎒 中学校

🎓 大学

🚗 自動車学校

♨️ 温泉

🎡 遊園地・その他

🏕️ キャンプ場

🏌️ ゴルフ場

⚾️ 野球場

🏟️ 体育館

🎿 スキー場

🏊 海水浴場、プール

🛶 ヨットハーバー

🏍️ モータースポーツ

🎾 テニスコート

🎨 美術館、博物館

🐘 動物園

🌿 植物園

🐠 水族館

🎪 ホール・劇場

🏯 神社

🏯 寺院

🏛️ 教会

🏰 城、城跡

🐮 牧場

🛒 デパート

🏠 DIYショップ

🏨 ホテル

検索・ルート関連

🚩 目的地

📍 立寄地

📍 出発地

📍 案内地

📍 案内中ルート(有料道)

📍 案内中ルート(一般道)

📍 案内中ルート(細街路)

渋滞情報関連

🚧 渋滞
 🚧 混雑
 🚧 順調
一般道：白枠
 有料道：青枠
 ※スマートループ
 渋滞情報：破線

🚧 規制区間

🚧 入口閉鎖・通行止

🚧 速度規制

🚧 進入禁止

🚧 通行止め・閉鎖

🚧 大型通行止め

🚧 対面通行

🚧 片側交互通行

🚧 徐行

🚧 車線規制

🚧 チェーン規制

🚧 凍結

🚧 故障車

🚧 工事

🚧 作業

🚧 事故

🚧 障害物・路上障害

🚧 入口制限

🚧 入口閉鎖

P 駐車場(空車)

P 駐車場(混雑)

P 駐車場(満車)

P 駐車場(閉鎖)

P 駐車場(不明)

🌤️ 気象

🚧 行事

🚧 災害


🚧 火災

V 原因/事象なし

※記号やマークは、ビューやスケールによって表示されない場合があります。

※実際の色と異なる場合があります。

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」、「0800」で始まる  フリーコール および  フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなどからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い(取り付け・組み合わせなど)については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ●商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談、ネットワークとコンテンツ、盗難に関するご相談窓口

エアーナビコンタクトセンター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:  **0800-111-0056** 【一般電話】 **044-577-2512**

通信契約に関するお問い合わせ ●通信サービス契約申込・解約・料金・各種変更に関するお問い合わせ窓口

パイオニア販売株式会社 モバイルネットワークスグループ

受付時間 月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:  **0120-702-065** 【一般電話】 **044-580-1422**

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～17:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:  **0120-817-088**


修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかを確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名、②ご購入日、③故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ●お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付窓口(沖縄県を除く全国)

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:  **0120-5-81028** 【一般電話】 **044-572-8100** FAX:  **0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair/>

※エアーナビはホームページによる修理申し込みを受けております

沖縄サービス認定店(沖縄県のみ)


受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00(土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話: 【一般電話】 **098-987-1120** FAX: **098-987-1121**

部品のご購入についてのご相談窓口 ●部品(付属品・リモコン・取扱説明書など)のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～17:00(日曜・祝日・弊社休業日は除く)

電話:  **0120-5-81095** 【一般電話】 **044-572-8107** FAX:  **0120-5-81096**

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.043

パイオニア株式会社

〒212-0031

神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

©パイオニア株式会社 2011

< KAMFX > < 11C00000 > < CYR1019-B >